Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX P900

活用ガイド

Jp

はじめに ➡ ii
目次 ➡ xvii
各部の名称 ➡ 1
撮影の準備 ➡ 9
撮影と再生の基本操作 ➡ 16
いろいろな撮影 ➡ 26
MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能 ➡ 49
位置情報機能を使う ➡ 59
Wi-Fi（無線LAN）を使う ➡ 60
テレビ、プリンター、パソコンとの接続 ➡ 61
詳細編 ➡ 1
付録、索引 ➡ 1

はじめに

はじめにお読みください

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」（📖vi～xii）、「<重要>位置情報機能（GPS/GLONASS）についてのご注意」（📖xiv）および「Wi-Fi（無線LAN）機能について」（📖xv）をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

- すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影の準備」（📖9）および「撮影と再生の基本操作」（📖16）をご覧ください。

本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
✎	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
🕮/👓/💡	関連情報が記載されているページです。👓は「詳細編」、💡は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- モニター画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。
- 本書では、モニター画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（電池、バッテリーチャージャー、ACアダプター、USBケーブル）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。

ホログラムシール

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のウェブサイトからダウンロードできます。
  http://www.nikon-image.com/support/manual/
  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、［**位置情報設定**］（🕶94）の［**位置情報記録機能**］を［**しない**］にしてから、メモリーカードがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

メモリーカードに保存したログデータの扱いは、メモリーカード内の他のデータと同じです。メモリーカードに未保存の取得済みデータは、［**ログ取得**］→［**ログ取得終了**］→［**ログ消去**］で消去できます。

Wi-Fi設定は、Wi-Fi設定メニュー（🕶92）の［**設定の初期化**］で消去してください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は以下のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない** 感電や発火などの事故や故障の原因になります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
禁止	**通電中のカメラに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しない** 視力障害の原因になります。 撮影時には、1 m 以上離れてください。 特に乳幼児の撮影には注意してください。
保管注意	**幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

保管注意	**ストラップが首に巻きつかないようにする** **特に幼児・児童の首にストラップをかけない** 首に巻き付くと窒息の原因になります。
警告	**指定の電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター、USBケーブル)を使う** 指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。
使用禁止	**充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
使用注意	**逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと** 太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、レンズにキャップを付けて太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
使用注意	**航空機内での使用については、航空会社の指示に従う** **病院内での使用については、病院の指示に従う**
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。 本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。

使用注意	**レンズの可動部には触れない** ケガの原因になります。
発光禁止	**フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** 故障や火災の原因になることがあります。
禁止	**三脚などにカメラを取り付けたまま移動しないこと** 故障やけがの原因になります。

⚠危険

（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池を分解しない** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL23は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池でCOOLPIX P900に対応しています。** **EN-EL23に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**充電の際に、所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめる** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠警告
（本体充電ACアダプターについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。

すぐに修理依頼を

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

使用禁止

指定のUSBケーブルを使う
指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。

プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。

すぐに修理依頼を

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。

警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること
そのまま使用すると、火災の原因になります。

使用禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

禁止

ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと
また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと
ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。

禁止	**通電中のACアダプターに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。
禁止	**海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)や DC/AC インバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意
（本体充電ACアダプターについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

⚠危険
（リモコン（別売）用リチウム電池について）

危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（リモコン（別売）用リチウム電池について）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池を分解しない** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

	警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
	保管注意	**電池は幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
	警告	**電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	禁止	**充電式電池以外は充電しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	警告	**電池を廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。
	警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

＜重要＞位置情報機能（GPS/GLONASS）についてのご注意

● 本製品の地名情報データについて

位置情報機能をお使いの前に、「地名情報データ使用許諾契約書」（22）を必ずお読みになり、ご承諾ください。

- 地名情報（Point of Interest：POI）は、2014年4月現在のものです。地名情報の更新はいたしません。
- 地名情報は、あくまでも目安としてお使いください。
- 中華人民共和国（以下「中国」）と大韓民国の地名情報（POI）は、搭載していません。

● 位置情報記録機能とログ取得について

- 本製品が計測する情報は、あくまでも目安です。航空機、車、人などの航法用途、および測量用途にお使いになれません。
- 位置情報設定メニュー［**位置情報設定**］の［**位置情報記録機能**］を［**する**］にしているときやログ取得中は、カメラの電源をOFFにした後も位置情報記録機能やログ取得機能が作動します（40）。
- 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。位置情報を記録した静止画、動画、ログファイルの、他人への譲渡やインターネットなど複数の人が閲覧できる環境への掲載にはご注意ください。「●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」（v）も必ずお読みください。

● 海外でお使いの場合

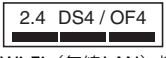
- 位置情報機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。たとえば、中国では、政府の許可なしに位置情報ログの収集はできません。［**位置情報記録機能**］を［**しない**］にしてご使用ください。
- 中国および中国の周辺国の国境付近では、位置情報機能が正常に機能しない場合があります（2014年12月現在）。

Wi-Fi（無線LAN）機能について

● 電波に係わるご注意

• 本製品の Wi-Fi の無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。
ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。
ご購入された国がわからないときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

● Wi-Fi（無線LAN）機能のご注意



Wi-Fi（無線LAN）機能：2.4DS4/OF4
本製品の使用周波数は 2.4 GHz 帯、変調方式は DSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

• 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。
以下の行為は法令で罰せられることがあります。
  - 本製品の分解/改造
  - 本製品から証明ラベルをはがす
• 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
  - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
    ① 構内無線局（免許を要する無線局）
    ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
  - アマチュア無線局（免許を要する無線局）
  これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。
• 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
  - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか？事前に確認する
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fi アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
  - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
  データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV 機器、OA 機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
  - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
  - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。
Wi-Fi 機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。
なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。
  必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。
  当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー（🕮57）の［**設定クリアー**］で消去してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

目次

はじめに ii
はじめにお読みください ii
本書の記載について iii
ご確認ください iv
安全上のご注意 vi
＜重要＞位置情報機能（GPS/GLONASS）についてのご注意 xiv
Wi-Fi（無線 LAN）機能について xv

各部の名称 1
カメラ本体 1
モニター画面の表示内容 3
表示する情報を切り換える（**DISP**ボタン） 3
撮影画面の表示内容 4
再生画面の表示内容 7

撮影の準備 9
ストラップとレンズキャップの取り付け方 9
電池とメモリーカードを入れる 10
電池やメモリーカードを取り出すときは 10
電池を充電する 11
液晶モニターの開き方と角度調節 13
電源を ON にして、表示言語と日時を設定する 14

撮影と再生の基本操作 16
（オート撮影）モードで撮影する 16
フラッシュを使う 18
液晶モニターと電子ビューファインダーを切り換える 19
ズームを使う 20
シャッターボタンの半押しと全押し 21
動画を撮影する 21
画像を再生する 22
画像を削除する 23
撮影モードを変える 24
マルチセレクターで設定できる機能（撮影時） 25

いろいろな撮影 26
📷（オート撮影）モード 26
シーンモード（シーンに合わせて撮影する） 27
スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する） 28
P、**S**、**A**、**M** モード（露出を設定して撮影する） 30
U（ユーザーセッティング）モード 34
Uモードに設定を登録する（User Setting 登録） 35
フラッシュモード 36
セルフタイマー 38
笑顔自動シャッター（笑顔を自動撮影する） 39
フォーカスモード 40
マニュアルフォーカスの使い方 42
露出補正（明るさを調節する） 44
Fn（ファンクション）ボタンで設定できる機能 45
撮影時に組み合わせて使えない機能 46

MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能 49
撮影メニュー 51
撮影モード共通 51
P、**S**、**A**、**M**、**U**モード 51
動画メニュー 54
再生メニュー 55
画像選択画面の操作方法 56
セットアップメニュー 57

位置情報機能を使う 59

Wi-Fi（無線 LAN）を使う 60
スマートデバイスにソフトウェアをインストールする 60

テレビ、プリンター、パソコンとの接続 61

詳細編 1

シーンモードのヒントとご注意 3
かんたんパノラマの撮影方法 10
かんたんパノラマの再生方法 12
タイムラプス動画の撮影方法 13
フラッシュやフォーカスモードなどの初期設定一覧 15
ピント合わせについて 18
ターゲットファインドAFについて 18
顔認識撮影について 19
美肌機能について 20
オートフォーカスが苦手な被写体 20
フォーカスロック撮影 21
シャッタースピードの制御範囲（**P**、**S**、**A**、**M** モード時） 22
拡大表示 23
サムネイル表示 / カレンダー表示 24
連写した画像（連写グループ）の再生と削除 25
連写グループの再生方法 25
連写グループの画像を削除する 26
画像の編集（静止画） 26
画像編集の前に 26
簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める） 27
D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する） 27
美肌（肌をなめらかにする） 28
フィルター効果（デジタルフィルター） 29
スモールピクチャー（画像サイズを小さくする） 30
トリミング（画像の一部を切り抜く） 31
動画撮影と再生 32
動画撮影中に静止画を記録する 35
動画再生中の操作 36
動画の編集 37
動画の必要な部分だけを切り出す 37
動画の1フレームを静止画として保存する 38
位置情報を画像に記録する 39
移動情報のログを記録する 42
ログ取得を終了しメモリーカードに保存する 44
スマートデバイスとの接続（Wi-Fi） 45
スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する 47
テレビとの接続（テレビ画面での再生） 48

プリンターとの接続（ダイレクトプリント）..... 49
カメラとプリンターを接続する..... 49
1コマずつプリントする..... 50
複数の画像をプリントする..... 51
ViewNX-i を使う（パソコンに画像を取り込む）..... 53
ViewNX-iをインストールする..... 53
パソコンに画像を取り込む..... 53
撮影メニュー（撮影モード共通）..... 56
画質..... 56
画像サイズ..... 57
撮影メニュー（**P**、**S**、**A**、**M** モード）..... 58
Picture Control（COOLPIXピクチャーコントロール）..... 58
CSM Picture Control
（COOLPIXカスタムピクチャーコントロール）..... 62
ホワイトバランス（色合いの調整）..... 63
測光方式..... 66
連写..... 67
ISO感度設定..... 71
AEブラケティング..... 72
AFエリア選択..... 73
AF（オートフォーカス）モード..... 76
調光補正..... 76
ノイズ低減フィルター..... 77
Active D- ライティング（アクティブ D- ライティング）..... 77
多重露出..... 78
ズームメモリー..... 80
起動ポジション設定..... 81
M モード露出反映表示..... 81
動画メニュー..... 82
動画設定..... 82
AF（オートフォーカス）モード..... 85
電子手ブレ補正..... 86
風切り音低減..... 86
ズームマイク..... 87
フレームレート設定..... 87
再生メニュー..... 88
Wi-Fi 送信画像の指定..... 88
スライドショー..... 89
プロテクト設定..... 90
画像回転..... 90
連写グループ表示方法..... 91
連写の代表画像選択..... 91

Wi-Fi 設定メニュー 92
文字入力画面の操作方法 93
位置情報設定メニュー 94
位置情報設定 94
A-GPSファイルの更新方法 95
POI設定（地名情報の記録と表示） 96
衛星による日時合わせ 97
セットアップメニュー 98
地域と日時 98
カードなし時レリーズ 100
モニター設定 101
EVFの自動切り換え
（電子ビューファインダーの自動切り換え） 103
日付写し込み 103
手ブレ補正 104
AF補助光 105
電子ズーム 105
サイドズームレバー設定 106
操作音 106
オートパワーオフ 107
カードの初期化（フォーマット） 107
言語 /Language 107
パソコン接続充電 108
Av/Tv操作切り換え 109
連番リセット 109
ピーキング 110
設定クリアー 110
バージョン情報 110
警告メッセージ 111
記録データのファイル名 115
使用できるアクセサリー 116
リモコン ML-L3 でシャッターをきる 117
操作部別機能一覧 119

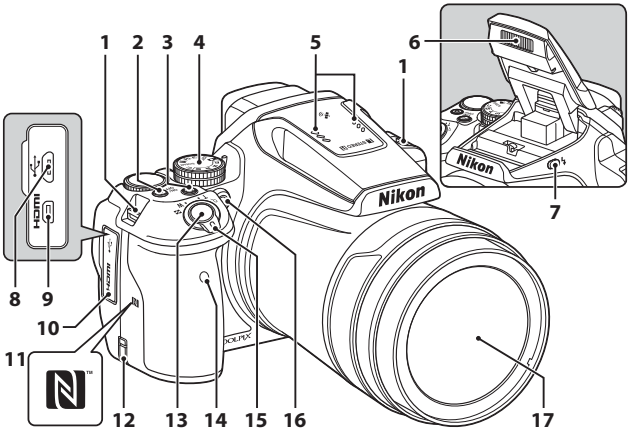
付録、索引 1

取り扱い上のご注意 2
　カメラについて 2
　電池について 3
　本体充電ACアダプターについて 4
　メモリーカードについて 5
お手入れ方法 6
　クリーニングについて 6
　保管について 6
故障かな？と思ったら 7
主な仕様 16
　使用できるメモリーカード 20
地名情報データ使用許諾契約書 22
索引 28
修理サービスのご案内 32
ニコンプラザについて 33

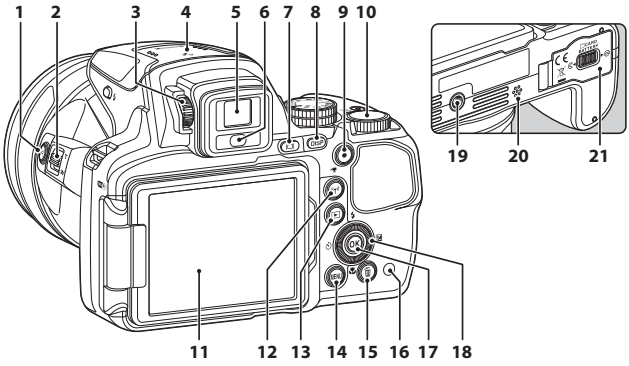
各部の名称

カメラ本体

フラッシュポップアップ時



1	ストラップ取り付け部 9	11	Nマーク（NFCアンテナ部)..... 46
2	電源スイッチ/電源ランプ（充電ランプ）...11、14、18	12	パワーコネクターカバー（別売ACアダプター用）..... 116
3	Fn（ファンクション）ボタン ..... 45、120	13	シャッターボタン ...17、120
4	モードダイヤル ..... 16、24	14	リモコン受光部（別売リモコン ML-L3用）..... 117
5	マイク（ステレオ)... 54、32	15	ズームレバー .....20 **W**：広角ズーム ....20、22 **T**：望遠ズーム ....20、22 ：サムネイル表示 .....24 ：拡大 23
6	フラッシュ 36	16	セルフタイマーランプ .....38 赤目軽減ランプ .....37 AF補助光 57
7	ϟ（フラッシュポップアップ）ボタン 36	17	レンズ
8	Micro-USB端子 ..... 11、61		
9	HDMIマイクロ端子（Type D）.....61		
10	端子カバー ..... 11、61		



1	（クイックバックズーム）ボタン 21
2	サイドズームレバー ..... 20 **W**：広角ズーム ..... 20 **T**：望遠ズーム 20
3	視度調節ダイヤル 19
4	測位アンテナ部..... 40
5	電子ビューファインダー ... 19
6	アイセンサー 19
7	（モニター）ボタン ... 19
8	**DISP**（表示切り換え）ボタン 3
9	●（動画撮影）ボタン ..... 21、 32
10	コマンドダイヤル ... 30、32、 120、 122
11	液晶モニター ..... 4、13
12	（Wi-Fi）ボタン ..... 60、 45
13	（再生）ボタン 22
14	**MENU**（メニュー）ボタン ..... 49、51、54、55、57
15	（削除）ボタン 23
16	リモコン受光部（別売リモコン ML-L3用）..... 117
17	**OK**（決定）ボタン ..... 50、 119、 122
18	ロータリーマルチセレクター（マルチセレクター）※ ..... 25、 119、 121
19	三脚ネジ穴
20	スピーカー..... 57、 36
21	電池/メモリーカードカバー 10

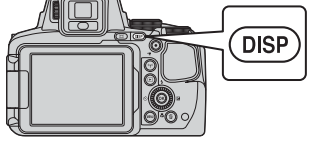
※ 本書では「マルチセレクター」と表記することがあります。

モニター画面の表示内容

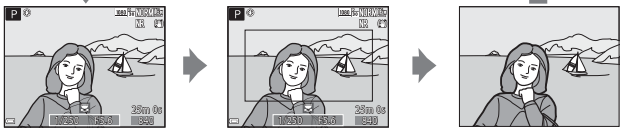
撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。

表示する情報を切り換える（DISPボタン）

DISP（表示切り換え）ボタンを押すたびに、撮影時や再生時にモニター画面に表示する情報の切り換えができます。



撮影時



情報ON
撮影画像と撮影情報を表示します。

動画枠表示
動画の写る範囲を枠線で表示します。

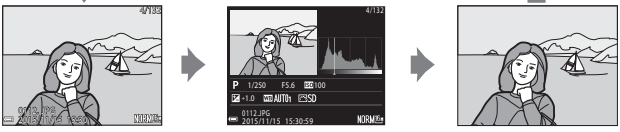
情報OFF
撮影画像だけを表示します。

撮影時のヒストグラム、格子線、水準器表示について

セットアップメニュー（📖57）→［**モニター設定**］で設定できます。

- 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**でヒストグラムや水準器を表示するには、［**AFエリア選択**］（📖52）をマニュアルに設定してください。
- ヒストグラムや水準器は、**📷**（オート撮影）モードや一部のシーンモードでは表示できません。

再生時

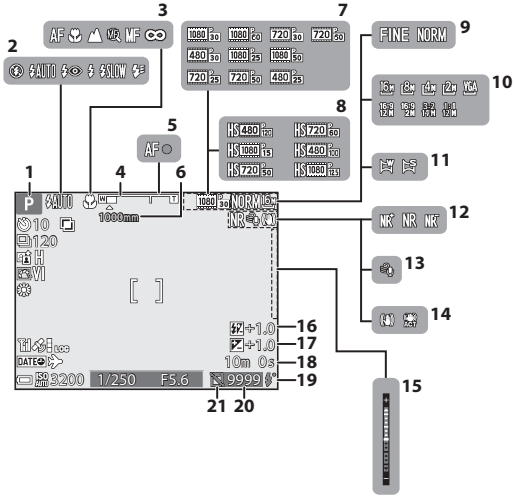


画像情報ON
再生画像と画像情報を表示します。

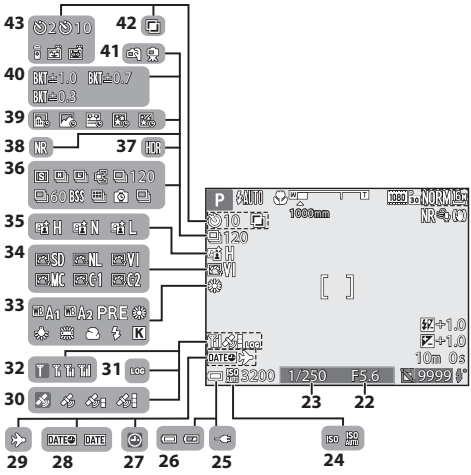
トーンレベルインフォメーション（動画は除く）
ヒストグラムとトーンレベル、撮影情報を表示します（📖8）。

情報OFF
再生画像だけを表示します。

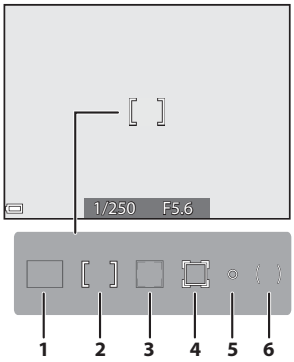
撮影画面の表示内容

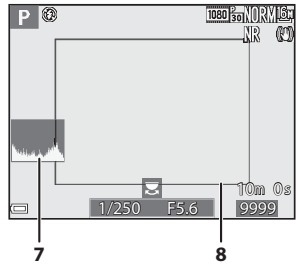


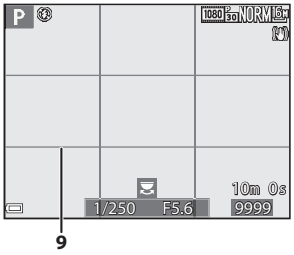
1	撮影モード 24	13	風切り音低減 54
2	フラッシュモード 36	14	手ブレ補正表示 ..... 57 電子手ブレ補正表示 54
3	フォーカスモード 40	15	露出インジケーター 32
4	ズーム表示 ..... 20、41	16	調光補正 52
5	AF表示 17	17	露出補正値 44
6	ズームメモリー 53	18	記録可能時間（動画） ..... 🔗32、🔗33
7	動画設定（通常速度の動画） 54	19	レディーライト 36
8	動画設定（HS動画）..... 54	20	記録可能コマ数（静止画） ..... 16、🔗56
9	画質 51	21	カードなし時レリーズ許可表示（メモリーカード未挿入時）..... 57、🔗100、⚙9
10	画像サイズ 51		
11	かんたんパノラマ ..... 27、🔗10		
12	ノイズ低減フィルター 52		

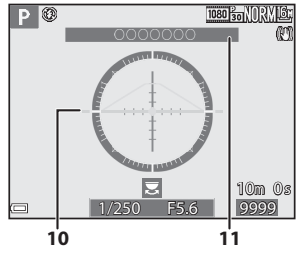


22	絞り値 30	**35**	アクティブD-ライティング 52
23	シャッタースピード 30	**36**	連写モード ..... 52、🔗8
24	ISO感度表示 52	**37**	逆光（HDR）..... 27、🔗7
25	本体充電ACアダプター接続中表示	**38**	連写NR撮影/通常撮影 ..... 🔗4、🔗5
26	電池残量表示 16	**39**	タイムラプス動画 ..... 27、🔗13
27	日時未設定 ..... 57、☼8	**40**	AEブラケティング 52
28	日付写し込み 57	**41**	手持ち撮影/三脚撮影 ....🔗3
29	訪問先 57	**42**	多重露出 52
30	位置情報受信状態 59	**43**	セルフタイマー ..... 38 リモコン .....🔗117 笑顔自動シャッター ..... 39 ペット自動シャッター ..... 38、🔗8
31	ログ取得表示 .....🔗42		
32	Wi-Fi通信表示 .....60、🔗45		
33	ホワイトバランス 51		
34	COOLPIXピクチャーコントロール 51		



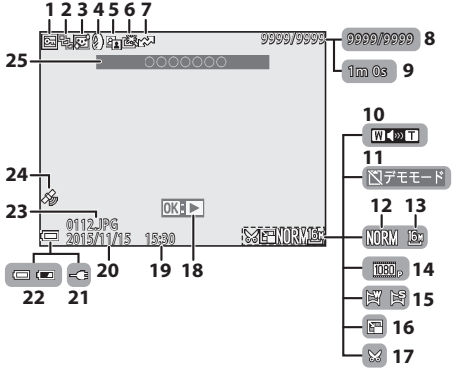






1	AFエリア（ターゲットファインドAF）..... 45、52、🔗18
2	AFエリア（中央/マニュアル）.....27、28、45、52、🔗21
3	AFエリア（顔認識、ペット検出）.....39、45、52、🔗8、🔗19
4	AFエリア（ターゲット追尾）..... 45、52、🔗75
5	スポット測光範囲 51
6	中央部重点測光範囲 51
7	ヒストグラム表示 .....3、🔗101
8	フレーミング枠（シーンモードの［月］、［鳥］またはクイックバックズーム時） ..... 21、🔗9
9	格子線表示..... 3、🔗101
10	水準器表示 ..... 3、🔗101、🔗102
11	地名情報（POI情報） .....59、🔗41

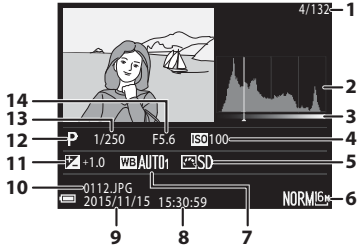
再生画面の表示内容



1	プロテクト表示 55	14	動画設定 54
2	連写グループ表示（［**1枚ずつ**］設定時）..... 55、🔗91	15	かんたんパノラマ表示 ..... 🔗12
3	美肌編集済み表示 55	16	スモールピクチャー 55
4	フィルター効果済み表示 55	17	トリミング .....🔗23
5	D-ライティング済み表示 55	18	かんたんパノラマ再生ガイド .....🔗12、🔗122 連写グループ再生ガイド ..... 🔗25、🔗122 動画再生ガイド .....🔗32
6	簡単レタッチ済み表示 55	19	撮影時刻 14
7	Wi-Fi送信予約済み表示 ..... 🔗88	20	撮影日 14
8	画像の番号/全画像数	21	本体充電ACアダプター接続中表示
9	動画の再生時間	22	電池残量表示 16
10	音量表示 .....🔗36	23	ファイル名 ..... 🔗115
11	カードなし時レリーズ許可表示（メモリーカード未挿入時）.....57、🔗100	24	位置情報記録済み表示 ..... 🔗94
12	画質 51	25	地名情報（POI情報）... 🔗41
13	画像サイズ 51		

トーンレベルインフォメーション表示

ハイライト部の白とびや暗部の黒つぶれの状態を、ヒストグラム表示やトーン（明暗）レベルごとの点滅表示などで確認できます。露出補正などで画像の明るさを調節する際の目安になります。



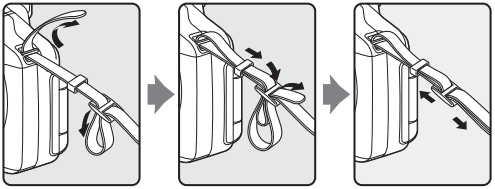
1	画像の番号/全画像数	**8**	撮影時刻 14
2	ヒストグラム※1	**9**	撮影日 14
3	トーンレベル※2	**10**	ファイル名 115
4	ISO感度 52	**11**	露出補正値 44
5	COOLPIXピクチャーコントロール 51	**12**	撮影モード 24
6	画質/画像サイズ 51	**13**	シャッタースピード 30
7	ホワイトバランス 51	**14**	絞り値 30

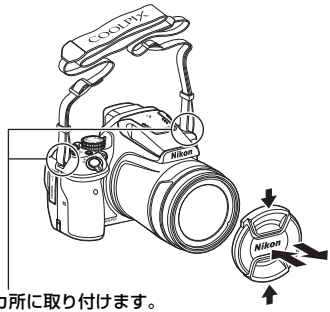
※1 ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。

※2 トーンレベルは、明暗のレベルを表します。マルチセレクターの◀▶または回転で確認するトーンレベルを選ぶと、選んだトーンレベルに対応する画像の部分が点滅します。

撮影の準備

ストラップとレンズキャップの取り付け方



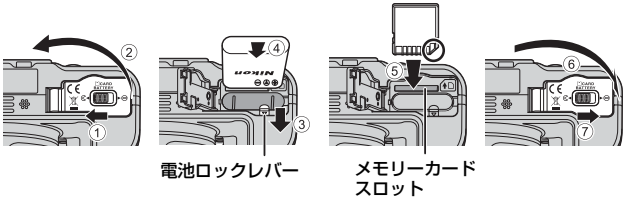


2 カ所に取り付けます。

レンズキャップについて

撮影しないときは、レンズキャップをレンズに取り付け、レンズを保護してください。

電池とメモリーカードを入れる



- 電池は、＋と－を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら（③）、奥まで差し込みます（④）。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます（⑤）。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。

メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。メモリーカードをカメラに入れ、**MENU**ボタンを押し、セットアップメニュー（□57）の［**カードの初期化**］を選びます。

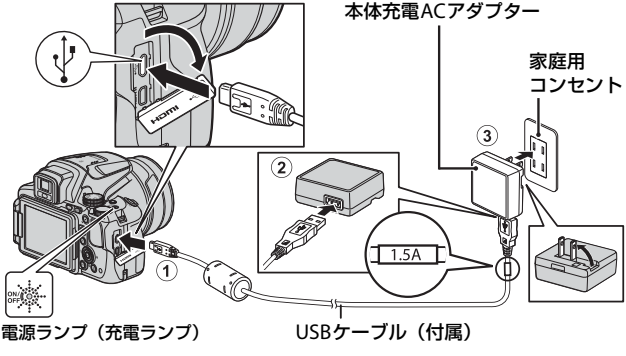
電池やメモリーカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/メモリーカードカバーを開けます。

- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。

電池を充電する

1 電池を入れたカメラを、家庭用コンセントに接続する



- 電源ランプ（充電ランプ）が緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 充電が終わると、電源ランプが消灯します。残量がない電池の場合、約3時間40分かかります。
- 電源ランプが緑色で速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
  - 充電可能な温度ではない。
  - USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていない。
  - 電池に異常がある。

2 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

USBケーブルについてのご注意

- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

充電についてのご注意

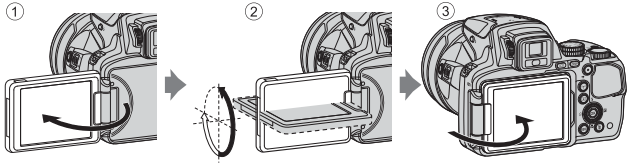
EH-71P/EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。

パソコンや充電器で充電する

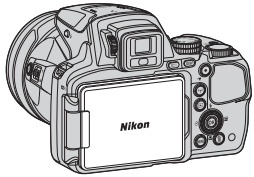
- このカメラをパソコンに接続しても、電池を充電できます。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-67Pを使うと、カメラを使わずに電池を充電できます。

液晶モニターの開き方と角度調節

液晶モニターの向きを変えると、カメラを高い位置や低い位置に構えて撮影するとき、自分撮りをするときなどに便利です。
通常は、モニター画面を外側にしてカメラ本体に収納した状態（③）でお使いください。



カメラを使わないときや持ち運ぶときは、傷や汚れを防ぐためにモニター画面を内側にしてカメラ本体に収納してください。



液晶モニターについてのご注意

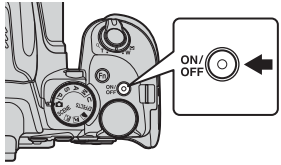
液晶モニターを動かすときは、接続部が破損しないよう、無理な力を加えず、可動範囲内でゆっくりと回してください。

電源をONにして、表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 液晶モニターが点灯します。
- もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。

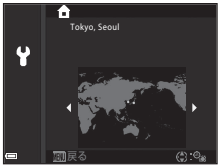


2 マルチセレクターの▲▼ で表示言語を選び、OKボタンを押す

3 [はい] を選び、OKボタンを押す

4 自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、OKボタンを押す

- ▲ を押すと地図上部に が表示され、夏時間として設定されます。取り消すには▼を押します。



5 ▲▼で日付の表示順を選び、OKボタンを押す

6 日時を合わせ、㊎ボタンを押す

- ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- ［分］を選んで㊎ボタンを押し、設定を確認します。

7 確認画面が表示されたら、▲▼で［はい］を選び、㊎ボタンを押す

- 設定が完了すると、レンズが繰り出し、撮影画面になります。

言語や日時の設定をやり直すには

- セットアップメニュー（📖57）で［**言語/Language**］または［**地域と日時**］を設定します。
- セットアップメニュー ➔［**地域と日時**］➔［**タイムゾーン**］で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。

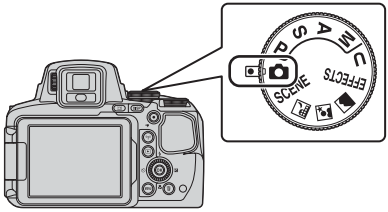
時計用電池について

- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。
  バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源を ON にすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください（📖14）。

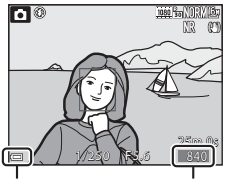
撮影と再生の基本操作

（オート撮影）モードで撮影する

1 モードダイヤルを回して、に合わせる



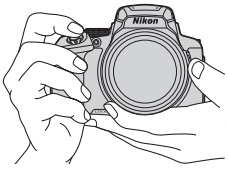
- （オート撮影）モードになり、基本的な撮影ができます。
- **DISP**（表示切り換え）ボタンを押すと、撮影時や再生時にモニター画面に表示する情報を切り換えできます。
- 電池残量表示
  : 電池残量はあります。
  : 電池残量が少なくなりました。

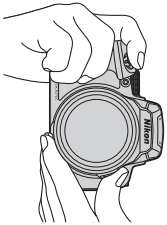


電池残量表示　　記録可能コマ数

2 カメラを構える

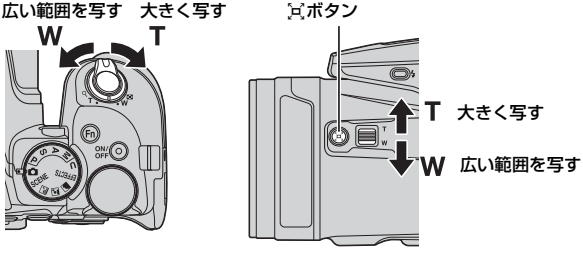
- レンズやフラッシュ、AF 補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。





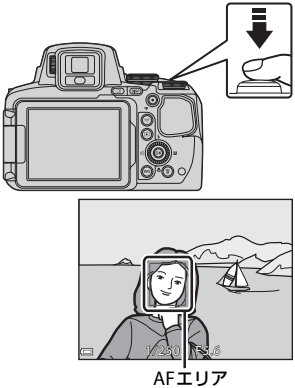
3 構図を決める

- ズーム位置を変えるには、ズームレバーまたはサイドズームレバーを動かします。
- 望遠側のズーム位置で被写体を見失ったときは、⌑（クイックバックズーム）ボタンを押すと、一時的に画角（見える範囲）が広がり、被写体を捉えやすくなります。



4 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、AF エリアまたはAF表示が緑色に点灯します。
- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。
- AFエリアまたはAF表示が点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて半押しをやり直してください。



5 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約 1 分続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中に液晶モニターを再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。

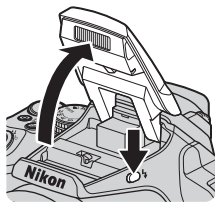
三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
  - 暗い場所でフラッシュが（発光禁止）のとき
  - ズーム位置が望遠側のとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー（🕮57）の［**手ブレ補正**］を［**しない**］にしてください。

フラッシュを使う

暗いところや逆光などでフラッシュが必要なときは、ϟ（フラッシュポップアップ）ボタンを押し、フラッシュをポップアップします。

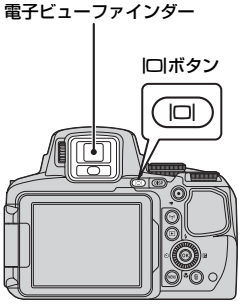
- フラッシュを使わないときは、フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。



液晶モニターと電子ビューファインダーを切り換える

日差しの強い屋外など、明るい場所でモニター画面が見えにくいときは、電子ビューファインダーを使えます。

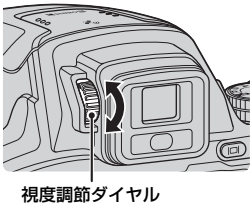
- 電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応し、電子ビューファインダーが点灯して、液晶モニターが消灯します（初期設定）。
- |◻|ボタンを押しても、液晶モニターまたは電子ビューファインダーに表示が切り換わります。



ファインダーの視度調節

ファインダー内の像が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら、視度調節ダイヤルを回して調節します。

- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。



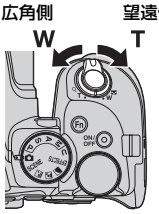
☑ 画像の色などの確認や調節をするときのご注意

電子ビューファインダーよりも色再現性の高い背面の液晶モニターをお使いください。

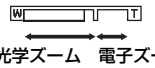
ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 大きく写す：**T**側
- 広い範囲を写す：**W**側
- ズームレバーをいっぱいまで回すと、ズームが速くなります。
- サイドズームレバーを**T**または**W**側に動かしても、ズームの操作ができます。
  サイドズームレバーの機能は、セットアップメニュー（🕮57）の［**サイドズームレバー設定**］で変更できます。



- ズームレバーを動かすと、撮影画面にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを**T**側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約**4**倍まで拡大できます。



電子ズームについて

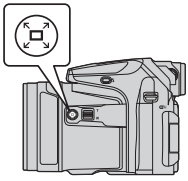
電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わります。

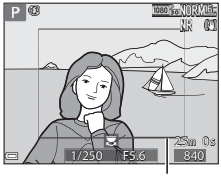
- ズーム表示が青色のとき：ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき：画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。
- 連写の設定などによっては、ズーム表示が青色にならないことがあります。

クイックバックズームを使う

望遠側のズーム位置で被写体を見失ったときは、[⌑]（クイックバックズーム）ボタンを押すと、一時的に画角（見える範囲）が広がり、被写体を捉えやすくなります。

- [⌑]ボタンを押したまま、撮影画面のフレーミング枠内に被写体を捉えます。画角をさらに広げたいときは、[⌑]ボタンを押したまま、ズームレバーを**W**側に動かします。
- [⌑]ボタンを離すと、元のズーム位置に戻ります。
- 動画撮影中はクイックバックズームを使えません。





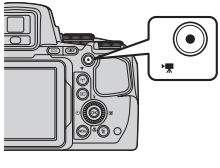
フレーミング枠

シャッターボタンの半押しと全押し

半押し		シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
全押し		シャッターボタンを深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

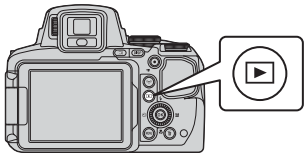
動画を撮影する

撮影画面を表示し、●（動画撮影）ボタンを押すと撮影を開始します。終了するにはもう一度●（動画撮影）ボタンを押します。



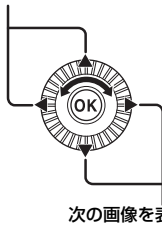
画像を再生する

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする



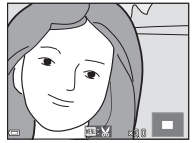
- 電源 OFF の状態で▶ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。

2 マルチセレクターで前後の画像を表示する



- ▲▼◀ ▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。
- マルチセレクターを回しても画像を選べます。
- **DISP** ボタンを押すと、モニター画面に表示される画像情報や撮影情報の表示/非表示を切り換えできます。
- 撮影した動画を再生するには、Ⓚ ボタンを押します。
- 撮影に戻るには、▶ボタンまたはシャッターボタンを押します。

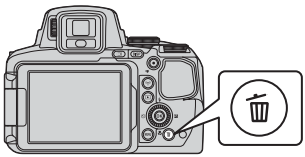
- 1 コマ表示でズームレバーを **T**（Q）側に動かすと、拡大表示されます。



- 1 コマ表示でズームレバーを **W**（▦）側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。

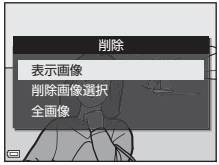
画像を削除する

1 削除したい画像を表示して 🗑（削除）ボタンを押す



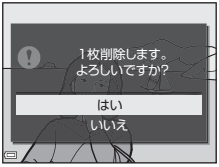
2 マルチセレクターの ▲▼ で削除方法を選び、Ⓚボタンを押す

- 削除をやめるには、**MENU**ボタンを押します。
- ［**削除画像選択**］を選んだときは→「画像選択画面の操作方法」（🕮56）



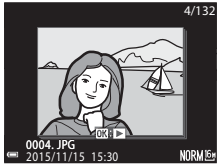
3 ［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。



☑ 連写した画像（連写グループ）の削除について

- 連写した画像は「連写グループ」として保存され、再生すると1コマ目（代表画像）のみを表示します（初期設定）。
- 代表画像の表示中に🗑ボタンを押すと、その連写グループの画像すべてが削除されます。
- 連写グループ内の画像を個別に削除するときは、Ⓚボタンを押して1コマずつに展開表示してから🗑ボタンを押します。

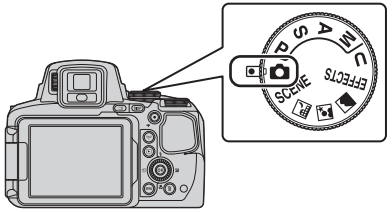


撮影モードで画像を削除する

撮影モードで🗑ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

撮影モードを変える

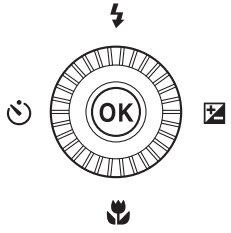
モードダイヤルを回すと、以下の撮影モードに変わります。



- **（オート撮影）モード**
  基本的な撮影ができます。
- SCENE、、、**（シーン）モード**
  撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。
  - SCENE：MENUボタンを押して、撮影シーンを選びます。［**おまかせシーン**］にすると、構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。
    タイムラプス動画にすると、静止画を一定間隔で複数回自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早送り動画にして記録します。
  - （夜景）：夜景の撮影に使います。
  - （夜景ポートレート）：夕景や夜景を背景にした人物撮影に使います。
  - （風景）：風景の撮影に使います。
- EFFECTS（スペシャルエフェクト）モード
  画像に効果を付けて撮影できます。MENUボタンを押して、効果を選びます。
- **P、S、A、Mモード**
  シャッタースピードや絞り値などを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。
- **U（ユーザーセッティング）モード**
  撮影でよく使う設定の組み合わせを登録できます。登録した設定は、モードダイヤルを**U**に合わせるだけで、すぐに呼び出して撮影できます。

マルチセレクターで設定できる機能（撮影時）

撮影画面でマルチセレクターの▲（ϟ）◀（⏲）▼（🌷）▶（⊠）を押すと、以下の機能を設定できます。

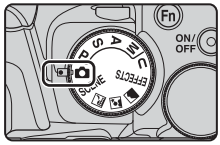


- **ϟ フラッシュモード**
  フラッシュのポップアップ時に、発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。
- **⏲ セルフタイマー/リモコン/笑顔自動シャッター**
  セルフタイマーを10秒または2秒から選べます。
  笑顔自動シャッターに設定すると、カメラが人物の笑顔を検出して自動でシャッターがきれます。
  リモコンに設定すると、別売のリモコンML-L3でシャッターをきることができます（🕶117）。
- **🌷 フォーカスモード**
  被写体との距離によって、AF（通常AF）、🌷（マクロAF）、または▲（遠景AF）に設定できます。撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U**、**EFFECTS**、シーンモードの［**スポーツ**］、［**打ち上げ花火**］、［**鳥**］、または［**タイムラプス動画**］（星空、星軌跡）のときは、MF（マニュアルフォーカス）に設定できます。
- **⊠ 露出補正**
  画像全体の明るさを調節できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

いろいろな撮影

（オート撮影）モード



基本的な撮影ができます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます（ターゲットファインドAF）。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。
- 「ピント合わせについて」→ 18

（オート撮影）モードで設定できる機能

- フラッシュモード（36）
- セルフタイマー（38）
- 笑顔自動シャッター（39）
- フォーカスモード（40）
- 露出補正（44）
- 撮影メニュー（51）

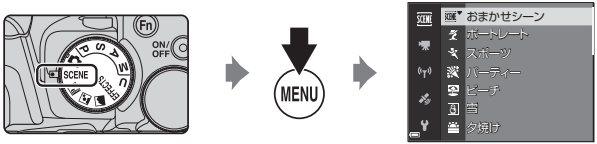
シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

夜景（🔗3）※1 ※2、夜景ポートレート（🔗3）、風景（🔗4）※1 ※2

モードダイヤルを、または に合わせて撮影します。

SCENE（シーン）



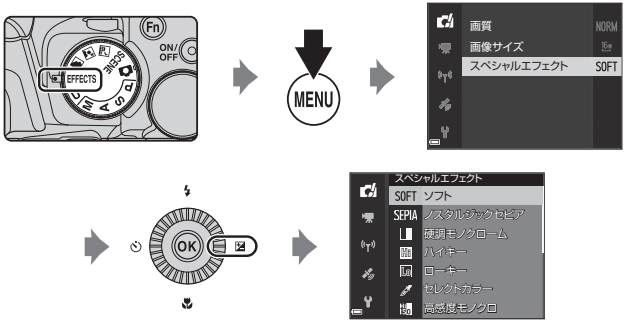
MENU ボタンを押してシーンメニューを表示し、マルチセレクターで以下の撮影シーンを選びます。

おまかせシーン（初期設定）（🔗4）	ミュージアム（🔗6）※1
ポートレート	打ち上げ花火（🔗6）※3
スポーツ（🔗5）※1	モノクロコピー（🔗6）※1
パーティー（🔗5）※1	逆光（🔗7）※1
ビーチ ※1	かんたんパノラマ（🔗10）※1
雪 ※1	ペット（🔗8）
夕焼け ※1 ※2 ※3	月（🔗9）※1 ※2 ※3
トワイライト ※1 ※2 ※3	鳥（🔗9）※1
クローズアップ（🔗5）	タイムラプス動画（🔗13）※3 ※4
料理（🔗6）	

※1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。エリアの位置は移動できません。
※2 ピントは遠景に合います。
※3 三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（🕮57）の［**手ブレ補正**］を［**しない**］にしてください。
※4 静止画を一定間隔で複数回自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早送り動画にして記録します。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。

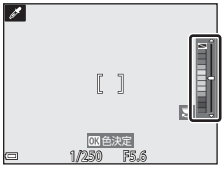


効果は、**MENU**（メニュー）ボタンを押してスペシャルエフェクトメニューを表示し、マルチセレクターで選びます。

項目	内容
ソフト※（初期設定）	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
ノスタルジックセピア※	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
セレクトカラー	特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
高感度モノクロ	意図的に高感度で撮影して、モノトーン（白黒）で表現します。暗いところでの撮影に適しています。 ・ 撮影した画像にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。
クロスプロセス	ポジフィルムをネガ現像処理、またはネガフィルムをポジ現像処理したような、通常とは違う色合いで撮影します。

※ 選べない［**動画設定**］（🕮54）があります。

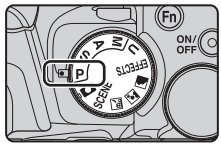
- ピントは画面中央のエリアで合わせます。エリアの位置は移動できません。
- ［**セレクトカラー**］または［**クロスプロセス**］を選んだときは、コマンドダイヤルを回して色を選び、Ⓚボタンで決定します。色を選び直すには、もう一度Ⓚボタンを押します。



スペシャルエフェクトモードで設定できる機能

- フラッシュモード（🕮36）
- セルフタイマー（🕮38）
- フォーカスモード（🕮40）
- 露出補正（🕮44）
- 撮影メニュー（🕮51）

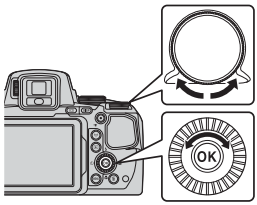
P、S、A、Mモード（露出を設定して撮影する）

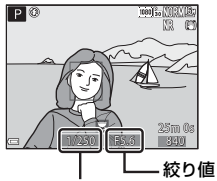


撮影状況や撮影意図に合わせて、シャッタースピードや絞り値を自分で設定できるほか、撮影メニュー（🕮51）の項目を設定して、より本格的な撮影を楽しめます。

- ピント合わせをするエリアは、［**AFエリア選択**］（🕮52）の設定によって異なります。
- 初期設定の［**ターゲットファインドAF**］では、カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。

シャッタースピードや絞り値を設定するには、コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回します。





露出モード		シャッタースピード	絞り値
P	**プログラムオート**（🕮32）	自動調節（コマンドダイヤルでプログラムシフト可能）	
S	**シャッター優先オート**（🕮32）	コマンドダイヤルで調節	自動調節
A	**絞り優先オート**（🕮32）	自動調節	マルチセレクターで調節
M	**マニュアル露出**（🕮32）	コマンドダイヤルで調節	マルチセレクターで調節

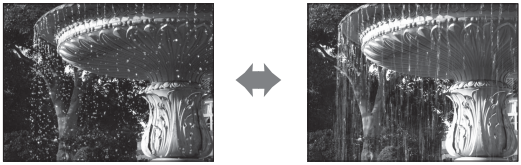
関連ページ

Av/Tv操作切り換え → 🕮57

露出について

シャッタースピードや絞り値を自分で調節して、画像が意図した明るさ（露出）で撮影されるようにすることを「露出を合わせる」といいます。
同じ露出でもシャッタースピードと絞り値の組み合わせによって撮影される画像の流動感や背景のぼかし具合が変わります。

シャッタースピードを調節する



速くする
1/1000 秒

遅くする
1/30 秒

絞り値を調節する

小さくする
（絞りを開く）
f/2.8

大きくする
（絞りを絞り込む）
f/8

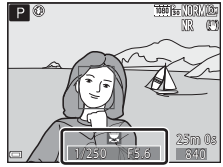
シャッタースピードの制御範囲について

シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り、ISO感度の設定によって異なります。

絞り値（F値）とズームについて

レンズの絞り値は、数値が小さくなるほど（絞りを開くほど）明るくなり、数値が大きくなるほど（絞りを絞るほど）暗くなります。レンズの最も明るい絞り値を「開放絞り値」といい、最も暗い絞り値を「最小絞り値」といいます。
このカメラの絞り値は、ズーム位置によっても変化します。

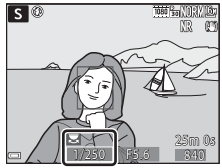
P（プログラムオート）



露出の設定をカメラにまかせて撮影します。

- コマンドダイヤルを回すと、露出値を変えずにシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。これを「プログラムシフト」といいます。プログラムシフト中は、モニター画面左上の**P**表示の横にプログラムシフトマーク（✱）が表示されます。
- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク（✱）が消えるまでコマンドダイヤルを回します。撮影モードを切り換えたり、電源をOFFにしても、プログラムシフトを解除できます。

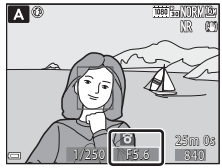
S（シャッター優先オート）



動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影したり、遅いシャッタースピードで動きを強調するときなどに使います。

- コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを調節できます。

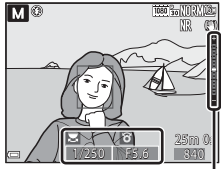
A（絞り優先オート）



被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、被写体の背景を意図的にぼかしたいときなどに使います。

- マルチセレクターを回すと、絞り値を調節できます。

M（マニュアル露出）



露出インジケーター

撮影意図に合わせて、露出をコントロールしたいときに使います。

- 設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測定した適正露出値の差がモニター画面の露出インジケーターに表示されます。露出インジケーターは、−2 EVから+2 EV の範囲で1/3 EVごとに表示されます。
- コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを調節でき、マルチセレクターを回すと、絞り値を調節できます。

撮影時のご注意

- 露出を設定したあとにズーム操作をすると、露出の組み合わせや絞り値が変化することがあります。
- 被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、適切な露出が得られない場合があります。このときにシャッターボタンを半押しすると、シャッタースピード表示や絞り値表示が点滅します（**M**モード時を除く）。設定したシャッタースピード、または絞り値を変えてください。

ISO感度についてのご注意

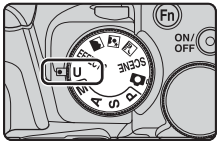
Mモード時のISO感度は、［**ISO感度設定**］（🕮52）を［**オート**］（初期設定）または［**感度制限オート**］に設定すると、ISO 100に固定されます。

P、S、A、Mモードで設定できる機能

- フラッシュモード（🕮36）
- セルフタイマー（🕮38）
- 笑顔自動シャッター（🕮39）
- フォーカスモード（🕮40）
- 露出補正（🕮44）
- 撮影メニュー（🕮51）
- Fn（ファンクション）ボタンで設定できる機能（🕮45）

U（ユーザーセッティング）モード

撮影でよく使う設定の組み合わせ（ユーザーセッティング）を**U**に登録できます。**P**（プログラムオート）、**S**（シャッター優先オート）、**A**（絞り優先オート）または**M**（マニュアル露出）で撮影できます。



モードダイヤルを回して、**U**に合わせると、［**User Setting 登録**］で登録した設定になります。

- そのまま、構図を決めて撮影するか、必要に応じて設定を変えて撮影します。
- モードダイヤルを **U** に合わせたときの設定の組み合わせは、［**User Setting 登録**］で何度でも再登録できます。

以下の設定内容を登録できます。

基本設定

- 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**（🕮30）
- ズーム位置（🕮20）
- フラッシュモード（🕮36）
- セルフタイマー（🕮38）
- フォーカスモード（🕮40）
- 露出補正（🕮44）
- Fnボタン設定（🕮45）

撮影メニュー

- 画質（🕮51）
- 画像サイズ（🕮51）
- Picture Control（🕮51）
- CSM Picture Control（🕮51）
- ホワイトバランス（🕮51）
- 測光方式（🕮51）
- 連写（🕮52）
- ISO感度設定（🕮52）
- AEブラケティング（🕮52）
- AFエリア選択（🕮52）
- AFモード（🕮52）
- 調光補正（🕮52）
- ノイズ低減フィルター（🕮52）
- Active D-ライティング（🕮52）
- 多重露出（🕮52）
- ズームメモリー（🕮53）
- 起動ポジション設定（🕮53）
- Mモード露出反映表示（🕮53）

Uモードに設定を登録する（User Setting 登録）

撮影でよく使う設定を変更して、**U**に登録します。

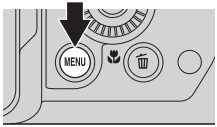
1 モードダイヤルを**U**モードに登録したい撮影モード**P**、**S**、**A**または**M**に合わせる

- **U**に合わせても登録できます（ご購入時は、撮影モード**P**の初期設定が登録されています）。

2 撮影時の設定をよく使う組み合わせに変更する

- 登録内容は🕮34をご覧ください。
- プログラムシフトの設定（**P**のとき）、シャッタースピード（**S**、**M**のとき）、絞り値（**A**、**M**のとき）の設定も記憶します。

3 MENU（メニュー）ボタンを押し、撮影メニューを表示する



4 マルチセレクターの ▲▼ で［**User Setting登録**］を選んで、Ⓚボタンを押す

- 現在の設定内容が登録されます。

時計用電池のご注意

内蔵の時計用電池（🕮15）が切れると、**U**に登録した設定内容がリセットされますのでご注意ください。重要な設定は、必要に応じてメモしておくことをおすすめします。

U（ユーザーセッティング）のリセットについて

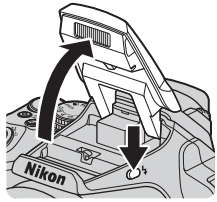
撮影メニューで［**User Setting リセット**］を選ぶと、ユーザーセッティングに登録された設定内容は、初期設定に戻ります。撮影モードは**P**になります。

フラッシュモード

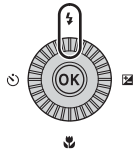
フラッシュのポップアップ時に、発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 ϟ（フラッシュポップアップ）ボタンを押し、フラッシュをポップアップする

- フラッシュを閉じているときは発光禁止になり、㉙が表示されます。



2 マルチセレクターの▲（ϟ）を押す

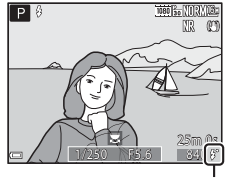


3 フラッシュモード（🕮37）を選び、㊎ボタンを押す

- ㊎ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

レディーライト（フラッシュ充電表示）について

フラッシュの充電中はϩが点滅します。撮影できません。
充電が完了していると、シャッターボタンを半押ししたときにϩが点灯します。



レディーライト

フラッシュモードの種類

AUTO　自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。
- 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

赤目軽減自動発光/赤目軽減発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します（🕮37）。
- ［**赤目軽減発光**］では、常にフラッシュを発光します。

強制発光/通常発光

常にフラッシュを発光します。

SLOW　スローシンクロ

夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。強制発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

リアシンクロ

シャッターが閉じる直前にフラッシュを強制発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したいときなどに適しています。

フラッシュモードの設定について

- 設定できるフラッシュモードは、撮影モードによって異なります。撮影モードによっては設定できないことがあります。
- 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U**の場合は、自動発光は選べません。
- 以下の場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。
  - 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**の場合
  - （オート撮影）モードで、（赤目軽減自動発光）にして撮影した場合

赤目軽減自動発光/赤目軽減発光について

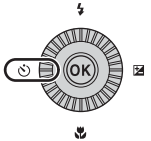
フラッシュが本発光する前に、赤目軽減ランプが発光し、赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。

撮影する際は、以下にご注意ください。
- 赤目軽減ランプが発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマー

シャッターボタンを押してから10秒または2秒後にシャッターをきります。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（📖57）の［**手ブレ補正**］を［**しない**］にしてください。

1 マルチセレクターの◀（⏲）を押す



2 セルフタイマーモードを選び、⊛ボタンを押す

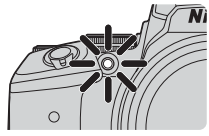
- ［⏲**10s**］（10 秒）：記念撮影などに適しています。
- ［⏲**2s**］（2 秒）：手ブレの軽減に適しています。
- ［📱］/［📱 **10s**］（10秒）/［📱 **2s**］（2秒）：リモコン ML-L3（別売）を使ってシャッターをきることができます（🔗117）。
- ⊛ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの［**ペット**］のときは、🐾（ペット自動シャッター）が表示されます（🔗8）。セルフタイマーは使えません。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



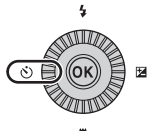
笑顔自動シャッター（笑顔を自動撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます。

- 撮影モードが **AUTO**（オート撮影）、**P**、**S**、**A**、**M**、**U**、シーンモードの［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］のときに使えます。

1 マルチセレクターの◀（⏲）を押す

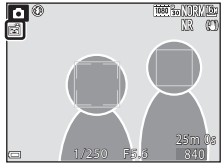
- フラッシュモード、露出、撮影メニューなどを設定するときは、◀を押す前に設定してください。



2 🙂（笑顔自動シャッター）を選び、OKボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ



- 人物の顔にカメラを向けてください。
- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- 笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。

4 自動撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、手順1に戻って［**OFF**］を選びます。

笑顔自動シャッターについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります（🔗19）。シャッターボタンを押しても撮影できます。

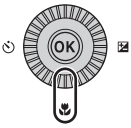
セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

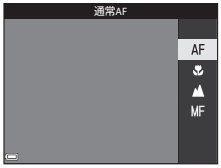
フォーカスモード

フォーカスモードは、被写体との距離によって設定します。

1 マルチセレクターの▼（🌷）を押す



2 フォーカスモードを選び、OKボタンを押す



- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

フォーカスモードの種類

AF	**通常**AF
	被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。 レンズから50 cm以上（最も望遠側の場合は5.0 m以上）離れた被写体を撮影するときに使います。 • 撮影画面のフォーカスモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。
	マクロAF
	被写体に近づいて撮影するときに設定します。 マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cm、マークのズーム位置では、レンズ前約1 cmの被写体からピント合わせができます。
	遠景AF
	窓越しの景色や風景、建物などを撮影するときに使います。 無限遠付近でピントを合わせます。 • 近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
	無限遠固定
	空や打ち上げ花火などを撮影するときに使います。
MF	**マニュアルフォーカス**
	レンズ前約1 cm～無限遠（∞）の任意の被写体にピントを合わせられます（📖42）。最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。

フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

フォーカスモードの設定について

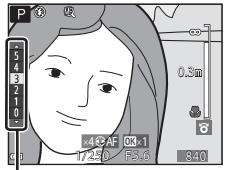
- 撮影モードによって、設定できないことがあります（👓15）。
- 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**の場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

マニュアルフォーカスの使い方

撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U**、スペシャルエフェクトモード、シーンモードの［**スポーツ**］、［**打ち上げ花火**］、［**鳥**］、［**タイムラプス動画**］（星空、星軌跡）のときに使えます。

1 マルチセレクターの▼（）を押し、MF（マニュアルフォーカス）を選んで、Ⓚボタンを押す

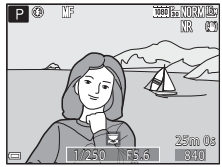
2 拡大表示で確認しながら、マルチセレクターでピントを合わせる



ピーキングレベル

- 画像中央部が拡大表示されます。拡大率は、◀を押すと2倍または4倍に切り換わります。
- マルチセレクターを時計回りに回すと近くに、反時計回りに回すと遠くにピントが合います。ゆっくり回すかコマンドダイヤルを回すと、より細かくピント合わせができます。
- ▶を押すと、画面中央の被写体にオートフォーカスします。オートフォーカスでピントを合わせてから、マニュアルフォーカスの操作ができます。
- ピントが合った箇所は、白色で強調（ピーキング）表示し、ピント合わせを補助します（🕮43）。▲▼を押すと、ピーキングレベルを調節できます。
- シャッターボタンを半押しすると構図を確認できます。そのまま全押しすると撮影ができます。

3 Ⓚボタンを押す



- 設定したピントに固定されます。
- シャッターボタンを全押しすると撮影できます。
- 設定したピントを変更するときは、Ⓚボタンを押して手順2の画面を表示します。

MF（マニュアルフォーカス）について

- 手順 2 で画面右のゲージに表示される数字は、ゲージを中央付近にしたときにピントが合う距離の目安です。
- 実際にピントが合う範囲は、絞り値やズーム位置によって異なります。ピントが合っているかどうかは、撮影後の画像で確認してください。
- セットアップメニュー（🕮57）の［**サイドズームレバー設定**］を［**MFレバー**］にすると、手順2でマルチセレクターのかわりにサイドズームレバーでもピント合わせができます。

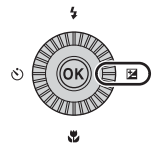
ピーキングについて

- ピーキングレベルを調節すると、ピントが合っていると見なす範囲を変更できます。コントラストの高い被写体では弱めに、低い被写体では強めに設定すると効果的です。
- ピーキングでは、画像のコントラストが高い部分を白色で強調します。撮影条件によっては、適切に強調できないことや、ピントの合っていない部分を強調して表示することがあります。
- セットアップメニュー（🕮57）の［**ピーキング**］でピーキング表示しない設定にできます。

露出補正（明るさを調節する）

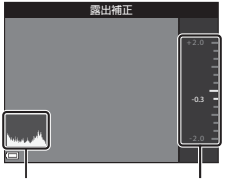
画像全体の明るさを調節できます。

1 マルチセレクターの▶（⊠）を押す



2 補正値を選び、⊛ボタンを押す

- 明るくする：「+」側に設定します。
- 暗くする：「−」側に設定します。
- ⊛ボタンを押さなくても、補正値が設定されます。



露出補正の設定について

- **P**、**S**、**A**モードの場合、設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- 撮影モードが、シーンモードの［**打ち上げ花火**］（🕶6）または **M**（マニュアル露出）モード（📖32）の場合、露出補正は使えません。
- フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方が補正されます。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、露出を補正するときの目安になります。

- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「−」側にすれば山が左側に寄ります。

Fn（ファンクション）ボタンで設定できる機能

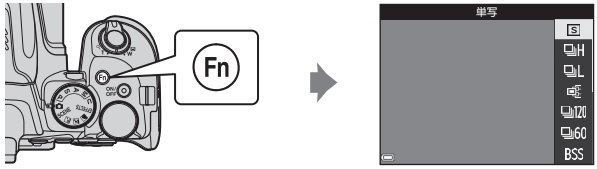
以下の機能は、**MENU**（メニュー）ボタンを押してメニューを表示する代わりに、Fnボタンを押しても設定できます。

・ 撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U**のときに使えます。

画質（🕮51）	連写（🕮52）
画像サイズ（🕮51）	ISO感度設定（🕮52）
Picture Control（🕮51）	AFエリア選択（🕮52）
ホワイトバランス（🕮51）	手ブレ補正（🕮57）
測光方式（🕮51）	

1 撮影画面で、Fn（ファンクション）ボタンを押す

・ 最後に設定した機能の設定項目（初期設定は［**連写**］）と［**Fnボタン設定**］を選べます。



2 マルチセレクターでメニュー項目を選ぶ

・ 他の機能を設定するには、［**Fn ボタン設定**］を選んでOKボタンを押します。表示されるメニューから設定したい機能を選びます。

決定

3 設定が終わったら、OKボタンまたはFnボタンを押す

・ 撮影画面に戻ります。

撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	フォーカスモード（🕮40）	▲（遠景AF）または∞（無限遠固定）にすると、フラッシュは使えません。
	連写（🕮52）	フラッシュは使えません（［**インターバル撮影**］を除く）。
	AEブラケティング（🕮52）	フラッシュは使えません。
セルフタイマー/リモコン/笑顔自動シャッター	フォーカスモード（🕮40）	AF（通常AF）以外にすると、笑顔自動シャッターは［**OFF**］になります。
	AFエリア選択（🕮52）	［**ターゲット追尾**］にすると、セルフタイマー/笑顔自動シャッター/リモコンは使えません。
フォーカスモード	笑顔自動シャッター（🕮39）	笑顔自動シャッターにすると、AF（通常AF）に固定されます。
	AFエリア選択（🕮52）	［**ターゲット追尾**］にすると、MF（マニュアルフォーカス）は設定できません。
画質	連写（🕮52）	［**先取り撮影**］にすると、［**NORMAL**］に固定されます。
画像サイズ	連写（🕮52）	連写の設定によって、［**画像サイズ**］は以下に固定されます。 • ［**先取り撮影**］時：1M（1280×960 ピクセル） • ［**高速連写 120 fps**］時：VGA（640×480 ピクセル） • ［**高速連写 60 fps**］時：2M（1920×1080 ピクセル） • ［**マルチ連写**］時：5M（2560×1920 ピクセル）
Picture Control	AFエリア選択（🕮52）	［**ターゲット追尾**］にすると、［**モノクローム**］を設定できません。
	Active D-ライティング（🕮52）	［**Active D-ライティング**］を使うときは、「手動調整」の［**コントラスト**］を調整できません。
ホワイトバランス	Picture Control（🕮51）	［**モノクローム**］にすると、［**ホワイトバランス**］は［**オート（標準）**］に固定されます。
測光方式	Active D-ライティング（🕮52）	［**Active D-ライティング**］を［**しない**］以外にすると、［**測光方式**］は［**マルチパターン**］にリセットされます。

制限される機能	設定	内容
連写/AEブラケティング	連写（📖52）/ AEブラケティング（📖52）	[**連写**] と [**AEブラケティング**] は同時に使えません。
	セルフタイマー（📖38）/ リモコン（👓117）	• [**連写 H**]、[**連写 L**]、[**先取り撮影**]、または [**BSS**] に設定しても、セルフタイマー/ リモコンを使うと 1 コマずつの撮影になります。インターバル撮影は、1 コマで終了します。 • [**AEブラケティング**] は使えません。
	笑顔自動シャッター（📖39）	• 笑顔検出してシャッターがきれた場合､1 コマのみの撮影になります。インターバル撮影は、1 コマで終了します。 • [**AEブラケティング**] は使えません。
	Picture Control（📖51）	[**モノクローム**] にすると、[**AEブラケティング**] は使えません。
	多重露出（📖52）	同時に使えません。
ISO感度設定	連写（📖52）	[**先取り撮影**]、[**マルチ連写**]、[**高速連写 120 fps**]、[**高速連写60 fps**] にすると、[**ISO 感度設定**] は [**オート**] に固定されます。
AFエリア選択	笑顔自動シャッター（📖39）	[**AFエリア選択**] の設定にかかわらず、顔認識撮影になります。
	フォーカスモード（📖40）	• [**ターゲット追尾**] 以外に設定したときにフォーカスモードを ▲（遠景 AF）にすると、[**AF エリア選択**] の設定にかかわらず、遠景にピントが合います。 • **MF**（マニュアルフォーカス）にすると、[**AF エリア選択**] を設定できません。
	Picture Control（📖51）	[**モノクローム**] にすると、[**ターゲット追尾**] を設定できません。
	ホワイトバランス（📖51）	[**ターゲットファインドAF**] 時、[**オート（標準）**] 以外に設定すると、顔、または9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAF エリアでピントが合います。

制限される機能	設定	内容
AFモード	笑顔自動シャッター（📖39）	笑顔自動シャッターのときは、［**シングルAF**］で動作します。
	フォーカスモード（📖40）	フォーカスモードを▲（遠景AF）にすると、［**シングルAF**］で動作します。
アクティブ D- ライティング	ISO感度設定（📖52）	［**ISO感度設定**］が［**1600**］、［**3200**］、［**6400**］のときは、［**Active D-ライティング**］は使えません。
多重露出	連写（📖52）	同時に使えません。
	AEブラケティング（📖52）	同時に使えません。
モニター設定	笑顔自動シャッター（📖39）	笑顔自動シャッターのときは、水準器は表示されません。
	AFエリア選択（📖52）	• ［**顔認識オート**］のときは、水準器は表示されません。 • ［**ターゲット追尾**］のときは、水準器は表示されません。また、ターゲット登録後（追尾中）は、ヒストグラムは表示されません。 • ［**ターゲットファインド AF**］のときは、水準器とヒストグラムは表示されません。
日付写し込み	連写（📖52）	［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］にすると、日時を写し込めません。
電子ズーム	笑顔自動シャッター（📖39）	笑顔自動シャッターにすると、電子ズームは使えません。
	連写（📖52）	［**マルチ連写**］にすると、電子ズームは使えません。
	AFエリア選択（📖52）	［**ターゲット追尾**］にすると、電子ズームは使えません。
	ズームメモリー（📖53）	［**ズームメモリー**］を［**ON**］にすると、電子ズームは使えません。
シャッター音	連写（📖52）	［**連写H**］、［**連写L**］、［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］にすると、シャッター音は鳴りません。
	AEブラケティング（📖52）	シャッター音は鳴りません。

☑ 電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません（🕶105）。
- 電子ズーム使用時は、AFエリア選択や測光方式などが制限されます。

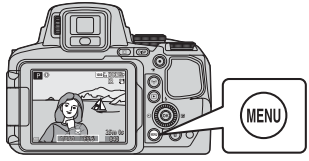
MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能

MENU（メニュー）ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

- 📷、SCENE、🎨、👤、🏞、EFFECTS、**P**、**S**、**A**、**M**、**U 撮影メニュー**
  撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。
  画像サイズと画質の組み合わせなど、撮影時の設定を変更できます。
  メニューアイコンと設定できる項目は、撮影モードによって異なります。
- **▶ 再生メニュー**
  1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押すと設定できます。
  画像の編集や、スライドショーの再生などができます。
- **🎥 動画メニュー**
  撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。
  動画撮影についての設定ができます。
- **Wi-Fi設定メニュー**
  カメラとスマートデバイスを接続する設定ができます。
- **位置情報設定メニュー**
  位置情報機能に関する設定ができます。
  ［**位置情報設定**］の［**位置情報記録機能**］を［**する**］にすると、測位衛星の電波の受信を開始します。
- **セットアップメニュー**
  日時や表示言語など、カメラに関する基本的な設定ができます。

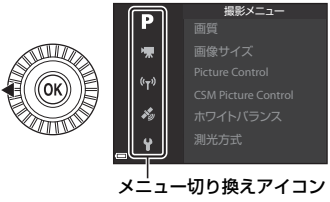
1 MENU（メニュー）ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。



2 マルチセレクターの◀を押す

- メニューアイコンが黄色で表示されます。



3 メニューアイコンを選び、Ⓚボタンを押す

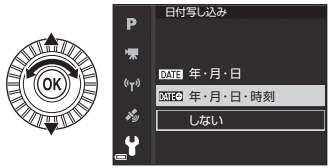
- メニュー項目が選べるようになります。

4 メニュー項目を選び、Ⓚボタンを押す

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。
- マルチセレクターを回しても項目を選べます。

5 設定内容を選び、Ⓚボタンを押す

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押してください。



- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタンまたは●（▶■）ボタンを押してください。

撮影メニュー

撮影画面にする ➔ MENU ボタン

撮影モード共通

項目	内容	🕮
画質	記録する画質（画像の圧縮率）を設定します。 • 初期設定：[**NORMAL**]	56
画像サイズ	記録する画像サイズ（画像の大きさ）を設定します。 • 初期設定：16M [**4608×3456**]	57

P、S、A、M、Uモード

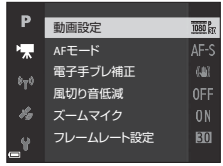
項目	内容	🕮
Picture Control（COOLPIX**ピクチャーコントロール**）	撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画（え）作りを設定できます。 • 初期設定：[**スタンダード**]	58
CSM Picture Control（COOLPIX**カスタムピクチャーコントロール**）	「COOLPIXピクチャーコントロール」の設定を調節（カスタマイズ）して、[**Picture Control**]の[**カスタム1**]または[**カスタム2**]に登録します。	62
ホワイトバランス	画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。 • 初期設定：[**オート（標準）**]	63
測光方式	被写体の明るさを測定する方式を設定します。 • 初期設定：[**マルチパターン**]	66

項目	内容	🕮
連写	単写または連続撮影の設定をします。 • 初期設定：[**単写**]	67
ISO**感度設定**	被写体の明るさに応じて、ISO感度を設定します。 • 初期設定：[**オート**] [**オート**]では、ISO感度が高くなると、撮影画面に[ISO]が表示されます。 • **M**（マニュアル露出）モードのときに[**オート**]または[**感度制限オート**]に設定すると、ISO 感度は ISO 100 に固定されます。	71
AE**ブラケティング**	露出（明るさ）を自動的に変えながら連続撮影できます。 • 初期設定：[**しない**]	72
AF**エリア選択**	AF（オートフォーカス）でピント合わせをするエリアの決め方を変更します。 • 初期設定：[**ターゲットファインド AF**]	73
AF**モード**	シャッターボタンを半押ししたときのみピント合わせを行う[**シングル AF**]、または半押ししていないときもピント合わせを行う[**常時 AF**]に設定します。 • 初期設定：[**常時 AF**]	76
調光補正	フラッシュの発光量を補正します。 • 初期設定：[**0.0**]	76
ノイズ低減フィルター	画像の記録時に通常行うノイズ低減機能の強さを設定します。 • 初期設定：[**標準**]	77
Active D-**ライティング**	ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに近い画像で撮影します。 • 初期設定：[**しない**]	77
多重露出	2～3コマの画像を重ねて、ひとつの画像として記録できます。 • 初期設定： - 多重露出モード：[**しない**] - 自動ゲイン補正：[**する**]	78
User Setting **登録**	現在の設定をモードダイヤル**U**（🕮34）に登録します。	35
User Setting **リセット**	モードダイヤル**U**に登録した設定内容をリセットします。	35

項目	内容	🕮
ズームメモリー	ズームレバーを動かすと、この設定でチェックボックスをオンにしたズーム位置（35mm判換算の焦点距離/撮影画角）に切り換わります。 • 初期設定：[**しない**]	80
起動ポジション設定	電源をONにしたときのズーム位置（35mm判換算の焦点距離/撮影画角）を設定します。 • 初期設定：[**24 mm**]	81
Mモード露出反映表示	**M**（マニュアル露出）モードで露出を変えたときに、撮影画面にも明るさを反映するかどうかを設定します。 • 初期設定：[**しない**]	81

動画メニュー

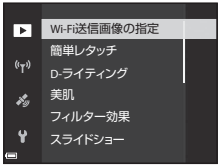
撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ メニューアイコン ➔ ⓞⓚボタン



項目	内容	🕮
動画設定	撮影する動画の種類を選びます。 通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画があります。 • 初期設定：［**1080/30p**］または［**1080/25p**］	82
AFモード	動画撮影開始時のピントに固定する［**シングルAF**］、または動画撮影中にピント合わせを繰り返す［**常時AF**］に設定します。 • 初期設定：［**シングル AF**］	85
電子手ブレ補正	動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定します。 • 初期設定：［**する**］	86
風切り音低減	動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。 • 初期設定：［**しない**］	86
ズームマイク	画角（写る範囲）に応じて、広角側では広い範囲、望遠側では狭い範囲の音を録音します。 • 初期設定：［**する**］	87
フレームレート設定	動画撮影時のフレームレートを選びます。	87

再生メニュー

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン



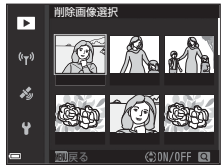
項目	内容	🕮
Wi-Fi 送信画像の指定 ※1	スマートデバイスに取り込みたい画像を、あらかじめカメラで選びます。	88
簡単レタッチ ※2	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。	27
D-ライティング ※2	逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。	27
美肌 ※2	撮影した画像から人物の顔を検出して、顔の肌をなめらかにします。	28
フィルター効果 ※2	デジタルフィルターでいろいろな効果を付けます。	29
スライドショー	画像を1コマずつ順番に自動再生します。	89
プロテクト設定 ※1	大切な画像や動画を誤って削除しないように、保護します。	90
画像回転 ※1	表示画像を縦位置または横位置に回転します。	90
スモールピクチャー ※2	サイズの小さい画像を作成します。	30
連写グループ表示方法	連写した一連の画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。 • 代表画像の表示中に ⓞⓚ ボタンを押すと、1 コマずつ表示します。マルチセレクターの ▲ を押すと、代表画像に戻ります。	91

項目	内容	🕮
連写の代表画像選択 ※1	連写した一連の画像の代表画像を変更します。	🕶91

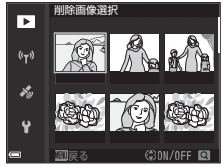
※1 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の操作方法」(🕮56)
※2 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合があります。

画像選択画面の操作方法

操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。

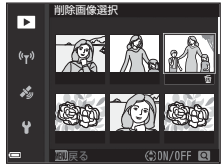


1 マルチセレクターの◀▶または回転で画像を選ぶ



- ズームレバー(🕮1)を**T**(Q)側に動かすと1コマ表示に、**W**(▦)側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- [**画像回転**]、[**連写の代表画像選択**]の画像選択では、1画像しか選べません。
  → 手順3へ

2 ▲▼でON/OFFを設定する



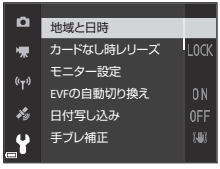
- ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。

3 ⓚボタンを押して画像選択を決定する

- 確認画面が表示されたときは、表示内容に従って操作してください。

セットアップメニュー

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ ⓞボタン



項目	内容	🕮
地域と日時	内蔵時計を合わせます。	98
カードなし時レリーズ	カメラにメモリーカードが入っていないときの、シャッターボタンの動作を設定します。	100
モニター設定	撮影後の画像表示、画面の明るさ、モニター表示設定などを設定します。	101
EVFの自動切り換え	電子ビューファインダーに顔を近づけると、自動的に電子ビューファインダーの表示に切り換えるかどうかを設定します。	103
日付写し込み	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。	103
手ブレ補正	撮影時の手ブレ補正を設定します。	104
AF補助光	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。	105
電子ズーム	電子ズームを使用するかどうかを設定します。	105
サイドズームレバー設定	撮影時にサイドズームレバーを操作したときの動作を設定します。	106
操作音	操作音について設定します。	106
オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。	107
カードの初期化	メモリーカードを初期化（フォーマット）します。	107
言語/Language	画面に表示する言語を設定します。	107
パソコン接続充電	パソコンと接続したときに、カメラ内の電池を充電するかどうかを設定します。	108
Av/Tv操作切り換え	プログラムシフト、シャッタースピードまたは絞り値の設定方法を切り換えます。	109

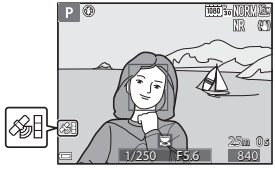
項目	内容	🕮
連番リセット	[**はい**] を選ぶと、ファイル番号の連番をリセットします。	109
ピーキング	マニュアルフォーカス時のモニター画面で、ピントが合った箇所を白色で強調するかどうかを設定します。	110
設定クリアー	カメラの設定を初期設定にリセットします。	110
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	110

位置情報機能を使う

（位置情報設定）メニュー（94）で［**位置情報設定**］の［**位置情報記録機能**］を［**する**］にすると、測位衛星の電波の受信を開始します。

受信状態は、撮影画面で確認できます。

- または：4つ以上、または3つの衛星から受信して、位置情報を測位しています。
- ：電波を受信していますが、測位できていません。
- ：電波を受信していません。



撮影地点の位置情報を画像に記録する

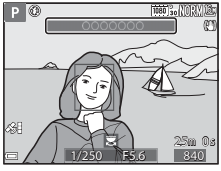
- カメラが測位している状態で撮影すると、画像に位置情報（緯度・経度）を記録します。
- 記録した位置情報は、画像をパソコンに取り込み後、ViewNX-iを使って地図上で確認できます（53）。

ログを記録する

- 測位した状態で位置情報設定メニュー［**ログ取得**］の［**ログ取得開始**］を選ぶと、カメラを持って移動した場所の位置情報を一定間隔で記録します。
- 記録したログは、位置情報設定メニューの［**ログ保存**］でメモリーカードに保存した後、ログデータを表示できるソフトウェアなどで閲覧します。
- ログデータは、NMEA フォーマットに準拠しています。ただし、すべてのソフトウェアやカメラでの表示を保証するものではありません。

POI情報を表示する

- 位置情報設定メニュー［**POI 設定**］の［**POI 記録**］を［**する**］にすると、現在地に最も近い地名情報も、撮影する画像に記録します。
- 位置情報設定メニューの［**POI表示設定**］を［**する**］にすると、撮影画面では現在地に最も近い地名情報を表示し、再生画面では画像に記録した地名情報を表示します。



Wi-Fi（無線LAN）を使う

Android OSまたはiOSのスマートデバイスに専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」をインストールしてカメラと接続すると、以下の操作ができます。

写真を撮る

カメラのシャッターボタンを押すか、またはスマートデバイスからのリモート操作でカメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込めます。

- リモート操作中はカメラの操作はできません。カメラ側の設定にかかわらず、撮影モードは（オート撮影）モード、AFエリアは中央になります。

写真を見る

カメラのメモリーカードに保存した画像を、スマートデバイスに表示して取り込めます。カメラであらかじめ指定した画像をスマートデバイスに取り込むこともできます。

ご注意

ご購入時はパスワードなどのセキュリティーは設定されていません。お客様の判断と責任で、必要なセキュリティーをWi-Fi設定メニュー（□49）の［**設定**］で設定してからお使いください。

スマートデバイスにソフトウェアをインストールする

1 スマートデバイスでGoogle PlayストアやApp Storeなどに接続して、「Wireless Mobile Utility」を検索する

- 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

2 説明や情報を確認し、インストールする

Wireless Mobile Utilityの説明書について

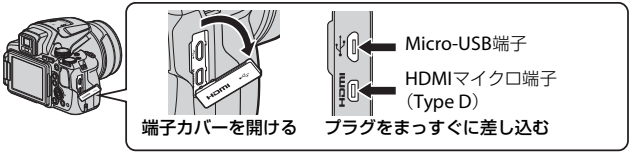
下記のウェブサイトからダウンロードしてください。

- Android OS：http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/
- iOS：http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/

カメラと接続するには、カメラの（Wi-Fi）ボタンを押してから、スマートデバイスのWi-Fi設定をONにし、ネゴシエーション中に「Wireless Mobile Utility」を起動します。

テレビ、プリンター、パソコンとの接続

テレビやプリンター、パソコンに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてからプラグを外してください。
- 別売のACアダプター EH-67Aを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-67A以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する

撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンを使わずにプリントする

PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

パソコンで閲覧する

パソコンに画像を取り込んで、閲覧ができます。
接続方法：USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に ViewNX-i をパソコンにインストールしてください。
- パソコンから電源を供給するタイプの他の USB 機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、メモリーカードなどが壊れるおそれがあります。

詳細編

詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。

撮影

シーンモードのヒントとご注意 3
フラッシュやフォーカスモードなどの初期設定一覧 15
ピント合わせについて 18
シャッタースピードの制御範囲（**P**、**S**、**A**、**M** モード時） 22

再生

拡大表示 23
サムネイル表示 / カレンダー表示 24
連写した画像（連写グループ）の再生と削除 25
画像の編集（静止画） 26

動画

動画撮影と再生 32
動画撮影中に静止画を記録する 35
動画再生中の操作 36
動画の編集 37

位置情報機能

位置情報を画像に記録する 39
移動情報のログを記録する 42

接続

スマートデバイスとの接続（Wi-Fi） 45
スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する 47
テレビとの接続（テレビ画面での再生） 48
プリンターとの接続（ダイレクトプリント） 49
ViewNX-i を使う（パソコンに画像を取り込む） 53

メニュー

撮影メニュー（撮影モード共通）.....56
撮影メニュー（**P**、**S**、**A**、**M** モード）.....58
動画メニュー 82
再生メニュー 88
Wi-Fi 設定メニュー 92
位置情報設定メニュー 94
セットアップメニュー 98

資料

警告メッセージ.....111
記録データのファイル名.....115
使用できるアクセサリー 116
リモコン ML-L3 でシャッターをきる 117
操作部別機能一覧.....119

シーンモードのヒントとご注意

夜景

- MENU ボタンを押し、［**夜景**］から［**手持ち撮影**］または［**三脚撮影**］を選びます。
- ［**手持ち撮影**］（初期設定）：
  - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- ［**三脚撮影**］：
  - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで 1 コマ撮影します。
  - セットアップメニュー（🕮57）の［**手ブレ補正**］の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。

夜景ポートレート

- MENU ボタンを押し、［**夜景ポートレート**］から［**手持ち撮影**］または［**三脚撮影**］を選びます。
- スローシャッターで 1 コマ撮影します。［**手持ち撮影**］では、［**三脚撮影**］に比べて、手ブレしにくくなるように、撮影状況によってシャッタースピードを速めに制御します。
- ［**三脚撮影**］の場合、セットアップメニュー（🕮57）の［**手ブレ補正**］の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。
- フラッシュが常に発光します。フラッシュをポップアップしてから撮影してください。

風景

- MENU ボタンを押し、[**風景**]から[**連写 NR 撮影**]または[**通常撮影**]を選びます。
- [**連写 NR 撮影**]：ノイズを抑えたシャープな風景を撮影できます。
  - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- [**通常撮影**]（初期設定）：輪郭やコントラストを強調した画像を記録します。
  - シャッターボタンを全押しすると 1 コマ撮影します。

SCENE ➔ おまかせシーン

- カメラを被写体に向けると、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

	ポートレート（1〜2人程度のアップ）
	ポートレート（人数の多い場合や背景の面積が大きい場合）
	風景
	夜景ポートレート（1〜2人程度のアップ）
	夜景ポートレート（人数の多い場合や背景の面積が大きい場合）
	夜景 • （夜景）（3）の［**手持ち撮影**］と同様に、連続で撮影して画像を重ね合わせ、1 コマ記録します。
	クローズアップ
	逆光（人物以外の撮影）
	逆光（人物撮影）
	その他の撮影シーン

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください（24）。

SCENE ➔ スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、約 **7** コマ / 秒の速さで約 **7** コマまで連写できます（画質が［**NORMAL**］、画像サイズが［**4608×3456**］のとき）。
- 画質、画像サイズ、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、**1** コマ目と同じ条件に固定されます。

SCENE ➔ パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（📖57）の［**手ブレ補正**］を［**しない**］にしてください。

SCENE ➔ クローズアップ

［**クローズアップ**］を選ぶと表示される画面で、［**連写NR撮影**］または［**通常撮影**］を選びます。

- ［**連写 NR 撮影**］：ノイズを抑えたシャープな撮影ができます。
  - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて **1** コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を **OFF** にしないでください。
  - 連写中に被写体が動いたり、手ブレが大きかったりすると、画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
  - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- ［**通常撮影**］（初期設定）：輪郭やコントラストを強調した画像を記録します。
  - シャッターボタンを全押しすると **1** コマ撮影します。
- フォーカスモード（📖40）が（マクロ **AF**）になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア（**AF** エリア）を移動できます。Ⓞ ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀ ▶ または回転で移動し、Ⓞ ボタンで決定します。

SCENE ➔ 料理

- フォーカスモード（🕮40）が（マクロ AF）になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをコマンドダイヤルで調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。Ⓚ ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀ ▶ または回転で移動し、Ⓚ ボタンで決定します。

SCENE ➔ ミュージアム

- シャッターボタンを押し続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている 1 コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセレクター））。
- フラッシュは発光しません。

SCENE ➔ 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4 秒に固定されます。

SCENE ➔ モノクロコピー

- 近くのものを撮影するときは、フォーカスモード（🕮40）の（マクロ AF）を併用してください。

SCENE ➔ 逆光

- 逆光［**逆光**］を選ぶと表示される画面で、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成の［**する**］/［**しない**］を撮影シーンに合わせて選びます。
- ［**しない**］（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- ［**する**］：明暗差の大きい風景撮影に適しています。

HDRについてのご注意

- 三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（🕮57）の［**手ブレ補正**］を［**しない**］にしてください。
- シャッターボタンを全押しすると連写し、以下の2 コマを記録します。
  - HDR 合成していない画像
  - HDR合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
- 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時にD-ライティング（🕮55）で暗い部分を明るく補正し、1 コマ記録します。
- シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFF にしないでください。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。

SCENE ➔ ペット

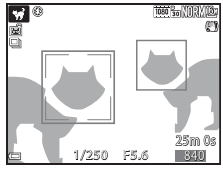
- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- ［**ペット**］を選ぶと表示される画面で、［**単写**］または［**連写**］を選びます。
  - ［**単写**］：犬または猫の顔を検出するたびに、1 コマ撮影します。
  - ［**連写**］：犬または猫の顔を検出するたびに、3 コマ連写します。

ペット自動シャッターについて

- マルチセレクターの◀（）を押すと、［**ペット自動シャッター**］の設定を変更できます。
  - ［］：犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
  - ［**OFF**］：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。［**OFF**］のときは、人物の顔も認識します。
- ［**ペット自動シャッター**］は、連写で5回繰り返すと［**OFF**］になります。
- ［**ペット自動シャッター**］の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。

AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央のエリアで合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



SCENE ➔ 月

- 色合いをコマンドダイヤルで調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- 月の満ち欠けなどの撮影状況や撮影意図などに応じて、露出補正（🕮44）で明るさを調節してください。
- 広角側のズーム位置では、2000 mm 相当（35mm 判換算）の撮影画角を示すフレーミング枠が表示されます。Ⓚ ボタンを押すと、撮影画角は 2000 mm 相当になります。

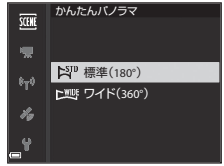
SCENE ➔ 鳥

- [**鳥**] を選ぶと表示される画面で、[**単写**] または [**連写**] を選びます。
- [**単写**]：1 コマずつ撮影します。
- [**連写**]：シャッターボタンを全押ししている間、連写します。
  - 連写速度は約 7 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は約 7 コマです（画質が [**NORMAL**]、画像サイズが [**4608×3456**] のとき）。
- 広角側のズーム位置では、800 mm 相当（35mm 判換算）の撮影画角を示すフレーミング枠が表示されます。Ⓚ ボタンを押すと、撮影画角は 800 mm 相当になります。

かんたんパノラマの撮影方法

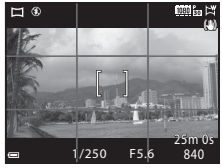
モードダイヤルをSCENEに合わせる➔ MENUボタン➔ かんたんパノラマ➔ ⓄⓀボタン

1 撮影する範囲を［標準（180°）］または［ワイド（360°）］から選び、ⓄⓀボタンを押す



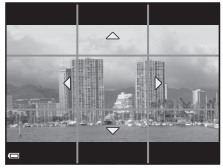
- カメラを横位置で構えたときの画像サイズ（ヨコ×タテ）は、以下のとおりです。
  - ［**標準（180°）**］：
    水平に移動時 4800×920、
    垂直に移動時 1536×4800
  - ［**ワイド（360°）**］：
    水平に移動時 9600×920、
    垂直に移動時 1536×9600

2 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる



- ズーム位置は、広角側に固定されます。
- 画面中央でピントが合います。

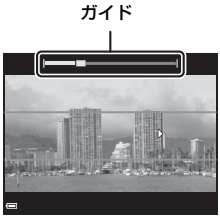
3 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す



- カメラを動かす方向を示す △▽◁▷ マークが表示されます。

詳細編

4 カメラを 4 方向のいずれかに、ガイドの終端まで動かす



- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 設定の範囲を撮影し終えると撮影が終了します。
- ピントと露出は、撮影終了まで固定されます。

カメラの動かし方の例

- 撮影者を軸にして、カメラをマーク（△▽◁▷）と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15 秒（STD［**標準（180°）**］時）、または約30秒（WIDE［**ワイド（360°）**］時）が経過すると撮影は終了します。

かんたんパノラマ撮影時のご注意

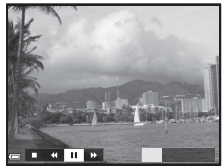
- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

かんたんパノラマの再生方法

再生モードにして（🕮22）、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、Ⓚボタンを押すと、撮影したときと同じ方向でスクロールします。

- マルチセレクターを回すと、早送り/巻き戻しができます。

再生中は、画面に操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルのアイコンを選び、Ⓚボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀◀	Ⓚボタンを押している間、スクロールを巻き戻しします。※	
早送り	▶▶	Ⓚボタンを押している間、スクロールを早送りします。※	
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。	
		◀⏸	Ⓚボタンを押している間、巻き戻しします。※
		⏸▶	Ⓚボタンを押している間、スクロールします。※
		▶	自動スクロールを再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。	

※ マルチセレクターを回しても操作できます。

☑ かんたんパノラマ画像についてのご注意

- このカメラでは画像編集はできません。
- このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

☑ パノラマ写真をプリントするときのご注意

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。

タイムラプス動画の撮影方法

静止画を一定間隔で自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早送り動画にして記録します。

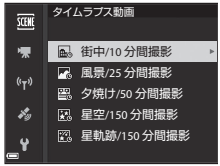
- 動画メニューの［**フレームレート設定**］が［**30 fps (30p/60p)**］時は、300コマ撮影し［**1080/30p**］で記録します。［**25 fps (25p/50p)**］時は、250コマ撮影し［**1080/25p**］で記録します。

モードダイヤルをSCENEに合わせる ➔ MENUボタン ➔ タイムラプス動画 ➔ ⓞボタン

種類（シーン/撮影所要時間）	撮影間隔	
	30 fps (30p/60p)	25 fps (25p/50p)
街中/10 分間撮影※1 **（初期設定）**	2秒	2.4秒
風景/25 分間撮影※1	5秒	6秒
夕焼け/50 分間撮影※1	10秒	12秒
星空/150 分間撮影※2	30秒	36秒
星軌跡/150 分間撮影※3	30秒	36秒

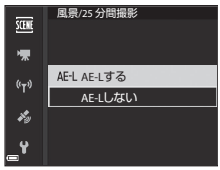
※1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。
※2 星の動きなどに適しています。
※3 画像処理で星の動きを光の線で表現します。

1 マルチセレクターの ▲▼ で種類を選び、ⓞボタンを押す



2 露出（明るさ）を固定するかどうかを選び、ⓞボタンを押す（星空および星軌跡を除く）

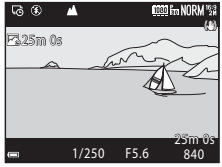
- ［**AE-Lする**］にすると、露出を1コマ目で固定します。夕暮れなど、明るさの変化が激しいときは［**AE-Lしない**］をおすすめします。



詳細編

3 三脚などでカメラを固定する

4 シャッターボタンを押し、1 コマ目を撮影する



- 露出補正（🕮44）は、1 コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。ピントと色合いは、1コマ目の撮影時に固定されます。
- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれます。
- 撮影の合間は、モニター画面が消灯することがあります。
- 300コマまたは250コマ撮影すると自動終了します。
- ⓄⓀボタンを押すと、撮影所要時間が終わる前に撮影を終了し、タイムラプス動画を記録します。
- 音声と静止画は記録されません。

タイムラプス動画についてのご注意

- メモリーカードは、撮影を終了するまで交換しないでください。
- 途中で電源が切れないよう、充分に残量のある電池をお使いください。
- ●（▶🎥）ボタンを押しても、タイムラプス動画は撮影できません。
- 撮影が終了するまで、モードダイヤルを回さないでください。
- セットアップメニュー（🕮57）の［**手ブレ補正**］の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。

フラッシュやフォーカスモードなどの初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュモード (📖36)	セルフタイマー (📖38)	フォーカスモード (📖40)	露出補正 (📖44)
📷（オート撮影）	⚡AUTO	OFF※1	AF※2	0.0
EFFECTS（スペシャルエフェクト）	⚡AUTO※3	OFF	AF	0.0
P、**S**、**A**、**M**	⚡	OFF※1	AF	0.0
U（ユーザーセッティング）	⚡	OFF※1	AF	0.0
シーン				
🌃（夜景）	⚡SLOW※4	OFF	▲※4	0.0
🌃（夜景 ポートレート）	⚡RED-EYE※5	OFF※1	AF※4	0.0
🏞（風景）	⚡SLOW※4	OFF	▲※4	0.0
SCENE（おまかせシーン）	⚡AUTO※6	OFF	AF※4	0.0
👤（ポートレート）	⚡RED-EYE	OFF※1	AF※4	0.0
🏃（スポーツ）	⚡SLOW※4	OFF※4	AF※7	0.0
🎉（パーティー）	⚡RED-EYE※8	OFF	AF※4	0.0
🏖（ビーチ）	⚡AUTO	OFF	AF※9	0.0
❄（雪）	⚡AUTO	OFF	AF※9	0.0
🌇（夕焼け）	⚡SLOW※4	OFF	▲※4	0.0
🌃（トワイライト）	⚡SLOW※4	OFF	▲※4	0.0
🌷（クローズアップ）	⚡AUTO※10	OFF	🌷※4	0.0
🍴（料理）	⚡SLOW※4	OFF	🌷※4	0.0
🏛（ミュージアム）	⚡SLOW※4	OFF	AF※9	0.0
🎆（打ち上げ花火）	⚡SLOW※4	OFF※4	∞※11	0.0※4
📄（モノクロコピー）	⚡AUTO	OFF	AF※9	0.0
🌅（逆光）	⚡/⚡SLOW※12	OFF	AF※4	0.0

	フラッシュモード (📖36)	セルフタイマー (📖38)	フォーカスモード (📖40)	露出補正 (📖44)
（かんたんパノラマ）	※4	OFF※4	AF※4	0.0
（ペット）	※4	※13	AF※9	0.0
（月）	※4	2s	※4	0.0
（鳥）	※4	OFF	AF※14	0.0
（タイムラプス動画）	※4	OFF	AF/ /※15	0.0

※1 笑顔自動シャッターも選べます。
※2 MF（マニュアルフォーカス）は選べません。
※3 高感度モノクロの場合は、（発光禁止）に固定されます。
※4 変更できません。
※5 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
※6 変更できません。自動判別したシーンに合わせて、カメラがフラッシュモードを設定します。
※7 AF（通常AF）またはMF（マニュアルフォーカス）に変更できます。
※8 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
※9 AF（通常AF）または（マクロAF）に変更できます。
※10［**連写NR撮影**］の場合は、（発光禁止）に固定されます。
※11 （無限遠固定）またはMF（マニュアルフォーカス）に変更できます。
※12［**HDR**］が［**しない**］のときは（強制発光）に、［**HDR**］が［**する**］のときは（発光禁止）に固定されます。
※13 ペット自動シャッター（🕶8）のON/OFFを設定できます。セルフタイマーとリモコンは使えません。
※14 AF（通常AF）、（遠景AF）またはMF（マニュアルフォーカス）から選べます。
※15［**街中/10 分間撮影**］の場合はAF（通常AF）に、［**風景/25 分間撮影**］、［**夕焼け/50 分間撮影**］の場合は（遠景AF）に固定されます。［**星空/150 分間撮影**］または［**星軌跡/150 分間撮影**］の場合は、（無限遠固定）またはMF（マニュアルフォーカス）に変更できます。

フラッシュモードの設定について

設定できるフラッシュモードは、撮影モードによって以下のように異なります。

フラッシュモード			SCENE、、、	EFFECTS ※2	P	S	A	M
AUTO	自動発光	○	※1	○	×	×	×	×
	赤目軽減自動発光	○		○	×	×	×	×
	赤目軽減発光	×		×	○	○	○	○
	強制発光	○		○	×	×	×	×
	通常発光	×		×	○	○	○	○
SLOW	スローシンクロ	○		○	○	×	○	×
	リアシンクロ	○		○	○	○	○	○

※1 設定によって異なります。→「フラッシュやフォーカスモードなどの初期設定一覧」（15）

※2 高感度モノクロの場合は、（発光禁止）に固定されます。

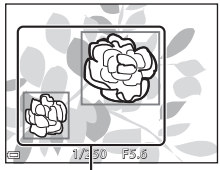
ピント合わせについて

ピントを合わせる位置（AFエリア）は、撮影モードによって異なります。

ターゲットファインドAFについて

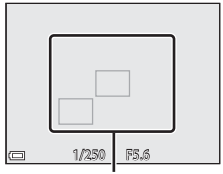
📷（オート撮影）モード、または**P**、**S**、**A**、**M**、**U**モードのときに［**AFエリア選択**］（🕮52）が［**ターゲットファインドAF**］のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



AF エリア

- カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。

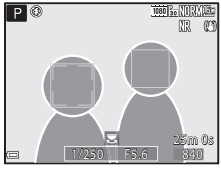


AF エリア

☑ ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- ［**ホワイトバランス**］や［**Picture Control**］の設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
  - 被写体が非常に暗い、または明るい
  - 主要被写体の色に特徴が少ない
  - 主要被写体が画面の周辺部にある
  - 主要被写体が同じパターンを繰り返す

顔認識撮影について



以下の設定では、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- シーンモード（□27）の （夜景ポートレート）、［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］
- （笑顔自動シャッター）（□39）
- ［**AF エリア選択**］（□52）を［**顔認識オート**］に設定時

複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：

- ［**おまかせシーン**］では、撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- （夜景ポートレート）、［**ポートレート**］では、画面中央にピントが合います。
- （笑顔自動シャッター）では、画面中央の被写体にピントが合います。
- ［**AFエリア選択**］を［**顔認識オート**］に設定時は、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

顔認識撮影した画像の再生について

再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（［**連写**］（□52）または［**AEブラケティング**］（□52）で撮影した画像を除く）。

美肌機能について

以下の撮影モードではシャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し、画像処理で肌（顔）をなめらかにします（最大3人）。

- シーンモード（📖27）の（夜景ポートレート）、［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］

撮影後にも、記録した画像に美肌の編集ができます（📖55）。

美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

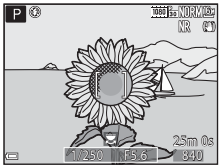
このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（👓21）をお試しください。

マニュアルフォーカスでピントを合わせることもできます（📖41、42）。

フォーカスロック撮影

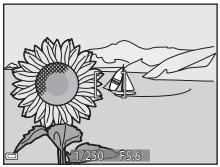
AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。

1 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする



- ピントが合い、AF エリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。

2 半押ししたまま構図を変える



- 被写体との距離は変えないでください。

3 シャッターボタンを全押しして撮影する

AFエリアを任意の場所に移動するには

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**では、撮影メニュー（🕮51）の［**AFエリア選択**］をマニュアルに設定すると、マルチセレクターでAFエリアを移動できます。

シャッタースピードの制御範囲（P、S、A、Mモード時）

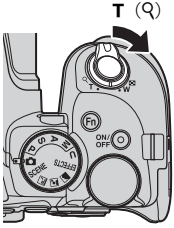
シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り、ISO感度の設定によって異なります。さらに、以下の連写設定時は、制御範囲が変わります。

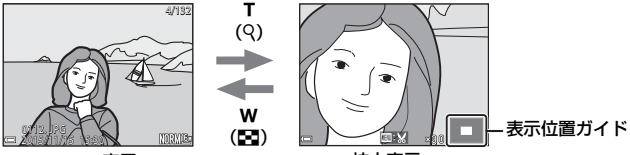
設定		制御範囲（秒）
ISO感度設定（🕮52）※1	オート※2、感度制限オート※2	1/4000 ※3 ～ 1 秒（**P**、**S**、**A**モード） 1/4000 ※3 ～ 15 秒（**M**モード）
	ISO 100	1/4000 ※3 ～ 8 秒（**P**、**S**、**A**モード） 1/4000 ※3 ～ 15 秒（**M**モード）
	ISO 200	1/4000 ※3 ～ 4 秒（**P**、**S**、**A**モード） 1/4000 ※3 ～ 8 秒（**M**モード）
	ISO 400	1/4000 ※3 ～ 4 秒
	ISO 800	1/4000 ※3～ 2 秒
	ISO 1600	1/4000 ※3 ～ 1 秒
	ISO 3200、6400	1/4000 ※3 ～ 1/2 秒
連写（🕮52）	連写H、連写L、BSS	1/4000 ※3 ～ 1/30 秒
	先取り撮影、高速連写 120 fps	1/4000 ～ 1/125 秒
	高速連写 60 fps	1/4000 ～ 1/60 秒
	マルチ連写	1/4000 ～ 1/30 秒
	インターバル撮影	［**単写**］設定時と同じ

※1 連写の設定によっては、ISO感度の設定が制限されます（🕮46）。
※2 **M**モードのときは、ISO 100に固定されます。
※3 シャッタースピードの最高速は、最も広角側でf/8時に1/4000秒になります。ズーム位置が望遠側になり、絞りを開くほど遅くなります。最も望遠側で最大絞り値f/8時は、1/2500秒です。

拡大表示

再生モードの1コマ表示（🕮22）でズームレバーを**T**（🔍拡大表示）側に動かすと、拡大表示されます。





1 コマ表示　　拡大表示

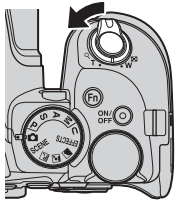
- 拡大率を調節するには、ズームレバー（**W**（▦）/**T**（🔍））を動かします。コマンドダイヤルを回しても操作できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押します。
- 顔認識またはペット検出して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します（［**連写**］または［**AEブラケティング**］で撮影した画像を除く）。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀ ▶を押します。
- 拡大表示中にⓄⓀボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

画像をトリミングするには

拡大表示中にMENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます（🕶31）。

サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示（🕮22）でズームレバーを**W**（▪サムネイル表示）側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



1 コマ表示　　サムネイル表示　　カレンダー表示

- 表示コマ数は、ズームレバー（**W**（▪）**/T**（Q））で変更できます。
- サムネイル表示で、マルチセレクターの▲▼◀ ▶または回転で、画像を選び⊛ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で、▲▼◀ ▶または回転で、日付を選び⊛ボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。

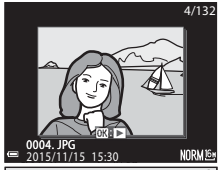
☑ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2015年1月1日」の画像として扱われます。

連写した画像（連写グループ）の再生と削除

連写グループの再生方法

連写した画像は「連写グループ」として保存されます。
1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1コマ目を代表画像として表示します（初期設定）。
グループ内の画像を1コマずつ表示するには、Ⓚボタンを押します。



Ⓚボタンを押したあとの操作方法は、以下のとおりです。

- 画像を切り換えるには、マルチセレクターを回すか、◀ ▶を押します。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、▲を押し、代表画像の表示に戻します。
- 連写グループ内の画像をサムネイル表示やスライドショーで再生したいときは、再生メニュー［**連写グループ表示方法**］を［**1枚ずつ**］にしてください（🔗91）。

連写グループの表示方法について

このカメラ以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。

連写グループで使える再生メニュー

- グループ内画像の1コマ表示中に MENU ボタンを押すと、再生メニュー（📖55）の機能が選べます。
- 代表画像で MENU ボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
  - Wi-Fi送信画像の指定、プロテクト設定

連写グループの画像を削除する

連写グループでは、🗑（削除）ボタンを押すと、表示している画像によって削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中：
  - ［**表示画像**］：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
  - ［**削除画像選択**］：削除画像の選択画面（🕮56）で代表画像を選ぶと、そのグループ内の画像をすべて削除します。
  - ［**全画像**］：メモリーカード内の画像をすべて削除します。

- グループ内画像の1コマ表示中：
  - ［**表示画像**］：表示している1コマを削除します。
  - ［**削除画像選択**］：グループ内の画像を選択して削除します。
  - ［**表示グループ**］：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。

画像の編集（静止画）

画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。
編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

画像編集の制限

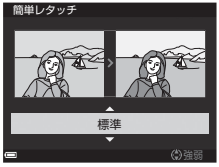
- 画像は、10回まで編集できます。動画編集で作成した静止画は9回まで編集できます。
- 画像サイズや編集の種類によっては、編集できないことがあります。

簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUボタン ➔ 簡単レタッチ ➔ ⓚボタン

マルチセレクターの▲▼で効果の度合いを選び、ⓚボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀を押します。

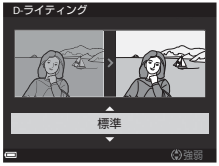


D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUボタン ➔ D-ライティング ➔ ⓚボタン

マルチセレクターの▲▼で効果の度合いを選び、ⓚボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀を押します。



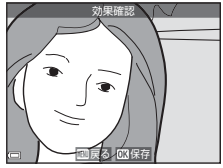
美肌（肌をなめらかにする）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUボタン
➔ 美肌 ➔ ⓚボタン

1 マルチセレクターの▲▼で効果の度合いを選び、ⓚボタンを押す

- 中止するときは、◀を押します。

2 効果を確認し、ⓚボタンを押す



- 編集した顔が拡大表示されます。
- 編集した顔が複数あるときは、◀ ▶ を押すと顔の切り換えができます。
- 効果の度合いを変えたいときは、MENUボタンを押して、手順1に戻ります。
- 編集画像が作成されます。

美肌についてのご注意

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- 顔の向きや明るさなどによっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。

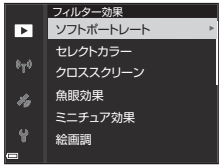
フィルター効果（デジタルフィルター）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUボタン
➔ フィルター効果 ➔ ⓚボタン

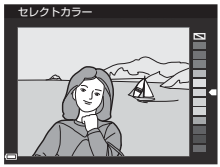
項目	内容
ソフトポートレート	人物の背景をぼかします。人物が認識できない場合は、画面中央部を残し、そのまわりをぼかします。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
クロススクリーン	太陽の反射や街灯などの光源から、放射状に光の筋を伸ばします。夜景などを撮影した画像が適しています。
魚眼効果	魚眼レンズで撮影したような画像にします。マクロで撮影した画像が適しています。
ミニチュア効果	ミニチュア（模型）を接写したように加工します。高いところから見下ろして撮影した画像で、主要な被写体が画面中央付近に写った画像が適しています。
絵画調	絵画のような雰囲気に加工します。
周辺減光	画像の中央部から外側の周辺光量を下げた加工をします。
フォトイラスト	輪郭を強調し、色数を減らすことでイラスト風の画像にします。
背景モノクロポートレート	人物の背景をモノクロにします。人物が認識できない場合は、画面中央部を残し、そのまわりをモノクロにします。

1 マルチセレクターの ▲▼ でフィルター効果の種類を選び、ⓚボタンを押す

・［セレクトカラー］以外の場合 → 手順3

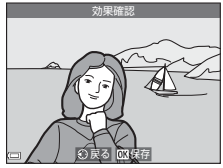


2 ▲▼で残したい色合いを選び、ⓚボタンを押す



3 効果を確認し、Ⓚボタンを押す

- 編集画像が作成されます。
- 中止するときは、◀を押します。

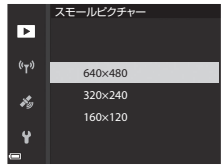


スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 画像を選ぶ ➔ MENUボタン ➔ スモールピクチャー ➔ Ⓚボタン

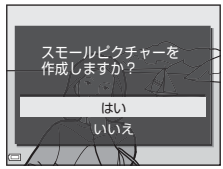
1 マルチセレクターの▲▼でスモールピクチャーのサイズを選び、Ⓚボタンを押す

- アスペクト比16:9の画像の場合は、640×360のサイズになります。Ⓚボタンを押して手順2へ進んでください。



2 ［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 編集画像が作成されます（圧縮率約1/16）。



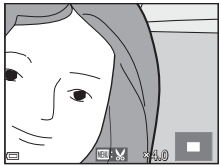
スモールピクチャーについてのご注意

アスペクト比3:2および1:1の画像は編集できません。

トリミング（画像の一部を切り抜く）

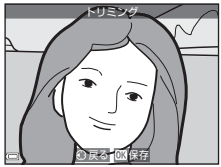
1 ズームレバーで拡大表示する（23）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、MENU（メニュー）ボタンを押す



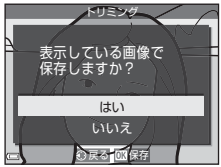
- ズームレバーを**T**（Q）または**W**（▦）側に動かして拡大率を調節します。MENU:✂が表示される拡大率にしてください。
- マルチセレクターの▲▼◀ ▶で表示範囲を移動します。

3 画像を確認し、Ⓚボタンを押す



- 切り抜きたい部分を選び直すには、◀を押して手順2に戻ります。
- トリミング画像を保存せずに終了するには、MENUボタンを押します。

4 ［はい］を選び、Ⓚボタンを押す



- 編集画像が作成されます。

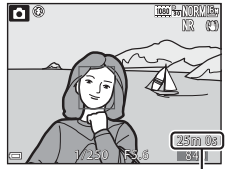
画像サイズについて

- トリミング後のアスペクト比（横：縦）は、元画像と同じです。
- トリミングして画像サイズが320×240以下になった画像は、再生画面で小さく表示されます。

動画撮影と再生

1 撮影画面を表示する

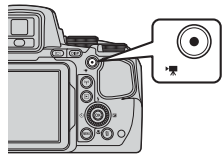
・ 記録できる時間を確認します。



動画の記録可能時間

2 ●（動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

・ 画面中央でピントが合います。



・ Ⓚ ボタンを押すと撮影を一時停止し、もう一度Ⓚ ボタンを押すと撮影を再開します（［**動画設定**］をHS動画にした場合を除く）。一時停止したまま約5分経過すると、撮影が終了します。

・ 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、静止画を記録できます（🔗35）。

3 ●（）ボタンを押して、撮影を終了する

4 再生モードの 1 コマ表示で動画を選び、Ⓚボタンを押して再生する

・ 動画設定のアイコンが表示されている画像が動画です。

動画設定

詳細編

動画の写る範囲

- 動画の写る範囲は、動画メニューの［**動画設定**］や［**電子手ブレ補正**］の設定によって異なります。
- **DISP**ボタンを押して動画枠を表示すると（🕮3）、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。

動画撮影中のピント合わせについて

- 動画撮影中のピントは、動画メニュー［**AFモード**］（🕮54）の設定によって以下のようになります。
  - **AF-S**［**シングル AF**］（初期設定）：動画撮影開始時に固定されます。動画撮影中にピントをオートフォーカスで合わせたいときは、マルチセレクターの◀を押します。
  - **AF-F**［**常時AF**］：動画撮影中もピント合わせを繰り返します。
- フォーカスモード（🕮40）が、**MF**（マニュアルフォーカス）のときは、手動でピントを合わせます。動画撮影中も、マルチセレクターを左に回すと遠くの被写体に、右に回すと近くの被写体にピントを合わせられます。

露出固定について

- 動画撮影中にマルチセレクターの▶を押すと、露出が固定されます。解除するには、もう一度▶を押します。

動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって異なることがあります。
- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします（🕮20）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

☑ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中、カメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数（10s）が画面に表示されます。
  自動終了後、電源もOFFになります。
  カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

動画撮影についてのご注意

☑ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

☑ 記録した動画についてのご注意

- 動画撮影中は、ズーム表示が表示されません。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。動画撮影中に光学ズームから電子ズームに切り換わるときは、ズーム動作がいったん止まります。
- ズームレバーなどの操作音、ズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中のモニター画面の表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の付いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。
  これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

☑ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」（⚯20）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を撮影するときは、**MF**（マニュアルフォーカス）（🕮41、42）でピントを合わせるか、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの［**AFモード**］を［**シングルAF**］（初期設定）にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して ●（▶🎥）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画として記録できます。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

- 画面に📷が表示されているときに記録できます。表示が🚫のときは記録できません。
- 記録される静止画の画像サイズは、元の動画の種類（画像サイズ）（🔗82）によって異なります。

☑ 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
  - 動画撮影の一時停止中
  - 動画記録可能時間が5秒未満の場合
  - ［**動画設定**］（📖54）が480 60p［**480/30p**］、480 50p［**480/25p**］、HS動画の場合
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、なめらかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。

動画再生中の操作

音量を調節するには、再生中にズームレバー（🕮1）を動かします。
早送り/巻き戻しをするには、マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回します。

音量表示

画面に操作パネルが表示されます。
マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、㊎ボタンを押すと以下の操作ができます。

一時停止時

機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀◀	㊎ボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	▶▶	㊎ボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。	
	◀❙	コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。※	
	❙▶	コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。※	
	▶	再生を再開します。	
		撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。	
		撮影した動画の1フレームを静止画として切り出して保存します。	
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。	

※ マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回してもコマ送り / コマ戻しできます。

動画の編集

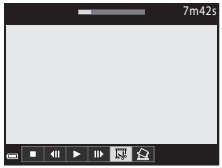
動画の編集をするときは、編集中に電源が切れないよう、充分に残量のある電池をお使いください。電池残量表示が▭のときは、動画編集の操作はできません。

動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

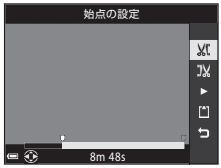
1 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する（🔗36）

2 マルチセレクターの◀ ▶ で操作パネルの✂を選び、Ⓚ ボタンを押す



3 ▲▼で編集操作パネルの✂（始点の設定）を選ぶ

- ◀ ▶またはコマンドダイヤルを回して、始点を調節します。
- 編集を中止するには、↩（戻る）を選び、Ⓚボタンを押します。

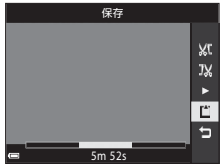


4 ▲▼で✂（終点の設定）を選ぶ

- ◀ ▶またはコマンドダイヤルを回して、終点を調節します。
- 設定した範囲をプレビューするには、▲▼で▶を選び、Ⓚボタンを押します。プレビューを停止するときは、もう一度Ⓚボタンを押します。

5 ▲▼で（保存）を選び、OK ボタンを押す

・ 画面に従って保存します。



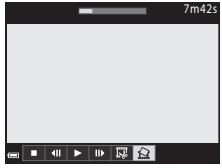
動画の切り出しについてのご注意

- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

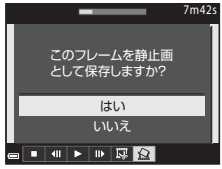
動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1画面を静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面を表示します（36）。
- マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルの を選び、OK ボタンを押します。



- 確認画面で［**はい**］を選び、OK ボタンを押して保存します。
- 保存される静止画の画質は［**NORMAL**］です。画像サイズは元の動画の種類（画像サイズ）（82）によって異なります。



静止画切り出しの制限

［**480/30p**］、［**480/25p**］、HS動画で撮影した動画から静止画を切り出すことはできません。

詳細編

位置情報を画像に記録する

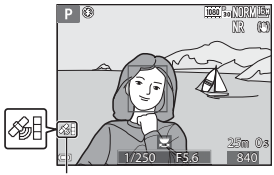
MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ 位置情報設定 ➔ Ⓚボタン

カメラの［**地域と日時**］（🔗98）は、位置情報機能を使う前に、正しく設定してください。

1 ［位置情報記録機能］を［する］に設定する

- 設定したら MENU ボタンまたはシャッターボタンを押してメニュー画面を終了します。
- 電波を受信しやすくするため、空のひらけた屋外で操作してください。

2 撮影画面で受信状態を確認する



位置情報受信状態

- 🛰または🛰：4つ以上、または3つの衛星から受信して、位置情報を測位しています。画像に位置情報が記録されます。
- 🛰：電波を受信していますが、測位できていません。過去1分以内に測位した位置情報があれば、画像に記録されます。
- 🛰：電波を受信していません。画像に位置情報は記録されません。

3 測位した状態で撮影する

- 撮影した画像に位置情報が記録されます。
- 記録した位置情報は、画像をパソコンに取り込み後、ViewNX-i を使って地図上で確認できます（🔗53）。

位置情報機能についてのご注意

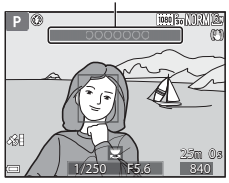
- 位置情報機能をお使いの前に、「<重要>位置情報機能（GPS/GLONASS）についてのご注意」（📖xiv）をお読みください。
- はじめて測位したときや、測位できない状態が長時間経過したとき、電池を交換したときは、位置情報を測位するまで数分かかります。
  最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を取得するまでの時間を短くできます（👓94）。
- 測位衛星の位置は常に変化しています。
  お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できなかったりすることもあります。
  位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。
  測位アンテナ部（📖2）を空に向けると受信しやすくなります。
- 以下のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかったり、測位した位置が実際にいた場所と異なったりすることがあります。
  - 建物の中や地下
  - 高層ビルの間
  - 高架の下
  - トンネルの中
  - 高圧電線などの近く
  - 密集した樹木の間
- 1.5 GHz帯を利用する携帯電話などを本機の近くで使うと、測位しにくくなることがあります。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のカバンなどに入れないでください。
  金属製のものでおおうと測位できません。
- 測位衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。
  位置情報を測位した時刻は画像に記録されますが、カメラでは表示できません。
- 連写した画像には、1コマ目の位置情報が記録されます。

位置情報記録、ログ取得時の電源と電池の消耗について

- [**位置情報記録機能**] を [**する**] にしていると、カメラの電源を OFF にした後も、位置情報記録機能が一定の間隔で約6時間作動します。また、ログ取得中（👓42）は、カメラの電源をOFFにした後も、位置情報記録機能やログ取得機能が作動します。
- [**位置情報記録機能**] が [**する**] 時やログ取得時は、電池を通常より消耗します。

地名情報（POI情報）について

地名情報（POI 情報）



- ランドマーク名（施設名）などの地名情報をPOI情報といいます。
- 位置情報設定メニューの［**POI 設定**］（🔗96）の［**POI表示設定**］を［**する**］にすると、撮影時には現在地に最も近い地名情報を表示します（測位している場合のみ）。
- ［**POI 記録**］を［**する**］にすると、撮影時に画像に地名情報を記録できます（測位している場合のみ）。
- 地名情報を記録した画像の再生時は、［**POI 表示設定**］を［**する**］にすると、撮影時の地名情報を表示します。
- ［**POI設定**］の［**POI表示レベル設定**］の設定したレベルによっては、地名情報が表示されない場合があります。また、意図したランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なったりする場合があります。

位置情報を記録した画像について

- 位置情報を記録した画像は、再生時に🛰が表示されます（🕮7）。
- 位置情報を記録した画像はパソコンに取り込み後、ViewNX-iを使って地図上で確認できます（🔗53）。
- 画像ファイルに記録されている位置情報は、測位した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。
- 画像に記録された位置情報と POI 情報は、［**位置情報設定**］の［**位置情報消去**］を使って消去できます（🔗94）。消去した情報は、元に戻せません。

移動情報のログを記録する

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ ログ取得 ➔ ⓄⓀボタン

1 マルチセレクターの▲▼で［**ログ取得間隔**］を選び、ⓄⓀボタンを押す

2 ログ取得する間隔を選び、ⓄⓀボタンを押す

- 初期設定は［**15秒**］です。

3 ［**ログ取得開始**］を選び、ⓄⓀボタンを押す

4 ログ取得する時間を選び、ⓄⓀボタンを押す

- ログの取得が始まります。MENUボタンを押してメニュー画面を終了してください。
- ログ取得中は、撮影画面に LOG が表示されます（📖5）。
- 設定した時間が経過するとログ取得が自動的に終了し、ログデータが一時的にカメラに記録されます。ログ取得が終了したらメモリーカードに保存してください（🔗44）。

詳細編

ログ取得についてのご注意

- 日時が設定されていない場合は、ログ取得はできません。
- ログ取得時間内に電源が切れないよう、充分に残量のある電池をお使いください。電池残量がなくなると、ログ取得が終了します。
- カメラの電源をOFFにしていても、ログ取得時間が残っている場合は、設定した時間が過ぎるまでログ取得します。
- ログ取得時間内でも、以下の操作をすると、ログ取得が終了します。
  - 電池を取り外す
  - [**位置情報設定**] → [**位置情報記録機能**] を [**しない**] にする
  - セットアップメニューの [**設定クリアー**] をする
  - 内蔵時計の設定（地域や日時）を変更する
  - 位置情報設定メニューで [**ログ取得**] → [**ログ取得終了**] を選ぶ（44）
- 以下の操作中は、ログ取得が一時中断されます。
  - 連写撮影中
  - 動画撮影中
  - USBケーブルまたはHDMIケーブル接続中

  操作を終了するとログ取得を再開します。
- ログ取得開始から終了までの間に一度も測位できなかった場合は、ログデータは記録されません。
- ログ取得後は、メモリーカードにログデータを保存してください（44）。カメラにログデータが残っていると、新しくログ取得ができません。

ログ取得を終了しメモリーカードに保存する

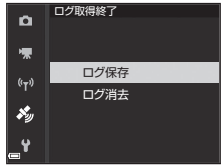
取得したログは、位置情報設定メニューの［**ログ保存**］でメモリーカードに保存した後、ログデータを表示できるソフトウェアなどで閲覧します。

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ ログ取得 ➔ OKボタン

1 ログの取得が終わったら、［ログ取得終了］を選び、OKボタンを押す

- 設定した取得時間が経過する前でも、ログ取得を終了できます。

2 ［ログ保存］を選び、OKボタンを押す



- メモリーカードにログデータを保存します。
- メモリーカードにログデータが保存されたことを確認するには、位置情報設定メニューの［**ログデータ表示**］を選びます。
- ログデータの保存先とファイル名について → 115

ログデータを消去するには

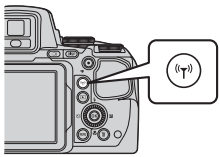
- カメラに一時的に記録されたログデータを消去するには、手順2で［**ログ消去**］を選びます。
- メモリーカードに保存されたログデータを削除するには、位置情報設定メニューの［**ログデータ表示**］でボタンを押し、以下のどちらかを選びます。
  - ［**選択したログデータ**］：選んでいるログデータを削除します。
  - ［**すべてのログデータ**］：メモリーカードに記録されているログデータをすべて削除します。

位置情報ログデータについて

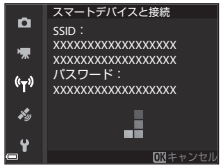
NMEAフォーマットに準拠しています。ただし、すべてのソフトウェアやカメラでの表示を保証するものではありません。

スマートデバイスとの接続（Wi-Fi）

1 カメラの(Wi-Fi)ボタンを押す



- 右の画面が表示されます。
- スマートデバイスからの接続通信が3分以内にないと、［**アクセスありませんでした。**］を表示して、Wi-Fi設定画面に戻ります。
- Wi-Fi設定メニューの［**スマートデバイスと接続**］を選んでも、右の画面を表示できます。



2 スマートデバイスのWi-Fi設定をONにする

- 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。
- スマートデバイスに利用可能なネットワーク名（SSID）が表示されたら、カメラに表示されているSSIDを選びます。
- Wi-Fi設定メニューで［**認証/暗号**］を［**WPA2-PSK-AES**］に設定した場合は、パスワードの入力を求められます。
  カメラに表示されているパスワードを入力してください。

3 ネゴシエーション中に、スマートデバイスの「Wireless Mobile Utility」を起動する

- 「写真を撮る」または「写真を見る」を選ぶ画面が表示されます。
- 「カメラと接続できません。」が表示されたときは、手順1からやり直してください。
- 「スマートデバイスにソフトウェアをインストールする」（🕮60）

「写真を撮る」ときは

以下の2つの方法で静止画が撮れます。
- カメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込む。
- リモート操作により、スマートデバイスでカメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込む。

撮影時のご注意

- Wi-Fi接続中は、［**連写**］の［**インターバル撮影**］は使えません。
- リモート操作中はカメラの操作はできません。カメラ側の設定にかかわらず、撮影モードは（オート撮影）モード、AFエリアは中央になります。

NFC対応のスマートデバイスをカメラにタッチして接続する

NFC（Near Field Communication：近距離無線通信）対応のAndroid OSのスマートデバイスをお使いの場合は、カメラの（Nマーク）にスマートデバイスのNFCアンテナ部をタッチすると、Wi-Fi接続とWireless Mobile Utilityの起動ができます。

Wi-Fi接続を解除するには

以下のいずれかの操作をします。

- カメラの電源をOFFにする
- カメラのWi-Fi設定メニューで［**Wi-Fi OFF**］を設定する（リモート操作時を除く）
- スマートデバイスのWi-Fi設定をOFFにする

Wi-Fi接続についてのご注意

- 以下の場合は、Wi-Fi接続操作が無効になります。
  - メモリーカードを挿入していないとき
  - カメラをテレビ、プリンターまたはパソコンに接続しているとき
  - 動画撮影中
  - スマートデバイスと接続しているとき
- 電池残量が少なくなると、Wi-Fi接続が切断されます。
- 電波の出力が禁止されている場所では、［**Wi-Fi OFF**］を設定してください。
- Wi-Fi接続中は、［**オートパワーオフ**］は無効になります。
- Wi-Fi接続中は、電池を通常より消耗します。

セキュリティー設定について

Wi-Fi機能を搭載したカメラは、セキュリティー（暗号化やパスワード）を設定しないと、第三者に不正侵入される可能性があります。
お客様の判断と責任で、必要なセキュリティーを設定してからお使いください。
Wi-Fi設定メニュー（92）の［**設定**］で設定できます。

スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する

スマートデバイスに取り込みたい画像を、あらかじめカメラで選べます。動画は選べません。

1 送信する画像を選ぶ

以下のメニューでスマートデバイスに取り込む画像を送信指定できます。

- 再生メニューの［**Wi-Fi送信画像の指定**］（88）
- Wi-Fi設定メニューの［**カメラ内画像の送信**］（92）

［**カメラ内画像の送信**］の場合は、画像を選択した後、カメラのSSIDとパスワードが画面に表示されます。

2 カメラとスマートデバイスを接続する（45）

- Wireless Mobile Utilityの［**写真を見る**］をタッチすると、確認画面が表示され、指定した画像をスマートデバイスに取り込めます。

再生中の画像を送信指定に追加する

カメラの再生モード時に、(T)ボタンを押すまたはNFCによりWi-Fi接続すると、画面に表示されている画像を送信指定に追加します。

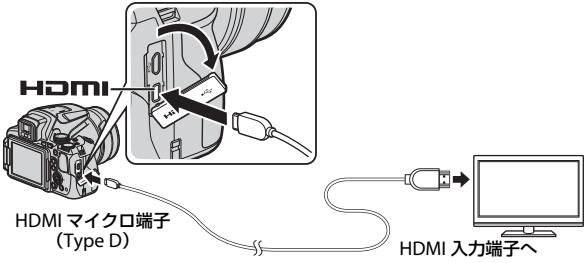
- 1コマ表示の場合は、表示中の1コマを追加します。代表画像で表示中の連写グループは、グループ内の画像をすべて追加します。
- サムネイル表示の場合は、選択中の 1 コマを追加します。代表画像で表示中の連写グループは、グループ内の画像をすべて追加します。
- カレンダー表示の場合は、選択中の撮影日の画像すべてを追加します。

Wi-Fi設定メニューの［**スマートデバイスと接続**］から接続を行ったときは無効です。

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



2 テレビの入力を外部入力に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの▶（再生）ボタンを長押しして電源をONにする

- 画像がテレビに表示されます。
- カメラの液晶モニターは点灯しません。

プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

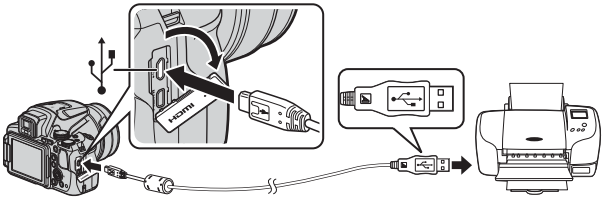
PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。

カメラとプリンターを接続する

1 プリンターの電源をONにする

2 カメラの電源をOFFにし、USBケーブルでカメラとプリンターを接続する

- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

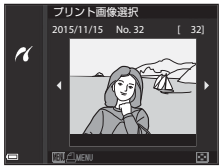


3 カメラの電源が自動的にONになる

- カメラのモニター画面に［**PictBridge**］画面（①）が表示された後、［**プリント画像選択**］画面（②）が表示されます。

①

②



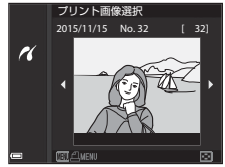
PictBridge画面が表示されないときは

プリンターによっては、［**パソコン接続充電**］（108）を［**オート**］にするとプリントできない場合があります。電源がONになってもPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、［**パソコン接続充電**］を［**しない**］に設定してから、再接続してください。

1コマずつプリントする

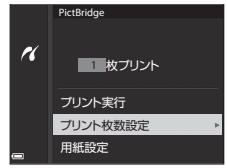
1 マルチセレクターの◀ ▶で
プリントする画像を選び、Ⓚボタン
を押す

- ズームレバーを **W**（▦）側に動かすと一覧表示に、**T**（🔍）側に動かすと1コマ表示に切り換わります。



2 ▲▼で［プリント枚数設定］を選び、
Ⓚボタンを押す

- ▲▼でプリント枚数（9枚まで）を設定し、Ⓚボタンを押します。



3 ［用紙設定］を選び、Ⓚボタンを押す

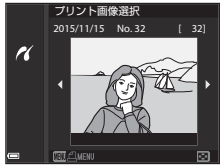
- 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、［**プリンターの設定**］を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。

4 ［プリント実行］を選び、Ⓚボタンを
押す

- プリントが始まります。

複数の画像をプリントする

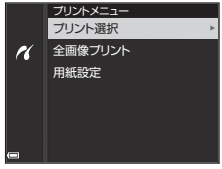
1 ［プリント画像選択］画面が表示されたら、MENU（メニュー）ボタンを押す



2 マルチセレクターの▲▼で［用紙設定］を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、［**プリンターの設定**］を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。
- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。

3 ［プリント選択］または［全画像プリント］を選んで、Ⓚボタンを押す



プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定します。

- マルチセレクターの ◀▶ で画像を選び、▲▼ でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖨 とプリント枚数が表示されます。選択をキャンセルするには、枚数を **0** にします。
- ズームレバーを **T**（Q）側に動かすと 1 コマ表示に、**W**（▦）側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したら Ⓚ ボタンを押します。プリント枚数の確認画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。

全画像プリント

メモリーカード内のすべての画像を1枚ずつプリントします。

- プリント枚数の確認画面が表示されたら、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。

ViewNX-iを使う（パソコンに画像を取り込む）

ViewNX-iをインストールする

ViewNX-i は、画像や動画の取り込み、閲覧ができる無償ソフトウェアです。下記ウェブサイトから最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。

ViewNX-i：http://downloadcenter.nikonimglib.com

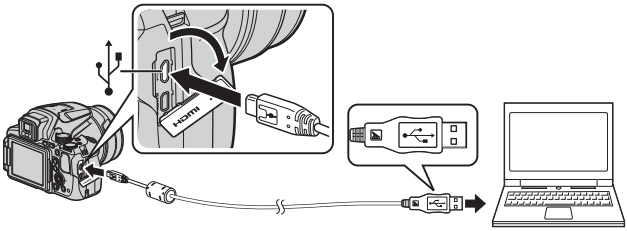
最新情報、動作環境は、当社ウェブサイトのサポート情報でご確認ください。

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったメモリーカードを用意する

メモリーカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- パソコンのカードスロット、またはパソコンに接続した市販のカードリーダーにメモリーカードを差し込む。
- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続する。
  カメラの電源が自動的にONになります。



起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

- **Windows 7をお使いの場合**
  右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

  1 ［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックする
  2 ［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

- **Windows 8.1をお使いの場合**
  右のダイアログが表示されたときは、ダイアログをクリックし、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2**］をクリックします。

- **OS XまたはmacOSをお使いの場合**
  Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、Mac付属のアプリケーション［**イメージキャプチャ**］を起動し、カメラを接続時に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

メモリーカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

☑ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 Nikon Transfer 2が起動したら、［転送開始］をクリックする

- 画像の取り込みが始まり、完了するとViewNX-iが起動して取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX-iの詳しい使い方は、ViewNX-iのヘルプを参照してください。

3 接続を解除する

- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはメモリーカードを取り外してください。
- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを抜きます。

撮影メニュー（撮影モード共通）

• ［**User Setting登録**］、［**User Settingリセット**］については、「**U**（ユーザーセッティング）モード」（🕮34）をご覧ください。

画質

撮影画面にする※ ➔ MENUボタン ➔ 撮影モードメニューアイコン ➔ 画質 ➔ ⓞボタン

※ どの撮影モードでも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます（撮影モード**U**、シーンモードの［**かんたんパノラマ**］を除く）。

記録する画質（画像の圧縮率）を設定します。
画質を高くするほど、画像の細部の描写が保たれますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目		内容
FINE	FINE	［**NORMAL**］よりも精細な画質になります。 圧縮率：約1/4
NORM	NORMAL **（初期設定）**	一般的な撮影に適した画質モードです。 圧縮率：約1/8

画質についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（🕮46）。

記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます（🕮16）。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画質、画像サイズでも、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。メモリーカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。
- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

画像サイズ

撮影画面にする※ ➔ MENUボタン ➔ 撮影モードメニューアイコン ➔ 画像サイズ ➔ ⓞボタン

※ どの撮影モードでも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます（撮影モード**U**、シーンモードの［**かんたんパノラマ**］を除く）。

記録する画像の大きさ（記録画素数）を設定します。
画像サイズを大きくするほど、大きくプリントするのに適していますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目※	アスペクト比（横：縦）
16M 4608×3456（**初期設定**）	4:3
8M 3264×2448	4:3
4M 2272×1704	4:3
2M 1600×1200	4:3
VGA 640×480	4:3
16:9 12M 4608×2592	16:9
16:9 2M 1920×1080	16:9
3:2 14M 4608×3072	3:2
1:1 12M 3456×3456	1:1

※ 数値は記録画素数を表しています。
例：16M 4608×3456：約16メガピクセル＝4608×3456ピクセル

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

画像サイズを「**1:1**」にして撮影した画像をプリントするときは、プリンターの設定を「フチあり」にしてください。
プリンターによっては、画像を**1:1**の縦横比でプリントできない場合があります。

画質についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（🕮46）。

撮影メニュー（P、S、A、Mモード）

Picture Control（COOLPIXピクチャーコントロール）

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ Picture Control ➔ Ⓚボタン

撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画（え）作りを設定できます。輪郭強調の度合い、コントラスト、色の濃さ（彩度）を細かく調整することもできます。

項目	内容
SD **スタンダード（初期設定）**	鮮やかでバランスのとれた標準的な画像になります。ほとんどの撮影状況に適しています。
NL **ニュートラル**	素材性を重視した自然な画像になります。撮影後に画像を加工したいときに適しています。
VI **ビビッド**	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。青、赤、緑など、原色の色を強調したいときに適しています。
MC **モノクローム**	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
C-1 **カスタム 1**※	COOLPIXカスタムピクチャーコントロールで［**カスタム 1**］に登録した設定にします。
C-2 **カスタム 2**※	COOLPIXカスタムピクチャーコントロールで［**カスタム 2**］に登録した設定にします。

※［**CSM Picture Control**］（🔗62）でカスタマイズした設定を登録したときのみ表示されます。

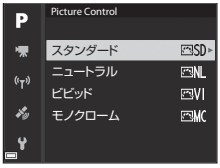
COOLPIXピクチャーコントロールについてのご注意

- このカメラのCOOLPIXピクチャーコントロール機能は、他のカメラ、Capture NX-DやPicture Control Utility 2などのソフトウェアのピクチャーコントロール機能と相互利用はできません。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（📖46）。

COOLPIXピクチャーコントロールのカスタマイズ：クイック調整と手動調整

COOLPIXピクチャーコントロールは、輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）などの画（え）作りの要素をバランス良くまとめて調整できる「クイック調整」と、要素ひとつひとつを細かく調整できる「手動調整」でカスタマイズできます。

1 マルチセレクターの▲▼でCOOLPIXピクチャーコントロールの種類を選び、Ⓚボタンを押す



- マルチセレクターを回しても項目を選べます。

2 ▲▼で調整する項目（60）を選び、◀▶で値を設定する

- Ⓚボタンを押すと、値が設定されます。
- ［**リセット**］を選んでⓀボタンを押すと、調整値は初期設定に戻ります。

クイック調整と手動調整の種類

項目	内容
クイック調整※1	輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）のレベルを自動的に調整します。 －側にするとそれぞれのCOOLPIXピクチャーコントロールの特徴を抑えた画像になり、＋側にするとそれぞれのCOOLPIXピクチャーコントロールの特徴を強調した画像になります。 • 初期設定：[**0**]
輪郭強調	画像の輪郭の強調度合い（シャープネス）を設定します。 数字が大きいほどくっきりとした画像になり、小さいほどソフトな画像になります。 [**A**]（オート）に設定すると、自動調整します。 • 初期設定：[**スタンダード**]または[**モノクローム**]のとき[**3**]、[**ニュートラル**]のとき[**2**]、[**ビビッド**]のとき[**4**]
コントラスト	画像のコントラストを設定します。 －側にすると軟調な画像になり、＋側にすると硬調な画像になります。晴天時の人物撮影や白とびが気になる場合などは－側が、かすんだ遠景の撮影などには＋側が適しています。 [**A**]（オート）に設定すると、自動調整します。 • 初期設定：[**0**]
色の濃さ（彩度）※2	画像の色の鮮やかさを設定します。 －側にすると鮮やかさが抑えられ、＋側にするとより鮮やかになります。 [**A**]（オート）に設定すると、自動調整します。 • 初期設定：[**0**]
フィルター効果※3	白黒写真用カラーフィルターを通して撮影したときのような効果が得られます。 • [**OFF**]：フィルター効果を使用しません。 • [**Y**]（黄色）、[**O**]（オレンジ）、[**R**]（赤）： コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。[**Y**]→[**O**]→[**R**]の順にコントラストが強くなります。 • [**G**]（緑）： 肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。 • 初期設定：[**OFF**]

項目	内容
調色※3	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。調色は［**B&W**］（白黒）、［**Sepia**］（セピア調）、［**Cyanotype**］（青写真）から選べます。 ［**Sepia**］または［**Cyanotype**］を選んでマルチセレクターの▼を押すと、さらに色の濃淡を選べます。◀▶を押して選んでください。 • 初期設定：［**B&W**］（白黒）

※1［**ニュートラル**］、［**モノクローム**］、［**カスタム 1**］または［**カスタム 2**］の場合は、クイック調整できません。
手動調整した後にクイック調整をすると、手動調整で設定した値は無効になります。
※2［**モノクローム**］の場合は、表示されません。
※3［**モノクローム**］の場合のみ、表示されます。

［輪郭強調］についてのご注意

［**輪郭強調**］の効果は、撮影時の画面では確認できません。画像を再生して確認してください。

［コントラスト］、［色の濃さ（彩度）］の［A］（オート）についてのご注意

同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。

CSM Picture Control（COOLPIXカスタムピクチャーコントロール）

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ CSM Picture Control ➔ ⓚボタン

「COOLPIXピクチャーコントロール」（🔗59）の設定を調整（カスタマイズ）して、［**Picture Control**］の［**カスタム1**］または［**カスタム2**］に登録します。

1 マルチセレクターの▲▼で［編集と登録］を選び、ⓚボタンを押す

- 登録済みのCOOLPIXカスタムピクチャーコントロールを削除するには［**登録削除**］を選びます。

2 元にするCOOLPIXピクチャーコントロール（🔗59）を選び、ⓚボタンを押す

3 ▲▼で調整する項目を選び、◀▶で値を設定する（🔗59）

- 項目の内容はCOOLPIXピクチャーコントロールの調整と同じです。
- 調整が終わったら、ⓚボタンを押します。
- ［**リセット**］を選んでⓚボタンを押すと、調整値は初期設定に戻ります。

4 登録先を選び、ⓚボタンを押す

- ［**Picture Control**］または［**CSM Picture Control**］で、［**カスタム1**］または［**カスタム2**］を選べるようになります。
- 調整値を変えるには、［**Picture Control**］または［**CSM Picture Control**］で［**カスタム1**］または［**カスタム2**］を選びます。

ホワイトバランス（色合いの調整）

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ ホワイトバランス ➔ ⓄⓀボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

項目		内容
AUTO1	**オート（標準）（初期設定）**	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。［**オート（電球色を残す）**］を選ぶと、電球色の光源下で撮影した際に暖かみのある画像の仕上がりになります。フラッシュ使用時は、フラッシュ発光の条件に応じて調整されます。
AUTO2	**オート（電球色を残す）**	
PRE	**プリセットマニュアル**	［**オート（標準）**］、［**オート（電球色を残す）**］や［**電球**］などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います（🔗65）。
☀	**晴天**※	晴天の屋外での撮影に適しています。
🕯	**電球**※	白熱電球の下での撮影に適しています。
▦	**蛍光灯**	蛍光灯の下での撮影に適しています。［**1**］（白色蛍光灯）、［**2**］（昼白色蛍光灯）、［**3**］（昼光色蛍光灯）のいずれかを選べます。
☁	**曇天**※	曇り空の屋外での撮影に適しています。
ϟ	**フラッシュ**※	フラッシュを使う撮影に適しています。
K	**色温度設定**	色温度（🔗64）を直接指定できます。

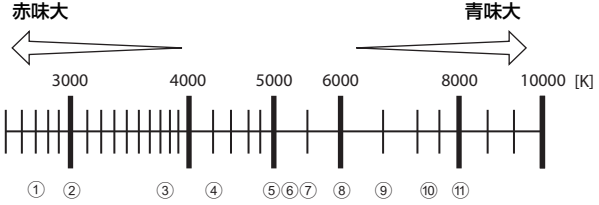
※7段階の微調整ができます。「+」方向で青み、「−」方向で赤みが増します。

ホワイトバランスについてのご注意

- ［**オート（標準）**］、［**オート（電球色を残す）**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを閉じてください（📖18）。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（📖46）。

色温度について

光の色を絶対温度（K：ケルビン）という客観的な数字で表したものが色温度です。色温度が低くなるほど赤味を帯びた光色になります。色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



① ナトリウム灯混合光（約2700K）
② 電球（約3000K）
電球色蛍光灯（約3000K）
③ 温白色蛍光灯（約3700K）
④ 白色蛍光灯（約4200K）
⑤ 昼白色蛍光灯（約5000K）
⑥ 晴天（約5200K）
⑦ フラッシュ（約5400K）
⑧ 曇天（約6000K）
⑨ 昼光色蛍光灯（約6500K）
⑩ 高色温度の水銀灯（約7200K）
⑪ 晴天日陰（約8000K）

プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 マルチセレクターの▲▼で［**プリセットマニュアル**］を選び、Ⓚボタンを押す

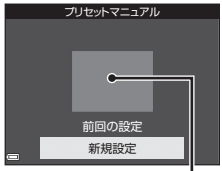
- レンズが測定用のズーム位置になります。

3 ［**新規設定**］を選ぶ

- 前回の測定値を使いたいときは、［**前回の設定**］を選びます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収め、Ⓚボタンを押して測定する

- シャッターがきれて、新規設定が終了します（画像は記録されません）。



プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、［**ホワイトバランス**］を［**オート（標準）**］、［**オート（電球色を残す）**］または［**フラッシュ**］に設定してください。

測光方式

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ 測光方式 ➔ ⓄKボタン

露出を合わせるため、被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。カメラが 測光する方式を設定します。

項目	内容
マルチパターン（初期設定）	画面の広い領域を測光します。 通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。
中央部重点	画面に表示される中央部重点測光範囲に重点を置いて測光します。ポートレート撮影など、重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使います。※
スポット	画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光します。被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使います。被写体がスポット測光範囲に入るように撮影してください。※

※ ピントと露出を合わせたい被写体が画面中央部にないときは、[**AFエリア選択**]をマニュアルにしてAFエリアを画面中央にし、フォーカスロック（🔗21）をお使いください。

測光方式についてのご注意

- 電子ズーム作動中は、拡大倍率によって［**中央部重点**］または［**スポット**］になります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（📖46）。

撮影画面の表示について

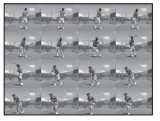
［**中央部重点**］または［**スポット**］に設定すると、測光範囲のガイド（📖6）が表示されます（電子ズーム使用時を除く）。

連写

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ 連写 ➔ ⓞボタン

項目	内容
S **単写（初期設定）**	1コマずつ撮影します。
H **連写 H**	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 • 連写速度は約 7 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は約 7 コマです（画質が［**NORMAL**］、画像サイズが 16M［**4608×3456**］時）。
L **連写 L**	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 • 連写速度は約 2 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は約 200 コマです（画質が［**NORMAL**］、画像サイズが 16M［**4608×3456**］時）。
先取り撮影	シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさかのぼって記録します（🔗69）。シャッターチャンスを逃しにくくなります。 • 連写速度は約 15 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は 20 コマ（先取り撮影の最大 5 コマを含む）です。 • 画質は［**NORMAL**］、画像サイズは 1M（1280×960 ピクセル）に固定されます。
120 **高速連写** 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 • 連写速度は約 120 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は 60 コマです。 • 画像サイズは VGA［**640×480**］に固定されます。
60 **高速連写** 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 • 連写速度は約 60 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は 60 コマです。 • 画像サイズは 2M［**1920×1080**］に固定されます。
BSS **BSS（ベストショットセレクター）**	シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。 フラッシュ撮影禁止の場所など、手ブレしやすい状況で静止している被写体を撮影するときに使います。

項目	内容
マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると、16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 ・ 連写速度は約 30 コマ / 秒です。 ・ 画像サイズは （2560×1920 ピクセル）に固定されます。 ・ 電子ズームは使えません。
インターバル撮影	あらかじめ設定した撮影間隔（インターバル）で、静止画を自動的に連続撮影します（69）。

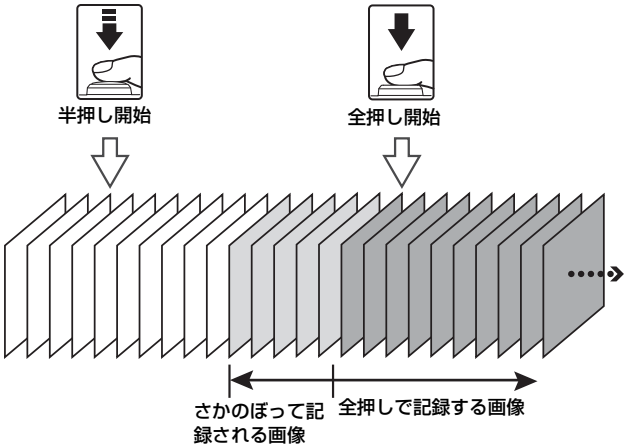


連写についてのご注意

- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画質や画像サイズ、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- [**マルチ連写**]、[**高速連写 120 fps**]、[**高速連写 60 fps**] の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いがばらついたりすることがあります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（46）。

先取り撮影について

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。



- シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン（）が緑色に変わります。

インターバル撮影を使った撮影方法

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ 連写 ➔ ⓚボタン

1 マルチセレクターの▲▼で［インターバル撮影］を選び、ⓚボタンを押す

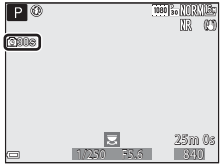
2 撮影間隔を設定する

- ◀▶で項目を選び、▲▼で時間を設定します。
- 設定が終了したらⓄボタンを押します。

3 MENU（メニュー）ボタンを押し、撮影画面にする

4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する

- 2コマ目以降は、撮影間隔の設定に従って自動でシャッターがきれます。
- 撮影の合間は液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します（電池使用時）。



5 必要な画像を撮影し終わったら、シャッターボタンを押す

- 撮影が終了します。
- メモリーカードの残量がなくなると、撮影は自動終了します。

インターバル撮影についてのご注意

- 途中で電源が切れないように、充分に残量のある電池をお使いください。
- 別売のACアダプター EH-67A（116）を使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-67A以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- インターバル撮影中は、モードダイヤルを回さないでください。
- 設定した撮影間隔に対して、シャッタースピードが遅く、1コマの記録にも時間がかかる場合は、途中の撮影がキャンセルされることがあります。

ISO感度設定

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ ISO感度設定 ➔ ⓄⓀボタン

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

• ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
ISO感度設定	• ［**オート**］（初期設定）： ISO 100 ～ 1600 の範囲で自動設定します。 • ［**感度制限オート**］：自動設定範囲を ISO AUTO 400［**ISO 100-400**］、ISO AUTO 800［**ISO 100-800**］から選べます。 • ［**100**］～［**6400**］： ISO 感度を選んだ値に固定します。
低速限界設定	撮影モードが**P**または**A**のときに、ISO感度の自動制御が働き始めるシャッタースピードを設定します。ここで設定したシャッタースピードでは露出不足となる場合、適正露出を得るためにISO感度を自動的に高くします。 • ［**ISO 感度設定**］が［**オート**］、［**感度制限オート**］のときに有効です。 • ISO 感度が上がっても露出不足となる場合は、シャッタースピードが遅くなります。 • 初期設定：［**しない**］

ISO感度設定についてのご注意

• **M**（マニュアル露出）モードのときに［**オート**］、［**ISO 100-400**］、［**ISO 100-800**］に設定すると、ISO感度はISO 100に固定されます。
• この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（🕮46）。

撮影画面のISO感度表示について

• ［**オート**］時は、感度が上がったときにISOマークが表示されます。
• ［**ISO 100-400**］、［**ISO 100-800**］時は、感度の上限値が表示されます。

AEブラケティング

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**メニューアイコン ➔ AEブラケティング ➔ ⓄⓀボタン

露出（明るさ）を自動的に変えながら連続撮影できます。画像の明るさの調節が難しい場合の撮影に効果的です。

項目	内容
しない（初期設定）	AEブラケティングを行いません。
±0.3	シャッターボタンを全押しすると、0、－0.3、+0.3の順で自動的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。
±0.7	シャッターボタンを全押しすると、0、－0.7、+0.7の順で自動的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。
±1.0	シャッターボタンを全押しすると、0、－1.0、+1.0の順で自動的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。

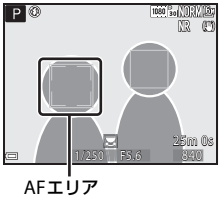
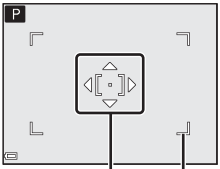
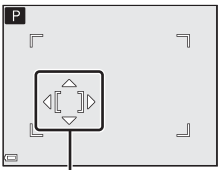
AEブラケティングについてのご注意

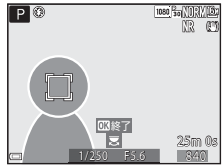
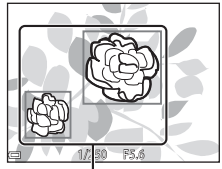
- **M**（マニュアル露出）モードの場合、［**AEブラケティング**］は使えません。
- 露出補正（🕮44）と［**AEブラケティング**］の［**±0.3**］、［**±0.7**］、［**±1.0**］のいずれかを同時に設定すると、補正量を加算します。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（🕮46）。

AFエリア選択

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ AFエリア選択 ➔ ⓞボタン

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を変更します。

項目	内容
顔認識オート	カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→ 19）。 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、9つあるAFエリアのうち最も手前の被写体をとらえているエリアでピントが合います。  AFエリア
マニュアル（スポット） **マニュアル（標準）** **マニュアル（ワイド）**	マルチセレクターの▲▼◀ ▶または回転で、AFエリアをピントを合わせたい位置に移動できます。 マルチセレクターでフラッシュモードなどを設定したいときは、ⓞボタンを押します。AFエリアの移動に戻るには、もう一度ⓞボタンを押します。  AFエリア（中央時） 移動可能エリア  AFエリア（移動時）

項目	内容
ターゲット追尾	動く被写体の撮影に使います。 ピントを合わせたい被写体を登録すると、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。→「ターゲット追尾の使い方」（🔗75）。 
[▪] ターゲットファインドAF（初期設定）	カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います。 →「ターゲットファインド AF について」（🔗18）  AF エリア

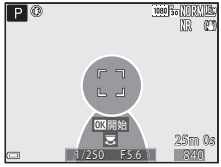
AFエリア選択についてのご注意

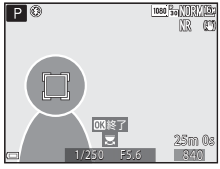
- 電子ズーム使用時は、［**AF エリア選択**］の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（🕮46）。

ターゲット追尾の使い方

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ AFエリア選択 ➔ ⓄⓀボタン ➔ ターゲット追尾 ➔ ⓄⓀボタン ➔ MENUボタン

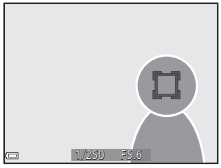
1 被写体を登録する





- 追尾したい被写体を画面中央の枠に合わせ、ⓄⓀボタンを押します。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- 登録を解除したいときは、ⓄⓀボタンを押します。
- カメラがターゲットを見失うと、AFエリア表示が消えます。登録をやり直してください。

2 シャッターボタンを全押しして撮影する



- AFエリアが表示されていない状態でシャッターボタンを押すと、画面中央のエリアにピントが合います。

ターゲット追尾についてのご注意

- ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。

AF（オートフォーカス）モード

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン➔ AFモード ➔ ⓄKボタン

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。
AF-F 常時AF（初期設定）	シャッターボタンを半押ししていないときも、ピントを合わせ続けます。常に動作音がします。

AFモードについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（🕮46）。

動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニューの［**AFモード**］（🕶85）で設定します。

調光補正

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ 調光補正 ➔ ⓄKボタン

フラッシュの発光量を補正します。
フラッシュが明るすぎるときや暗すぎるときなどに使います。

項目	内容
+0.3〜+2.0	0.3〜2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が多くなります。構図の中心となる被写体をより明るく照らすように発光量を多くします。
0.0（初期設定）	調光補正を行いません。
−0.3〜−2.0	−0.3〜−2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が少なくなります。被写体に光が強く当たりすぎないよう発光量を少なくします。

ノイズ低減フィルター

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ ノイズ低減フィルター ➔ Ⓚボタン

画像の記録時に通常行うノイズ低減機能の強さを設定します。

項目		内容
NR⁺	**強め**	ノイズ低減を標準よりも強めに行います。
NR	**標準（初期設定）**	ノイズ低減を標準の強さで行います。
NR⁻	**弱め**	ノイズ低減を標準よりも弱めに行います。

Active D-ライティング（アクティブD-ライティング）

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ Active D-ライティング ➔ Ⓚボタン

ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに近い仕上がりになります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するときに効果的です。

項目		内容
自H	**強め**	効果の度合いを設定します。
自N	**標準**	
自L	**弱め**	
OFF	**しない（初期設定）**	アクティブD-ライティング処理をしません。

☑ アクティブ D-ライティングについてのご注意

- 撮影後の画像の記録に時間がかかります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（🕮46）。

☑ ［Active D-ライティング］と［D-ライティング］の違い

［**Active D-ライティング**］は、撮影前に階調が適切に調節できるようにアンダー側に露出を制御して撮影します。一方、再生メニューの［**D-ライティング**］（🕶27）は、撮影した画像に対して階調を適切に再調節します。

多重露出

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ 多重露出 ➔ ⓄKボタン

2〜3コマの画像を重ねて、1枚の画像として記録します。

項目	内容
多重露出モード	［**する**］に設定すると、多重露出で撮影します。 ・ 重ねない画像も記録します。 ・ 初期設定：［**しない**］
自動ゲイン補正	重ねるときに、画像の明るさを自動調節するかどうかを設定します。 ・ 初期設定：［**する**］

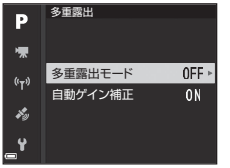
多重露出についてのご注意

- 画像の合成に時間がかかることがあります。
- 撮影中にオートパワーオフ（🕮57）による待機状態になると、撮影が終了します。撮影間隔の長い撮影では、オートパワーオフの時間を長めに設定することをおすすめします。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（🕮46）。
- 多重露出時にシャッタースピードが遅い場合、記録した画像にノイズ（白い点）が目立つことがあります。

多重露出を使った撮影方法

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ 多重露出 ➔ ⓄKボタン

1 マルチセレクターの▲▼で［**多重露出モード**］を選び、ⓄKボタンを押す

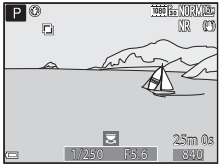


詳細編

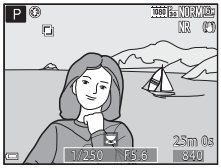
2 ［する］を選び、Ⓚボタンを押す

3 MENU（メニュー）ボタンを押し、撮影画面にする

4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する



5 シャッターボタンを押し、2コマ目を撮影する



- 半透明で表示される1コマ目の画像を見ながら、構図を決めてください。
- 2コマ目を撮影すると、1コマ目と2コマ目を重ねた画像が記録され、半透明で表示されます。
- 2コマで多重露出を終了するには、［**多重露出モード**］を［**しない**］に設定するか、モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**以外に切り換えます。

6 シャッターボタンを押し、3コマ目を撮影する

- 3コマを重ねた画像が記録され、多重露出が終了します。
- 3コマ目を撮影できるまで、時間がかかることがあります。

ズームメモリー

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ ズームメモリー ➔ ⓞボタン

項目	内容
する	ズームレバーを動かすと、この設定でチェックボックスをオンにしたズーム位置（35mm判換算の焦点距離/撮影画角）に切り換わります。 • マルチセレクターの ▲▼ で焦点距離を選び、ⓞ ボタンを押してチェックボックスのオン［✔］/ オフを設定します。 ［**24 mm**］、［**28 mm**］、［**35 mm**］、［**50 mm**］、［**85 mm**］、［**105 mm**］、［**135 mm**］、［**200 mm**］、［**300 mm**］、［**400 mm**］、［**500 mm**］、［**600 mm**］、［**800 mm**］、［**1000 mm**］、［**1200 mm**］、［**1400 mm**］、［**1600 mm**］、［**1800 mm**］、［**2000 mm**］を設定できます。 • 初期設定：すべてのチェックボックスがオン［✔］ • 設定を終了するには、マルチセレクターの▶を押します。 • ［**起動ポジション設定**］で設定された焦点距離は自動的にオン［✔］になります。 • サイドズームレバーでは、ズームメモリー機能は使えません。
しない（初期設定）	［**する**］で設定できるズーム位置以外にもズームを移動します。

ズーム操作についてのご注意

- 複数の焦点距離を設定した場合、ズームレバーを動かすと、操作前と一番近い焦点距離に切り換わります。他の焦点距離に切り換えるには、いったんズームレバーをはなしてください。
- 電子ズームを使うときは、［**ズームメモリー**］を［**しない**］に設定してください。

起動ポジション設定

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ 起動ポジション設定 ➔ ⓄⓀボタン

電源をONにしたときのズーム位置（35mm判換算の焦点距離/撮影画角）を設定します。
［**24 mm**］（初期設定）、［**28 mm**］、［**35 mm**］、［**50 mm**］、［**85 mm**］、［**105 mm**］または［**135 mm**］に設定できます。

Mモード露出反映表示

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる ➔ MENUボタン ➔ **P**、**S**、**A**、**M**、**U**メニューアイコン ➔ Mモード露出反映表示 ➔ ⓄⓀボタン

M（マニュアル露出）モードで露出を変えたときに、撮影画面にも明るさを反映するかどうかを設定します。

項目	内容
する	撮影画面に明るさを反映します。
しない（初期設定）	撮影画面に明るさを反映しません。

動画メニュー

動画設定

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ メニューアイコン ➔ 動画設定 ➔ ⓚボタン

撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画（83）があります。選べる項目は、［**フレームレート設定**］によって異なります（87）。

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします（20）。

通常速度の動画

項目（画像サイズ/フレームレート、記録方式）	画像サイズ	アスペクト比（横：縦）
1080 50p 1080/30p 1080 25p 1080/25p （初期設定）	1920×1080	16:9
1080 60p 1080/60p 1080 50p 1080/50p	1920×1080	16:9
720 30p 720/30p 720 25p 720/25p	1280×720	16:9
720 60p 720/60p 720 50p 720/50p	1280×720	16:9
480 30p 480/30p 480 25p 480/25p	640×480	4:3

HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。
→「スローモーション再生と早送り再生について」（84）

項目	画像サイズ アスペクト比（横：縦）	内容
480p 120 / 480p 100 HS 480/4 倍※	640×480 4:3	1/4 の速度のスローモーション動画です。 • 最長撮影時間：7 分 15 秒（再生時間：29 分）
720p 60 / 720p 50 HS 720/2 倍	1280×720 16:9	1/2 の速度のスローモーション動画です。 • 最長撮影時間：14 分 30 秒（再生時間：29 分）
1080p 15 / 1080p 12.5 HS 1080/0.5 倍	1920×1080 16:9	2倍の速度の早送り動画です。 • 最長撮影時間：29 分（再生時間：14 分 30 秒）

※ スペシャルエフェクトの効果の種類によっては、選べません。

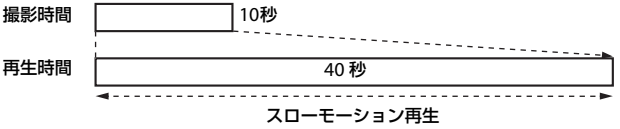
HS動画についてのご注意

- 音声は記録されません。
- ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、撮影開始時に固定されます。

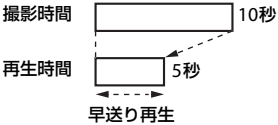
スローモーション再生と早送り再生について

通常速度で撮影した場合：

480 [HS 480/4 倍] または 480 [HS 480/4 倍] で撮影した場合：
通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。
再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。



1080 [HS 1080/0.5 倍] または 1080 [HS 1080/0.5 倍] で撮影した場合：
通常速度の1/2のスピードで撮影します。
再生時は、2倍の速さで早送り再生します。



詳細編

AF（オートフォーカス）モード

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ メニューアイコン ➔ AFモード ➔ ⓞボタン

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF（初期設定）	動画撮影開始時にピントを固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。

AFモードについてのご注意

- ［**動画設定**］をHS動画に設定したときは、［**シングルAF**］に固定されます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります。

電子手ブレ補正

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ メニューアイコン ➔ 電子手ブレ補正 ➔ ⓞボタン

動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定します。

項目	内容
する **（初期設定）**	電子手ブレ補正を行います。 • 画角（写る範囲）は狭くなります。 • セットアップメニュー（📖57）の［**手ブレ補正**］を［**NORMAL**］または［**ACTIVE**］に設定している場合は、光学式手ブレ補正も同時に行われます。
しない	電子手ブレ補正を行いません。

電子手ブレ補正についてのご注意

［**動画設定**］をHS動画に設定したときは、［**しない**］に固定されます。

風切り音低減

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ メニューアイコン ➔ 風切り音低減 ➔ ⓞボタン

項目	内容
する	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。
しない **（初期設定）**	風切り音を低減しません。

風切り音低減についてのご注意

［**動画設定**］をHS動画に設定したときは、［**しない**］に固定されます。

ズームマイク

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ メニューアイコン ➔ ズームマイク ➔ Ⓚボタン

項目	内容
する（初期設定）	画角（写る範囲）に応じて、広角側では広い範囲、望遠側では狭い範囲の音を録音します。
しない	ズームマイクを無効にします。

ズームマイクについてのご注意

［**動画設定**］をHS動画に設定したときは、［**しない**］に固定されます。

フレームレート設定

撮影画面にする ➔ MENU ボタン ➔ メニューアイコン ➔ フレームレート設定 ➔ Ⓚボタン

動画撮影時のフレームレートを選びます。フレームレートの設定を切り換えると、［**動画設定**］（82）で選べる項目が変わります。

項目	内容
30 fps (30p/60p)	NTSC方式のテレビで再生するのに適しています。
25 fps (25p/50p)	PAL方式のテレビで再生するのに適しています。

再生メニュー

画像編集機能については、「画像の編集（静止画）」（🕶26）をご覧ください。

Wi-Fi送信画像の指定

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ Wi-Fi送信画像の指定 ➔ OKボタン

スマートデバイスに取り込みたい静止画を、あらかじめカメラで選べます。動画は選べません。

画像選択の画面（🕮56）で、画像を選んでWi-Fi送信画像の指定または解除をします。

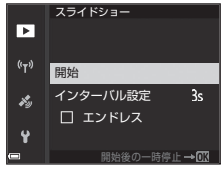
セットアップメニューの［**設定クリアー**］（🕶110）またはWi-Fi 設定メニューの［**設定の初期化**］（🕶92）を実行すると、Wi-Fi送信画像の指定は解除されますので、ご注意ください。

スライドショー

[▶]ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ スライドショー ➔ ⓞⓚボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目だけを表示します。

1 マルチセレクターの▲▼で［開始］を選び、ⓞⓚボタンを押す



- スライドショーが始まります。
- ［**開始**］を選ぶ前に［**インターバル設定**］を選びⓞⓚボタンを押すと、画像の表示時間を変更できます。
- 繰り返し再生するには、［**開始**］を選ぶ前に［**エンドレス**］を選んでⓞⓚボタンを押します。
- スライドショーの連続再生時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大約30分です。

2 終了または再開する

- 再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。終了するには、■を選びⓞⓚボタンを押します。再開するには、▶を選びⓞⓚボタンを押します。

再生中の操作

- マルチセレクターの◀▶でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- 一時停止または途中で終了したいときは、ⓞⓚボタンを押します。

プロテクト設定

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ プロテクト設定 ➔ ⓄⓀボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。
画像選択の画面（🕮56）で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。
メモリーカードを初期化（フォーマット、🕶107）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

画像回転

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENUボタン ➔ 画像回転 ➔ ⓄⓀボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。
撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。
画像選択の画面（🕮56）で回転する画像を選ぶと、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀▶または回転で、90度回転します。

反時計方向に
90 度回転

時計方向に
90 度回転

ⓄⓀボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

連写グループ表示方法

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU ボタン
➔ 連写グループ表示方法 ➔ ⓞボタン

連写グループ（🕶25）の再生時の表示方法を設定します。

項目	内容
1枚ずつ	連写した画像を、常に1コマずつ表示します。再生画面で🖐が表示されます。
代表画像のみ（初期設定）	連写した画像を代表画像で表示します。

設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されます。

連写の代表画像選択

▶ボタンを押す（再生モード）➔ 代表画像を変更したい連写グループを表示する ➔ MENU ボタン ➔ 連写の代表画像選択 ➔ ⓞボタン

連写グループの代表画像をグループ内の他の画像に変更します。
• 代表画像の選択画面が表示されたら、画像を選びます（🕮56）。

Wi-Fi設定メニュー

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ ⓚボタン

カメラとスマートデバイスを接続するためのWi-Fi（無線LAN）ネットワーク情報を設定します。

項目	内容
スマートデバイスと接続	カメラとスマートデバイスを無線接続するときに選びます。 →「スマートデバイスとの接続（Wi-Fi）」（🔗45）
カメラ内画像の送信	カメラとスマートデバイスを無線接続するときに選びます。 →「スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する」（🔗47） • 無線接続をする前に、画像選択の画面で送信する画像を選択できます（📖56、🔗88）。画像を選択した後、カメラのSSIDとパスワードが画面に表示されます。
Wi-Fi OFF	カメラとスマートデバイスの無線接続を終了するときに選びます。 →「Wi-Fi接続を解除するには」（🔗46）
設定	**SSID**：SSIDを変更できます。ここで設定したSSIDが、スマートデバイスに表示されます。英数字の1～24桁で設定します。
	認証/暗号：スマートデバイスと接続するときに、通信信号を暗号化するかどうかを設定します。 ［**OPEN**］（初期設定）のときは、暗号化しません。 • ［**WPA2-PSK-AES**］を設定すると、スマートデバイスとの接続時にパスワードの入力を求められます（🔗45）。
	パスワード：パスワードを設定します。英数字の8～16桁で設定します。
	チャンネル：無線接続で使用するチャンネルを設定します。
	サブネットマスク：通常は初期設定（［**255.255.255.0**］）のままお使いください。
	DHCPサーバーIPアドレス：通常は初期設定（［**192.168.0.10**］）のままお使いください。
現在の設定	現在の設定を一覧表示します。
設定の初期化	Wi-Fiの設定を初期設定に戻します。無線接続中に実行すると接続が切断されます。

文字入力画面の操作方法

[SSID]、[パスワード]の文字入力

- マルチセレクターの▲▼◀ ▶でキーボードの英数字を選択します。Ⓚボタンを押すと、選択した英数字が文字列に追加されカーソルが次の桁に移動します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、キーボードの←または→を選んでⓀボタンを押します。
- 1文字削除するには、🗑ボタンを押します。
- 設定を確定するには、キーボードの↵を選んでⓀボタンを押します。

[チャンネル]、[サブネットマスク]、[DHCPサーバー IPアドレス]の文字入力

- マルチセレクターの▲▼で数値を設定します。▶またはⓀボタンを押すと、次の桁に移動します。◀を押すと、前の桁に戻ります。
- 設定を確定するには、最後の桁を選んでⓀボタンを押します。

位置情報設定メニュー

位置情報設定

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ 位置情報設定 ➔ Ⓚボタン

項目	内容
位置情報記録機能	［**する**］にすると、測位衛星から電波を受信し、測位が始まります（🔗39）。 • 初期設定：［**しない**］
A-GPSファイル更新	メモリーカードを使ってA-GPS（アシストGPS）ファイルを更新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を測位するまでの時間を短くできます。 • A-GPS ファイルの更新方法 → 🔗95
位置情報消去	画像に記録された位置情報やPOI情報を消去します。 • 削除した位置情報や POI 情報は元に戻せません。 • このカメラ以外で撮影した画像の位置情報は、消去できません。

A-GPSファイルの更新方法

下記のウェブサイトから最新のA-GPSファイルをダウンロードして、更新してください。

http://nikonimglib.com/agps3/

- COOLPIX P900用のA-GPSファイルは、上記ウェブサイト以外では、入手できません。

1 ウェブサイトから最新の A-GPS ファイルをパソコンにダウンロードする

2 ダウンロードしたファイルをカードリーダーなどを使って、メモリーカードの「**NCFL**」フォルダーにコピーする

- 「NCFL」フォルダーはメモリーカードの直下にあります。メモリーカード内に「NCFL」フォルダーがない場合は、フォルダーを新規作成してください。

3 ファイルをコピーしたメモリーカードをカメラに入れる

4 カメラの電源を入れる

5 MENU（メニュー）ボタンを押して位置情報設定メニューを表示し、マルチセレクターで［**位置情報設定**］を選ぶ

6 ［**A-GPSファイル更新**］を選び、ファイルを更新する

- ファイルの更新終了まで、約2分かかります。

A-GPSファイル更新についてのご注意

- A-GPS ファイルは、ご購入後はじめての測位では無効です。2 回目の測位から有効になります。
- A-GPSファイルの有効期限は、更新画面で確認できます。有効期限が切れている場合は、有効期限がグレーで表示されます。
- A-GPSファイルの有効期限が切れている場合は、位置情報の測位は早くなりません。A-GPSファイルは位置情報機能を使う前に更新することをおすすめします。

POI設定（地名情報の記録と表示）

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ POI設定 ➔ ⓄKボタン

POI（Point of interest、地名情報）に関する設定をします。

項目	内容
POI記録	撮影する画像に地名情報を記録するか設定します。 • 初期設定：[**しない**] • 地名情報は、静止画にも、動画にも記録できます。
POI表示設定	撮影画面や再生画面に地名情報を表示するか設定します（🕮6、7）。 • 再生画面では、[**POI 記録**] を [**する**] にして撮影した画像に、撮影時の地名情報を表示します。 • 初期設定：[**しない**]
POI表示レベル設定	地名情報の表示レベルを設定します。高レベルを選ぶほど、地域情報が詳細になります。 • レベル 1：国名を表示します。 • レベル2～5：表示内容は、国によって異なります。 • レベル 6：ランドマーク名（施設名）を表示します。
POI情報編集	再生モード時に [**POI変更**] を選ぶと、画像に記録された地名情報を変更できます。MENUボタンを押す前に、編集したい画像を選んでください。 • レベル 6 を選んでいるときに、マルチセレクターの ◀▶ を押すと、ランドマーク名を変更できます。 • マルチセレクターの ▲▼ を押すと、POI 情報のレベルを変更できます。 [**POI削除**] を選ぶと、画像に記録されている地名情報を削除します。

詳細編

POI表示について

設定した表示レベルに地名情報がない場合は、表示されない場合があります。

衛星による日時合わせ

MENU ボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ 衛星による日時合わせ ➔ OK ボタン

測位衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します。測位状態を確認してから、日時合わせをしてください。

衛星による日時合わせについてのご注意

- 設定するには、測位できている必要があります（39）。
- [**衛星による日時合わせ**] は、セットアップメニューの [**地域と日時**]（57、98）で設定したタイムゾーンに合わせて日時を設定します。[**衛星による日時合わせ**] をする前にタイムゾーンの設定をご確認ください。
- [**衛星による日時合わせ**] で設定した日時は、電波時計ほどには正確ではありません。[**衛星による日時合わせ**] で時刻が合わないときは、セットアップメニューの [**地域と日時**] で設定してください。

セットアップメニュー

地域と日時

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ 地域と日時 ➔ ⓚボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
日時の設定	 • 項目を選ぶ：マルチセレクターの ◀▶ を押します。 • 日時を合わせる：▲▼ を押します。マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回しても変更できます。 • 設定を完了する：［**分**］を選び、ⓚ ボタンまたは ▶ を押します。
日付の表示順	［**年/月/日**］、［**月/日/年**］、［**日/月/年**］から選びます。
タイムゾーン	タイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。 • 自宅（🏠）を設定してから、訪問先（✈）のタイムゾーンを設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録できます。

タイムゾーンの設定方法

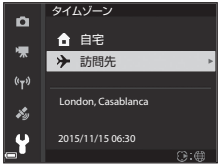
1 マルチセレクターの▲▼で［タイムゾーン］を選び、ⓚボタンを押す

詳細編

2 🏠［自宅］または✈［訪問先］を選び、Ⓚボタンを押す

- 自宅か訪問先の日時に切り換わります。

3 ▶を押す



4 ◀▶でタイムゾーンを選ぶ

- ▲ を押すと夏時間（サマータイム）になり、🌸が表示されます。解除するには、▼を押します。
- Ⓚボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、［**日時の設定**］で合わせてください。

カードなし時レリーズ

MENUボタンを押す➔ メニューアイコン ➔カードなし時レリーズ ➔ ⓞボタン

カメラにメモリーカードを入れていないときにシャッターがきれるかどうかを設定します。

項目	内容
レリーズ禁止（初期設定）	メモリーカードを入れないと、シャッターはきれません。
レリーズ許可	メモリーカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。ただし、メモリーカードが入っていないときに撮影した画像は、液晶モニターに表示されますが、画像上に［**デモモード**］と表示され、プリントやメモリーカードへの保存はできません。

モニター設定

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ モニター設定 ➔ ⓚボタン

項目	内容
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 • 初期設定：[**する**]
モニターの調整	液晶モニターの明るさと色合いを調節します。 • マルチセレクターの ▲▼ で明るさを、◀ ▶ で色合いを調節し、ⓚ を押します。 • 初期設定：明るさ［**3**］ 色合い［**0**］ • 電子ビューファインダーの使用中は設定できません。
EVFの調整	電子ビューファインダーの明るさと色合いを調節します。 • マルチセレクターの ▲▼ で明るさを、◀ ▶ で色合いを調節し、ⓚ を押します。 • 初期設定：明るさ［**2**］ 色合い［**0**］ • 液晶モニターの使用中は設定できません。
格子線表示	撮影画面に構図を決めるための格子状のガイドを表示するかどうかを設定します。 • 初期設定：[**しない**]
ヒストグラム表示	撮影画面に画像の明るさの分布を表すグラフ（🕮44）を表示するかどうかを設定します。 • 初期設定：[**しない**]
水準器表示	撮影画面に水準器を表示するかどうかを設定します（👓102）。 • 初期設定：[**しない**]

☑ 格子線表示についてのご注意

MF（マニュアルフォーカス）の中央拡大表示中は、格子線が表示されません。

☑ ヒストグラム表示についてのご注意

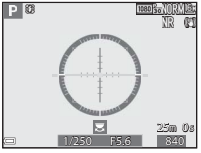
下記のときはヒストグラムが表示されません。
- 📷（オート撮影）モード
- 動画撮影中
- MF（マニュアルフォーカス）の中央拡大表示中
- かんたんパノラマ撮影中
- フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモードの設定メニュー表示中

水準器表示について

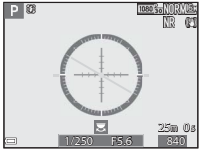
カメラに内蔵している傾斜センサーを使って、液晶モニターにローリング方向とピッチング方向の水準器を表示します。

P、**S**、**A**、**M**モードで［**AFエリア選択**］が［**マニュアル（スポット）**］、［**マニュアル（標準）**］または［**マニュアル（ワイド）**］のとき、およびAFエリアが中央のシーンモード、スペシャルエフェクトモードで表示できます。

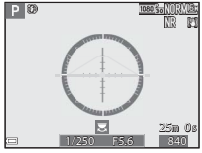
- カメラを正位置（傾きのない状態）にすると、ローリング方向の場合は水準器表示の基準線が緑色に変わります。ピッチング方向の場合は中央の●が緑色に変わります。
- 水準器の1目盛はローリング方向が5度、ピッチング方向が10度を表します。



カメラがローリング方向、ピッチング方向とも正位置の場合



カメラがローリング方向に傾いている場合



カメラがピッチング方向に傾いている場合

水準器表示についてのご注意

下記のときは水準器が表示されません。

- （オート撮影）モード
- シーンモードが（夜景ポートレート）、［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］、［**料理**］、［**かんたんパノラマ**］、［**ペット**］のとき
- 動画撮影中
- 笑顔自動シャッター設定時

水準器の精度について

カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。測定できない状態までカメラを傾けると、水準器の目盛が消灯します。

EVFの自動切り換え（電子ビューファインダーの自動切り換え）

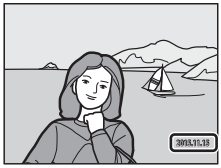
MENUボタンを押す➔メニューアイコン➔EVFの自動切り換え➔ⓄⓀボタン

項目	内容
する（初期設定）	電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応し、モニター表示が自動的に電子ビューファインダーの表示に切り換わります。
しない	電子ビューファインダーに顔を近づけても、モニター表示を切り換えません。

日付写し込み

MENUボタンを押す➔メニューアイコン➔日付写し込み➔ⓄⓀボタン

撮影時に日時を画像に写し込んで記録します。



項目	内容
DATE 年・月・日	日付を写し込みます。
DATE 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
しない（初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。

日付写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日時を写し込めません。
  - シーンモードが［**夜景**］（［**手持ち撮影**］時）、［**夜景ポートレート**］（［**手持ち撮影**］時）、［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］、［**逆光**］（［**HDR**］を［**する**］設定時）、［**かんたんパノラマ**］、［**ペット**］（［**連写**］設定時）、［**鳥**］（［**連写**］設定時）
  - ［**連写**］の設定（67）が［**先取り撮影**］、［**高速連写 120 fps**］、［**高速連写 60 fps**］
  - 動画
  - 動画撮影中に記録した静止画
  - 動画再生中に切り出した静止画
- 画像サイズが小さいと、日時が読みにくいことがあります。

手ブレ補正

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ 手ブレ補正 ➔ ⓄⓀボタン

撮影時の手ブレ補正を設定します。
三脚などでカメラを固定して撮影するときは、［**しない**］にしてください。

項目	内容
NORMAL（初期設定）	望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを補正します。また、流し撮りでは、カメラが流し撮りの方向を自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。 例えば、横方向に流し撮りするときには縦方向の手ブレだけが、縦方向に流し撮りするときには横方向の手ブレだけが補正されます。
ACTIVE	車上での撮影や足場の悪い状況での撮影など、比較的大きなブレが起こりやすい撮影時に手ブレを補正します。
しない	補正をしません。

手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源を ON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、モニター画面の画像が安定してから撮影してください。
- 撮影直後にモニター画面の画像がずれて見えることがあります。
- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。

詳細編

AF補助光

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ AF補助光 ➔ ⓚボタン

項目	内容
オート（初期設定）	暗い場所などでシャッターボタンを押すと、オートフォーカスの補助光が自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約5.0 m、望遠側で約5.0 mです。 • AFエリアの位置やシーンモードの種類によっては点灯しない場合があります。
なし	AF補助光は点灯しません。

電子ズーム

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ 電子ズーム ➔ ⓚボタン

項目	内容
する（初期設定）	電子ズームが使えます。
しない	電子ズームは使えません。

電子ズームについてのご注意

- 以下のシーンモードでは、電子ズームを使えません。
  - ［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**かんたんパノラマ**］、［**ペット**］
- 他の撮影モードでも、設定によっては電子ズームは使えません（🕮48）。

サイドズームレバー設定

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ サイドズームレバー設定 ➔ ⓞボタン

撮影時にサイドズームレバーを動かしたときの動作を設定します。

項目	内容
ズームレバー（初期設定）	撮影時にサイドズームレバーで、ズーム操作ができます（🕮20）。
MFレバー	フォーカスモードがMF（マニュアルフォーカス）のときに、サイドズームレバーでピント合わせができます（🕮42）。 • **T** 方向に動かすと、遠くの被写体にピントが合います。 • **W** 方向に動かすと、近くの被写体にピントが合います。

操作音

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ 操作音 ➔ ⓞボタン

項目	内容
設定音	［**あり**］（初期設定）にすると、操作時に設定音（電子音1回）、合焦音（電子音2回）および警告音（電子音3回）が鳴ります。 • シーンモードの［**ペット**］または［**鳥**］では鳴りません。
シャッター音	［**あり**］（初期設定）にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。 • 連写時や動画撮影時、シーンモードの［**かんたんパノラマ**］、［**ペット**］または［**鳥**］では鳴りません。

オートパワーオフ

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ オートパワーオフ ➔ ⓞボタン

カメラが待機状態（🕮18）になるまでの時間を設定します。
［**30 秒**］、［**1 分**］（初期設定）、［**5 分**］、［**30 分**］から選べます。

オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。
- メニュー表示中：3分（オートパワーオフを［**30 秒**］または［**1 分**］に設定した場合）
- ACアダプター接続中：30分

カードの初期化（フォーマット）

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ カードの初期化 ➔ ⓞボタン

メモリーカードを初期化（フォーマット）します。
初期化すると、メモリーカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。
表示された画面で［**初期化する**］を選びⓞボタンを押すと初期化が始まります。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/メモリーカードカバーを開けたりしないでください。

言語/Language

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ 言語/Language ➔ ⓞボタン

画面に表示する言語を設定します。

パソコン接続充電

MENUボタンを押す ➔ メニューアイコン ➔ パソコン接続充電 ➔ ⓞボタン

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	起動済みのパソコンに接続すると（🕮61）、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。 • 充電中は電源ランプがゆっくり点滅します。充電が完了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わります。
しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

☑ パソコンで充電するときのご注意

- パソコンに接続するとカメラの電源が ON になり、充電が始まります。カメラの電源をOFFにすると、充電は中止されます。
- 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約6時間10分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFF になります。

☑ 電源ランプ（充電ランプ）が緑色で速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- 充電可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- USBケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、電池を交換してください。
- パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

Av/Tv操作切り換え

MENUボタンを押す ➔ 🔧メニューアイコン ➔ Av/Tv操作切り換え ➔ OKボタン

撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U**のときのプログラムシフト、シャッタースピードまたは絞り値の設定方法を切り換えます。

項目	内容
切り換えない（初期設定）	コマンドダイヤルでプログラムシフトまたはシャッタースピードを、マルチセレクターで絞り値を調節します。
操作を切り換える	マルチセレクターでプログラムシフトまたはシャッタースピードを、コマンドダイヤルで絞り値を調節します。

連番リセット

MENUボタンを押す ➔ 🔧メニューアイコン ➔ 連番リセット ➔ OKボタン

［**はい**］を選ぶと、ファイル番号の連番（🔗115）をリセットします。リセットすると新しい記録フォルダーが作られ、次に撮影する画像の連番は、「0001」から始まります。

連番リセットのご注意

フォルダー番号が999に達し、そのフォルダー内にファイルがあるときは、［**連番リセット**］ができません。メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化（🔗107）してください。

記録フォルダーについて

このカメラで撮影した静止画および動画は、メモリーカード内のフォルダーに記録されます。

- フォルダー名には、100 から 999 までの連番がつきます（フォルダー名は、カメラでは表示できません）。
- 以下のときは、新しいフォルダーが作成されます。
  - フォルダー内のファイル数が200に達したとき
  - フォルダー内のファイル番号が9999に達したとき
  - ［**連番リセット**］したとき
- インターバル撮影の場合、撮影のたびに新しいフォルダーが作成され、ファイル番号0001 から始まる一連の画像が保存されます。

ピーキング

MENUボタンを押す ➔ Yメニューアイコン ➔ ピーキング ➔ OKボタン

項目	内容
する（初期設定）	MF（マニュアルフォーカス）時のモニター画面で、ピントが合った箇所を白色で強調して、ピント合わせを補助します（□42、43）。
しない	ピーキングをしません。

設定クリアー

MENUボタンを押す ➔ Yメニューアイコン ➔ 設定クリアー ➔ OKボタン

［**はい**］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- ［**地域と日時**］、［**言語/Language**］など、一部の設定はリセットされません。
- モードダイヤル **U** に登録したユーザーセッティングの設定はリセットされません。［**User Setting リセット**］（□35）でリセットしてください。

ファイル番号の連番をリセットする

メモリーカード内の画像をすべて削除してから［**設定クリアー**］を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。［**連番リセット**］でも「0001」からにリセットできます（109）。

バージョン情報

MENUボタンを押す ➔ Yメニューアイコン ➔ バージョン情報 ➔ OKボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	🕮
電池が高温です。電源をOFFにします。 カメラが高温です。電源をOFFにします。	電源が自動的にOFFになります。温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。	–
カードがロックされています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。「Lock」を解除してください。	–
このカードは使えません。 カードに異常があります。	メモリーカードへのアクセス異常です。 • 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	10、 20
このカードは初期化されていません。初期化しますか？	メモリーカードが、このカメラ用に初期化されていません。 初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、［**いいえ**］を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。［**はい**］を選んでⓄKボタンを押すと、メモリーカードを初期化できます。	10、5
メモリー残量がありません。	不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換してください。	10、23
画像を保存できません。	画像記録中にエラーが発生しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化してください。	10、 107
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化してください。	10、 107
この画像は編集できません。	編集可能な条件を確認してください。	26、 13
動画記録できません。	メモリーカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いメモリーカードに交換してください。	20

表示	考えられる原因や対処法	🕮
連番リセットできません。	記録フォルダー名の連番が上限に達したため、リセットできません。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化してください。	10、 🕶107
撮影画像がありません。	画像が記録されているメモリーカードを入れてください。	10
このファイルは表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。 このカメラでは再生できません。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
表示できる画像がありません。	• スライドショーなどで表示できる画像がありません。 • 削除画像選択画面に表示できる画像がありません。	–
このファイルは削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	🕶90
フラッシュを上げてください。	• シーンモードの［**おまかせシーン**］時は、フラッシュを閉じたままでも撮影できますが、フラッシュは発光しません。 • ［**夜景ポートレート**］または［**逆光**］の［**HDR**］が［**しない**］時は、フラッシュを閉じたままでは撮影できません。	🕶4 🕶3、 🕶7
衛星からの情報取得に失敗しました。	時計合わせが正しく行われませんでした。お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位してください。	–
カード内にA-GPSファイルが見つかりません。	メモリーカードに更新可能なA-GPSファイルがありません。 以下のことを確認してください。 • メモリーカードが入っているか • メモリーカード内に A-GPS ファイルが入っているか • メモリーカード内の A-GPS ファイルがカメラ内の A-GPS ファイルより新しいか • 有効期限が切れていないか	–
更新に失敗しました。	A-GPS ファイルの更新ができませんでした。 A-GPS ファイルが壊れている可能性があります。ウェブサイトからダウンロードし直してください。	🕶95

詳細編

表示	考えられる原因や対処法	🕮
カードに保存できません。	メモリーカードが挿入されていません。 メモリーカードを挿入してください。	10
	1日に記録できるログデータは、36件までです。	–
	ログを取得できていません。	43
	1枚のメモリーカードに保存できるログデータは、最大で100件までです。 新しいメモリーカードに交換するか、不要なログデータをメモリーカードから削除してください。	10、44
アクセスありませんでした。	スマートデバイスからの通信信号を受信できません。無線接続の操作をやり直してください。 • (ᵀ) ボタンを押す • NFC 対応のスマートデバイスをカメラにタッチする • Wi-Fi 設定メニューの［**スマートデバイスと接続**］を選択する	45、92
接続できませんでした。	スマートデバイスからの通信信号を受信中、接続に失敗しました。Wi-Fi設定メニューの［**設定**］で［**チャンネル**］を別の番号に変更し、無線接続の操作をやり直してください。	45、92
Wi-Fi の接続を切断しました。	以下の場合、Wi-Fi接続が切断されます。 • 電波の状態が悪い • 電池残量が少ない • ケーブルやメモリーカードを抜き差しした 充分に残量のある電池を使い、テレビ、パソコン、プリンターは取り外して、無線接続をやり直してください。	45、92
レンズの動作不良です。 電源OFF後、再度実行してください。	エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	7
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	49
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	7

表示	考えられる原因や対処法	🕮
プリンターエラー：プリンターを確認してください。	エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	−
プリンターエラー：用紙を確認してください。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	−
プリンターエラー：紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	−
プリンターエラー：用紙がありません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	−
プリンターエラー：インクを確認してください。	インクに異常があります。 インクを確認した後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	−
プリンターエラー：インクがありません。	インクを交換した後、［**継続**］を選んでⓄⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	−
プリンターエラー：ファイルが異常です。	プリントする画像ファイルに異常があります。［**キャンセル**］を選んでⓄⓀボタンを押し、プリントを中止してください。	−

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けられます。

ファイル名: DSCN0001.JPG
①　②　③

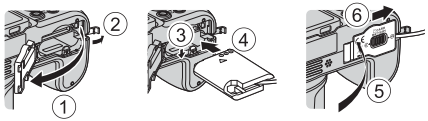
①識別子	カメラの画面には表示されません。 • DSCN：編集していない静止画、動画、動画編集で作成した静止画 • SSCN：スモールピクチャー画像 • RSCN：トリミング画像 • FSCN：トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成した画像、動画編集で作成した動画
②ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。 • インターバル撮影の場合、撮影のたびに新しいフォルダーが作成され、ファイル番号 0001 から始まる一連の画像が保存されます。
③拡張子	ファイルの種類を示します。 • .JPG：静止画 • .MOV：動画

メモリーカードに保存したログデータについて

ログデータはメモリーカードの「NCFL」フォルダーに保存されます。

- ファイル名は、「N」、「日付（西暦の下二桁と月日：YYMMDD）」、「識別番号（0～9、A～Z）」、「拡張子（.log）」です。
  例：2015年11月15日に取得した1件目の位置情報ログの場合
  N1511150.log
- 1日に36ファイル、1枚のメモリーカードに100ファイルまで記録できます。

使用できるアクセサリー

充電器	**バッテリーチャージャー MH-67P**※1 残量のない状態からの充電時間は、約3時間20分です。
ACアダプター	**ACアダプター EH-67A**※2 <取り付け方>  電池/メモリーカードカバーを閉める前に、ACアダプターのコードを電池室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。
リモコン※3	**リモコン ML-L3**
フィルター	**67mmネジ込み式フィルター（当社製）**

※1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。

※2 日本国内専用電源コード（AC 100 V 対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）
http://shop.nikon-image.com/でもお求めいただけます。

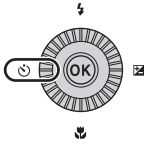
※3 リモコン使用時は、［**オートパワーオフ**］（🔗107）を長めに設定することをおすすめします。

国または地域によって、販売していない場合があります。
アクセサリーの最新情報は、当社ウェブサイトやカタログなどでご確認ください。

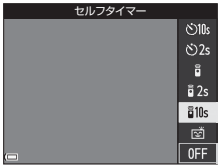
リモコン ML-L3でシャッターをきる

別売のリモコン ML-L3（🔗116）を使ってシャッターをきることができます。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの［**手ブレ補正**］（🔗104）を［**しない**］にしてください。

1 マルチセレクターの◀（⏲）を押す

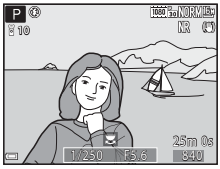


2 リモコンモードを選び、Ⓚボタンを押す

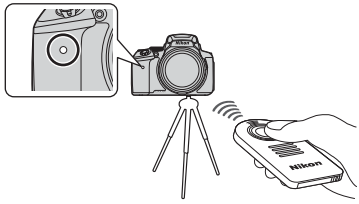


- ［📱］：リモコンの送信ボタンを押すと、すぐに撮影します（リモコン即写）。
- ［📱 **10s**］（10秒）/［📱 **2s**］（2秒）：リモコンの送信ボタンを押すと、設定した秒数後に撮影します（セルフタイマーリモコン）。
- Ⓚボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決める

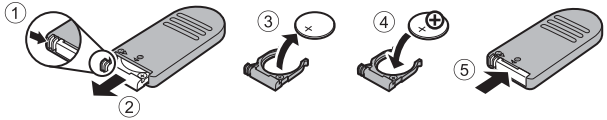


4 リモコンの送信部をカメラのリモコン受光部（🕮1）に向けて送信ボタンを押す



- 5 m以内の距離で、送信ボタンを押してください。
- リモコン即写では、ピントが合うとすぐにシャッターがきれます。
- [**10s**]（10秒）/ [**2s**]（2秒）設定時は、ピントが合うとセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度送信ボタンを押します。
- セルフタイマーリモコンでは、シャッターがきれると、リモコンモードは[]（リモコン即写）になります。

リモコン ML-L3 用電池（3V CR2025型リチウム電池）の交換方法



- リモコン用電池を交換するときは、電池の「+」と「−」の向きを確認してください。
- リモコン用リチウム電池の安全上のご注意 → 🕮xii

リモコンについてのご注意

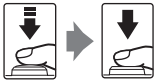
- カメラ本体が逆光になるような環境の場合は、5 m以内でもリモコンが使えないことがあります。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

詳細編

操作部別機能一覧

撮影時

操作部	主な機能	🕮
モードダイヤル	撮影モードを切り換える	24
ズームレバー	**T**（Q）（望遠）側で被写体を大きく、**W**（▪）（広角）側で広い範囲を写す	20
クイックバック ズームボタン	一時的に画角（見える範囲）を広げる	21
サイドズームレバー	［**サイドズームレバー設定**］で割り当てた機能を使う • ズームレバー：**T**（望遠）側で被写体を大きく、**W**（広角）側で広い範囲を写す • MF レバー：フォーカスモードが **MF**（マニュアルフォーカス）時にピントを合わせる	 20、57 41、42
マルチセレクター	• 撮影画面の表示中： 以下の設定画面を表示する - 上（▲）：ϟ（フラッシュモード） - 左（◀）：⏲（セルフタイマー / リモコン / 笑顔自動シャッター） - 下（▼）：❀（フォーカスモード） - 右（▶）：±（露出補正） • 撮影モード **A**、**M** 時： 回転して絞り値を設定する • 設定画面の表示中：▲▼◀ ▶ または回転で項目を選ぶ、OK ボタンで選択を決定する	25 30、32 50

操作部	主な機能	🕮
コマンドダイヤル	• 撮影モード **P** 時：プログラムシフトを設定する • 撮影モード **S**、**M** 時：シャッタースピードを設定する	30、32 30、32
MENU（メニュー）ボタン	メニューを表示/終了する	49、51、54、55、57
 シャッターボタン	半押し：ピントと露出を合わせる 全押し：シャッターをきる	17、21
●（動画撮影）ボタン	動画撮影を開始/終了する	32
Fn（ファンクション）ボタン	撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U**時： ［**連写**］や［**手ブレ補正**］などの設定メニューを表示/終了する	45
（モニター）ボタン	液晶モニターと電子ビューファインダーを切り換える	19
DISP（表示切り換え）ボタン	モニター画面に表示する情報を切り換える	3

詳細編

操作部	主な機能	🕮
(Wi-Fi) ボタン	Wi-Fi機能をONにして、スマートデバイスと接続する	60、 45
(再生) ボタン	画像を再生する	22
(削除) ボタン	最後に保存した画像を1コマ削除する	23

再生時

操作部	主な機能	🕮
(再生) ボタン	• 電源 OFF 時に長押しして、再生モードで電源を ON にする • 撮影に戻る	22 22
ズームレバー	• **T** (Q) 側で拡大表示、**W** (▦) 側でサムネイル / カレンダー表示する • 動画再生の音量を調節する	23、 24 36
マルチセレクター	• 再生画面の表示中：上 (▲)、左 (◀)、下 (▼)、右 (▶)、または回転で表示画像を切り換える • 設定画面の表示中：▲▼◀ ▶ または回転で項目を選ぶ • 拡大表示中：表示位置を移動する	22 50 23

操作部	主な機能	🕮
ⓞⓚ（決定）ボタン	• 連写グループの画像を 1 コマずつ表示する • かんたんパノラマで撮影した画像をスクロール再生する • 動画を再生する • サムネイル表示/拡大表示から1コマ表示に戻る • 設定画面の表示中に、選択を決定する	55、 🕶25 🕶12 🕶32 🕶23、 🕶24 50
コマンドダイヤル	拡大した画像の倍率を切り換える	🕶23
MENU（メニュー）ボタン	メニューを表示/終了する	49、55
🗑（削除）ボタン	画像を削除する	23
⧈（モニター）ボタン	液晶モニターと電子ビューファインダーを切り換える	19
DISP（表示切り換え）ボタン	モニター画面に表示する情報を切り換える	3
(Wi-Fi)（Wi-Fi）ボタン	Wi-Fi機能をONにして、スマートデバイスと接続する	60、 🕶45

詳細編

操作部	主な機能	🕮
 シャッターボタン	撮影に戻る	–
 ●（動画撮影）ボタン		

付録、索引

取り扱い上のご注意 2
- カメラについて 2
- 電池について 3
- 本体充電 AC アダプターについて 4
- メモリーカードについて 5

お手入れ方法 6
- クリーニングについて 6
- 保管について 6

故障かな？と思ったら 7

主な仕様 16
- 使用できるメモリーカード 20

地名情報データ使用許諾契約書 22

索引 28

修理サービスのご案内 32

ニコンプラザについて 33

取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(🕮vii～xii)をお守りください。

カメラについて

● 強いショックを与えないでください
カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください
カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください
温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください
強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください
太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください
電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

● モニター画面（電子ビューファインダー含む）について
- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

●レンズ先端に市販のステップアップリングなどを取り付けないでください
付属のレンズキャップまたは当社製67mmネジ込み式フィルター以外のアクセサリーを取り付けると、故障の原因になります。

電池について

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
  このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が0℃以下、50℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に 1 回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池をじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

- 本体充電ACアダプター EH-71P/EH-73Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-71P/EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-71P/EH-73Pは、家庭用電源のAC 100－240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SD/SDHC/SDXCメモリーカード以外は使えません。使用できるメモリーカード→ 20
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- メモリーカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
  未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- **メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。**初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードを入れたあとにカメラに［**このカードは初期化されていません。初期化しますか？**］の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、［**いいえ**］を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、［**はい**］を選んで ⓞⓚボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
  - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
  - カメラの電源を OFFにする
  - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ/電子ビューファインダー

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。
また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。
カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「● 保管について」（☞4）をお守りください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
電源ONの状態で、カメラの操作ができない	• 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 • 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直してください。AC アダプター使用時は付け直してください。 - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータは電池や AC アダプターの取り外しでは失われません。	–
電源をONにできない	電池残量がありません。	10、11、 🔆3
カメラの電源が突然切れる	• オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 • カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	18 🔆3 –
液晶モニター / 電子ビューファインダーに何も映らない	• 電源が入っていません。 • 電池残量がありません。 • オートパワーオフ機能が働きました。 • 液晶モニターと電子ビューファインダーは同時に点灯しません。液晶モニターと電子ビューファインダーの切り換えに時間がかかることがあります。 • カメラがテレビまたはパソコンと接続されています。 • インターバル撮影中、またはタイムラプス動画撮影中です。 • カメラとスマートデバイスをWi-Fi接続して、カメラをリモート操作中です。	14 16 18 – – 🕶13、 🕶69 –
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
カメラ内の電池を充電できない	• プラグの接続状態を確認してください。 • パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。 - セットアップメニュー［**パソコン接続充電**］が［**しない**］になっています。 - カメラの電源を **OFF** にすると、電池の充電は中止されます。 - カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電 **AC** アダプターで充電してください。 - パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されることがあります。 - パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。	11 49、57 − 14、15 − −
モニター画面がよく見えない	• 周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動するか、電子ビューファインダーをお使いください。 • モニター画面の明るさを調節してください。 • モニター画面が汚れています。	19 49、57 🔆6
電子ビューファインダー内がはっきり見えない	視度調節ダイヤルで調節してください。	19
画面で📅が点滅する 撮影日時が正しく表示されない	• 内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で📅が点滅し、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2015/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**地域と日時**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。	5、57
撮影情報や画像情報が表示されない	撮影情報、画像情報を非表示にしている可能性があります。情報が表示されるまで、**DISP** ボタンを押してください。	3
［**日付写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**地域と日時**］が設定されていません。	49、57
［**日付写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	• 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • 日付写し込みが制限される他の機能の設定がされています。 • 動画には写し込みできません。	49、57 46 −

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される 設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	15、8
[**連番リセット**]ができない	連番リセットなどを行うと、メモリーカード内に新しい記録用フォルダーが作成されますが、フォルダー名の連番（カメラでは表示できません）が上限（**999**）に達するとリセットできません。メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化してください。	49、58、 109
カメラから音がする	[**AF モード**]の[**常時AF**]時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	24、49、52、54

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	61
撮影できない	• 再生モードになっているときは、▶ ボタン、シャッターボタンまたは ● ( ) ボタンを押してください。	1、22
	• メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。	50
	• シーンモードが[**夜景ポートレート**]または[**逆光**]の[**HDR**]が[**しない**]のときは、フラッシュをポップアップしてください。	18、 3、7
	• の点滅中は、フラッシュの充電中です。	36
	• 電池残量がありません。	10、11、3
	• 残量のあるメモリーカードを入れてください。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。シーンモードの［**おまかせシーン**］、［**クローズアップ**］、またはフォーカスモードのマクロ AF での撮影をお試しください。	24、25、40、🕶4、🕶5
	• フォーカスモードの設定が合っていません。設定を確認または変更してください。	40、41
	• オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。	🕶20
	• セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**オート**］にしてください。	49、57
	• シャッターボタンを半押ししたときに、被写体が AF エリア内に入っていません。	17、49、52
	• フォーカスモードが MF（マニュアルフォーカス）になっています。	40、42
	• 電源を入れ直してください。	–
撮影時の画面に色の付いた縞模様が発生する	同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドなど）に色の付いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがありますが、故障ではありません。 記録される画像、動画にこの現象は残りません。ただし、［**高速連写 120 fps**］と［**HS 480/4 倍**］では、記録される画像、動画にこの現象が残ることがあります。	–
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。	18、36
	• 手ブレ補正機能を使ってください。	49、57
	• BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。	49、52、🕶6
	• 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	38
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュを閉じて、フラッシュモードを⊘（発光禁止）にしてください。	36
フラッシュが発光しない	• フラッシュが発光しない撮影モードです。	🕶15
	• フラッシュが制限される他の機能の設定がされています。	46
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**しない**］になっています。	49、57
	• 撮影モードや他の機能の設定によっては電子ズームを使えません。	48、57

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
[**画像サイズ**]が選べない	• [**画像サイズ**]が制限される他の機能の設定がされています。 • シーンモードが[**かんたんパノラマ**]のときは、画像サイズが固定されます。	46 10
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー[**操作音**]の[**シャッター音**]が[**なし**]になっています。[**あり**]にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	46、49、57
AF 補助光が点灯しない	セットアップメニュー[**AF補助光**]が[**なし**]になっています。[**オート**]に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	49、57
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	49、51、6
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	 18、36 49、52
多重露出時に画像に白い点が発生する	多重露出時にシャッタースピードが遅い場合、記録した画像にノイズ（白い点）が目立つことがあります。	–
画像が暗すぎる（露出アンダー）	• フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。フラッシュをポップアップするか、シーンモードの[**逆光**]の[**HDR**]を[**しない**]にしてください。	16 18 44 49、52 18、7
画像が明るすぎる（露出オーバー）	露出を補正してください。	44
赤目以外の部分が補正された	[**夜景ポートレート**]以外の撮影モードで、フラッシュモードを（赤目軽減自動発光/赤目軽減発光）以外にして撮影してください。	36、15
美肌の効果が得られない	• 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4 人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー[**美肌**]をお試しください。	20 49、55

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • ノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを ⚡◉（赤目軽減自動発光 / 赤目軽減発光）にして撮影したとき • 以下のシーンモードで撮影したとき - [**夜景**] の [**手持ち撮影**] - [**風景**]、[**クローズアップ**] の [**連写NR撮影**] - [**逆光**]（[**HDR**] を [**する**] に設定したとき） - [**かんたんパノラマ**] • 撮影メニュー [**連写**] が [**高速連写 120 fps**] または [**高速連写 60 fps**] のとき • 笑顔自動シャッターで撮影したとき • アクティブ D- ライティング機能で撮影したとき • 多重露出機能で撮影したとき	 – 37 🕶3 🕶4、🕶5 🕶7 🕶10 49、52 39 49、52 49、52
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）などが写し込まれることがあります。 光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	–
設定が選べない/選んだ設定が有効にならない	• 撮影モードによっては、選べない項目があります。選べないメニューはグレーで表示されます。 • 選んだ機能が制限される他の機能の設定がされています。	49 –

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
再生できない	• このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 • パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 • インターバル撮影中は再生できません。	– – 49、52
画像の拡大表示ができない	• 動画は拡大表示できません。 • このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 • 画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と画像の拡大率が一致しないことがあります。	–
画像編集ができない	• 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 • メモリーカードに空き容量がありません。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 • 動画は、画像編集できません。	🔗12、🔗26 – – –
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。	–
画像がテレビに映らない	• パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。 • メモリーカードに画像が記録されていません。	–
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • 電池残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX-i のヘルプをご参照ください。	– 49、57、61 61、🔗53 – –
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge画面が表示されない	PictBridge対応プリンターの種類によっては、セットアップメニュー［**パソコン接続充電**］を［**オート**］に設定していると、PictBridge画面が表示されず、プリントできない場合があります。［**パソコン接続充電**］を［**しない**］にしてプリンターに接続し直してください。	49、57
プリントする画像が表示されない	メモリーカードに画像が記録されていません。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	—

位置情報機能関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
測位できない、測位に時間がかかる	• 撮影する環境によって、測位できないことがあります。位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。 • はじめて測位したときや、測位できない状態が約 2 時間経過したときは、位置情報を取得するまで数分かかります。	🕶40 🕶40
撮影した画像に位置情報が記録されない	撮影時の画面に🛰や🛰が表示されているときは位置情報が記録されません。撮影前に位置情報受信状態を確認してください。	59
撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある	撮影する環境によって、測位に誤差が生じることがあります。測位衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。	🕶40
記録された地名情報が意図したものと違う、または表示されない	希望のランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なる場合があります。	—
A-GPSファイルが更新できない	• 以下のことを確認してください。 - メモリーカードが入っているか - メモリーカード内にA-GPSファイルが入っているか - メモリーカード内のA-GPSファイルがカメラ内の A-GPS ファイルより新しいか - 有効期限が切れていないか • A-GPSファイルが壊れている可能性があります。ウェブサイトからダウンロードし直してください。	— 🕶95
位置情報設定メニューの［**ログ取得**］が選べない	カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください。	49、57

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
[**ログ取得開始**] が選べない	• 位置情報設定メニューの [**位置情報記録機能**] が [**しない**] になっています。 • ログ取得中です。新しくログを取得するときは、[**ログ取得終了**] を選び、取得中のログを終了してください。	🕶39 49、🕶44
ログデータを保存できない	• メモリーカードが入っているか確認してください。 • 記録できるログデータの数は、1 日に 36 件までです。 • ログを取得できていません。 • 1 枚のメモリーカードに保存できるログデータは、最大 100 件までです。不要なログデータをメモリーカードから削除するか、新しいメモリーカードに交換してください。	— — 🕶43 49、🕶44

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX P900

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1605万画素（画像処理で減少することがあります）
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1676万画素
レンズ	光学83倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.3-357 mm （35mm判換算24-2000 mm相当の撮影画角）
開放F値	f/2.8-6.5
レンズ構成	12群16枚（EDレンズ5枚、スーパーEDレンズ1枚）
電子ズーム倍率	最大4倍（35mm判換算で約8000 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正機能	レンズシフト方式（静止画） レンズシフト方式と電子式の併用（動画）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	• 先端レンズ面中央から約 50 cm ～∞（広角側）、約 5.0 m ～∞ （望遠側） • マクロ AF 時は先端レンズ面中央から約 1 cm ～∞（広角側）
AFエリア	ターゲットファインドAF、顔認識オート、マニュアル（スポット）、マニュアル（標準）、マニュアル（ワイド）、ターゲット追尾
ファインダー	電子ビューファインダー、0.2型液晶、約92万ドット、視度調節機能付き（−3～+1 m^{-1}）
視野率（撮影時）	上下左右とも約100%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
画像モニター	広視野角3型TFT液晶モニター、反射防止コート付き、約92万ドット（RGBW）、輝度調節機能付き（6段階） バリアングル方式
視野率（撮影時）	上下左右とも約100%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）

記録方式		
	記録媒体	SD/SDHC/SDXC メモリーカード
	対応規格	DCF、Exif 2.3準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：LPCMステレオ）
記録画素数（画像サイズ）		• 16 M　［**4608×3456**］ • 8 M　［**3264×2448**］ • 4 M　［**2272×1704**］ • 2 M　［**1600×1200**］ • VGA　［**640×480**］ • 16:9 12M［**4608×2592**］ • 16:9 2M　［**1920×1080**］ • 3:2 14M　［**4608×3072**］ • 1:1 12M　［**3456×3456**］
ISO感度（標準出力感度）		• ISO 100 ～ 1600 • ISO 3200、6400（**P**、**S**、**A**、**M** モード時に設定可能） • Hi 1（ISO 12800 相当）（スペシャルエフェクトの［**高感度モノクロ**］時）
露出		
	測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、スポット測光
	露出制御	プログラムオート（プログラムシフト可能）、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、AEブラケティング可能、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター方式		メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
	シャッタースピード	• 1/4000※ ～ 1 秒 • 1/4000※ ～ 15 秒（**M** モードで ISO 100 時） ※ 広角側、f/8時
絞り		電磁駆動による6枚羽根虹彩絞り
	制御段数	10（1/3 EVステップ）（広角側）（**A**、**M**モード）
セルフタイマー		10秒、2秒

フラッシュ	
調光範囲（ISO感度設定オート時）	約0.5～11.5 m（広角側） 約5.0～7.0 m（望遠側）
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
調光補正	範囲 −2～+2段、補正ステップ 1/3ステップ
外部インターフェース	
USB端子	Micro-USB端子（付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使わないでください）、Hi-Speed USB • ダイレクトプリント（PictBridge）対応
HDMI出力端子	HDMIマイクロ端子（Type D）
Wi-Fi（無線LAN）	
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル）
通信距離	約10 m
使用周波数範囲（中心周波数）	2412～2462 MHz（1～11 ch）
認証方式	オープンシステム、WPA2-PSK
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
位置情報機能	• GPS：受信周波数：1575.42 MHz、測地系：WGS 84 • GLONASS：受信周波数：1598.0625 MHz～1605.3750 MHz、測地系：WGS 84
表示言語	日本語、英語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL23（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-67A（別売）
充電時間	約3時間40分（本体充電ACアダプター EH-71P/EH-73P使用時、残量のない状態からの充電時間）
電池寿命※1	
静止画撮影時	約360コマ（EN-EL23使用時）
動画撮影時（実撮影電池寿命）※2	約1時間20分（EN-EL23 使用時）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約139.5×103.2×137.4 mm（突起部除く）
質量	約899 g（電池、メモリーカード含む）

動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、フル充電電池使用時のものです。

※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。

※2 動画の連続撮影可能時間（1 回の撮影で記録可能な時間）は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL23

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.8 V、1850 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約34.9 × 47 × 10.5 mm
質量	約34 g

本体充電ACアダプター EH-71P/EH-73P

電源	
EH-71P	AC 100～240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
EH-73P	AC 100～240 V、50/60 Hz、MAX 0.14 A
定格入力容量	
EH-71P	10.5～15.5 VA
EH-73P	12～18 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約55 × 22 × 54 mm
質量	
EH-71P	約48 g
EH-73P	約51 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。
～ AC（交流）、⎓ DC（直流）、回 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

使用できるメモリーカード

SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。

商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、OS XおよびmacOSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated （アドビ システムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2012 The FreeType Project（http://www.freetype.org）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2015 The HarfBuzz Project（http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

地名情報データ使用許諾契約書

COOLPIX P900（以下「本製品」という）に搭載されている地名情報データ（以下「本データ」という）は、次の条件で、ご使用頂けます。

データ使用許諾契約書

1. 個人使用限定

株式会社ニコン（以下「ニコン」という）又はニコンのライセンサーは、本データの著作権及びお客様への使用許諾に必要な一切の諸権利を保有しています。ニコンは、お客様に対して、本データについて、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用の目的のためにのみ、本製品及び本製品で撮影された画像データと共に使用する権利を許諾します。本データは、使用権を許諾されるものであり、販売されるものではありません。

2. 禁止事項

お客様は、次に記載する行為を行ってはなりません。

（1）サービス業務、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用すること。

（2）インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。

（3）測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には、携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末（PDA）が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

（4）本データ使用許諾契約により許諾された範囲を超えて、本データの全部又は一部を媒体の如何を問わず複製すること。

（5）本データを変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブル等すること。

（6）法律で認められている場合を除き、本データを販売、譲渡、頒布もしくは再使用許諾等すること、又はネットワーク上にアップロードすること。

（7）本データ及びこれに関連する物を直接又は間接に輸出すること。

（8）その他、本データ使用許諾契約により許諾されている以外のことを行うこと。

3. 警告
時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確又は不完全な情報が含まれているおそれがあります。

4. 著作権及びその他の知的財産権
本データは、日本国著作権法、その他の国の著作権法及び国際条約の規定により保護されています。お客様は、本データに含まれる著作権表示、商標又はその他の保護表示を除去してはなりません。

5. 免責
ニコン及びニコンのライセンサーは、お客様の本データの使用に関連して生じるお客様ご自身又は第三者の損害、その他の問題について、一切の責任を負いません。但し、法律に当該免責を認めない旨の定めのある場合はこの限りではありません。ニコン及びニコンのライセンサーは、本データの内容を随時変更する権利を留保します。

6. その他
本データ使用許諾契約は、日本国の法律に基づいて解釈されるものとします。本データ使用許諾契約に関する一切の紛争の管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

Government End Users.

If the Data supplied by HERE is being acquired by or on behalf of the United States government or any other entity seeking or applying rights similar to those customarily claimed by the United States government, the Data is a "commercial item" as that term is defined at 48 C.F.R. ("FAR") 2.101, is licensed in accordance with the End-User Terms under which this Data was provided, and each copy of the Data delivered or otherwise furnished shall be marked and embedded as appropriate with the following "Notice of Use," and shall be treated in accordance with such Notice:

Notice of Use
Contractor (Manufacturer/ Supplier) Name: HERE
Contractor (Manufacturer/ Supplier) Address:
425 West Randolph Street, Chicago, Illinois 60606
This Data is a commercial item as defined in
FAR 2.101 and is subject to the End-User
Terms under which this Data was provided.
©2014 HERE - All rights reserved.

If the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official refuses to use the legend provided herein, the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official must notify HERE prior to seeking additional or alternative rights in the Data.

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

●地名情報データについて

本サービスは株式会社ゼンリンのPOI（位置情報）を使用しています。"ゼンリン"は株式会社ゼンリンの登録商標です。
© 2013 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

●日本以外の地名情報データについて

© 1987-2014 HERE
All rights reserved.

Austria: © Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen
Belgium: © - Distribution & Copyright CIRB
Croatia/Cyprus/Estonia/Latvia/Lithuania/Moldova/Poland/Slovenia/Ukraine: © EuroGeographics
Denmark: Contains data that is made available by the Danish Geodata Agency (FOT) Retrieved by HERE 01/2014
Finland: Contains data from the National Land Survey of Finland Topographic Database 06/2012. (Terms of Use available at http://www.maanmittauslaitos.fi/en/NLS_open_data_licence_version1_20120501).
Contains data that is made available by Itella in accordance with the terms available at http://www.itella.fi/liitteet/palvelutjatuotteet/yhteystietopalvelut/uusi_postal_code_services_service_description_and_terms_of_use.pdf. Retrieved by HERE 09/2013
France: source: © IGN 2009 – BD TOPO ®
Germany: Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zuständigen Behörden entnommen
Contains content of „ BayrischeVermessungsverwaltung – www.geodaten.bayern.de ", licensed in accordance with http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode
Contains content of "LGL, www.lgl-bw.de ", licensed in accordance with http://creativecommons,.org/licenses/by/3.0/legalcode
Contains content of "Stadt Köln – offenedaten-koeln.de", licensed in accordance with http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode
Contains Content of "Geoportal Berlin / ATKIS® Basis-DLM", licensed in accordance with http://www.stadtentwicklung.berlin.de/geoinformation/download/nutzlll.pdf
Contains Content of "Geoportal Berlin / Karte von Berlin 1:5000 (K5-Farbausgabe)", licensed in accordance with http://www.stadtentwicklung.berlin.de/geoinformation/download/nutzlll.pdf
Great Britain: Contains Ordnance Survey data © Crown copyright and database right 2010
Contains Royal Mail data © Royal Mail copyright and database right 2010
Greece: Copyright Geomatics Ltd.

Italy: La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.
Contains data from Trasporto Passeggeri Emilia-Romagna- S.p.A.
Includes content of Comune di Bologna licensed under http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode and updated by licensee July 1, 2013.
Includes content of Comune di Cesena licensed under http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode and updated by licensee July 1, 2013.
Includes contents of Ministero della Salute, and Regione Sicilia, licensed under http://www.formez.it/iodl/ and updated by licensee September 1, 2013.
Includes contents of Provincia di Enna, Comune di Torino, Comune di Pisa, Comune di Trapani, Comune di Vicenza, Regione Lombardia, Regione Umbria, licensed under http://www.dati.gov.it/iodl/2.0/ and updated by licensee September 1, 2013.
Includes content of GeoforUs, licensed in accordance with http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode.
Includes content of Comune di Milano, licensed under http://creativecommons.org/licenses/by/2.5/it/legalcode and updated by licensee November 1, 2013.
Includes content of the "Comunità Montana della Carnia", licensed under http://www.dati.gov.it/iodl/2.0/ and updated by licensee December 1, 2013.
Includes content of "Agenzia per la mobilità" licensed under http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode and updated by licensee January 1, 2014.
Includes content of Regione Sardegna, licensed under http://www.dati.gov.it/iodl/2.0/ and updated by licensee May 1, 2014.
Includes content of CISIS, licensed under http://creativecommons.org/licenses/by/2.5/legalcode.
Norway: Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority
Includes data under the Norwegian licence for Open Government data (NLOD), available at http://data.norge.no/nlod/en/1.0
Contains information copyrighted by © Kartverket, made available in accordance with http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/no/.
Contains data under the Norwegian licence for Open Government data (NLOD) distributed by Norwegian Public Roads Administration (NPRA)
Portugal: Source: IgeoE – Portugal
Spain: Información geográfica propiedad del CNIG
Contains data that is made available by the Generalitat de Catalunya Government in accordance with the terms available at http://www.gencat.cat/web/eng/avis_legal.htm. Retrieved by HERE 05/2013.
Contains content of Centro Municipal de Informatica – Malaga, licensed in accordance with http://creativecommons.org/licenses/by /3.0/legalcode.
Contains content of Administración General de la Comunidad Autónoma de Euskadi, licensed in accordance with http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode
Contains data made available by the Ayuntamiento de Santander, licensed in accordance with http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/es/legalcode.es
Contains data of Ajuntament de Sabadell, licensed per http://creativecommons.org/licences/by/3.0/legalcode, updated 4/2013
Sweden: Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.
Contains public data, licensed under Go Open v1.0, available at http://data.goteborg.se/goopen/Avtal%20GoOpen%201.0.0.pdf
Switzerland: Topografische Grundlage: © Bundesamt für Landestopographie
United Kingdom: Contains public sector information licensed under the Open Government Licence v1.0 (see for the license http://www.nationalarchives.gov.uk/doc/open-government-licence/)
Adapted from data from the office for National Statistics licensed under the Open Government Licence v.1.0
Canada: This data includes information taken with permission from Canadian authorities, including © Her Majesty, © Queen's Printer for Ontario, © Canada Post, GeoBase®, © Department of Natural Resources Canada. All rights reserved.
Mexico: Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía.)

United States: ©United States Postal Service® 2013. Prices are not established, controlled or approved by the United States Postal Service®. The following trademarks and registrations are owned by the USPS: United States Postal Service, USPS, and ZIP+4.
Includes data available from the U.S. Geological Survey.
Australia: Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psma.com.au).
Product incorporates data which is © 2013 Telstra Corporation Limited, Intelematics Australia Pty Ltd and HERE International LLC.
Nepal: Copyright © Survey Department, Government of Nepal.
Sri Lanka: This product incorporates original source digital data obtained from the Survey Department of Sri Lanka
© 2009 Survey Department of Sri Lanka
The data has been used with the permission of the Survey Department of Sri Lanka
Israel: © Survey of Israel data source
Jordan: © Royal Jordanian Geographic Centre.
Mozambique: Certain Data for Mozambique provided by Cenacarta © 2013 by Cenacarta
Nicaragua: The Pacific Ocean and Caribbean Sea maritime borders have not been entirely defined. Northern land border defined by the natural course of the Coco River (also known as Segovia River or Wangki River) corresponds to the source of information available at the moment of its representation.
Réunion: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Ecuador: INSTITUTO GEOGRAFICO MILITAR DEL ECUADRO
AUTORIZACION N° IGM-2011-01- PCO-01 DEL 25 DE ENERO DE 2011
Guadeloupe: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Guatemala: Aprobado por el INSTITUTO GEOGRAFICO NACIONAL – Resolución del IGN No 186-2011
French Guiana: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Martinique: source: © IGN 2009 - BD TOPO ®

索引

マーク・英数

オート撮影モード .....16、26
SCENE シーンモード.....27
A 絞り優先オートモード..... 30、32
S シャッター優先オートモード
..... 30、32
EFFECTS スペシャルエフェクトモード..... 28
風景モード.....24、6-4
P プログラムオートモード... 30、32
M マニュアル露出モード..... 30、32
夜景ポートレートモード
.....24、6-3
夜景モード.....24、6-3
U ユーザーセッティングモード... 34
拡大表示 .....22、6-23
W 広角ズーム 20
サムネイル表示..... 22、6-24
T 望遠ズーム 20
Wi-Fi ボタン
.....2、60、6-45、6-47
決定ボタン..... 2、6-122
再生ボタン.....22、6-121
削除ボタン .....23、6-26
●（動画撮影）ボタン
..... 21、6-32
DISP 表示切り換えボタン 3
Fn ファンクションボタン
..... 45、6-120
フラッシュポップアップボタン
.....36
MENU メニューボタン
.....49、51、54、55、57
モニターボタン 19
セルフタイマー/リモコン/笑顔自動シャッター..... 25、38、39
フォーカスモード.....25、40
フラッシュモード..... 25、36
露出補正.....25、44
N マーク.....6-46
1 コマ表示 .....7、22、6-23、6-24
Active D- ライティング....52、6-77
AC アダプター ..... 61、6-116
AE ブラケティング .....52、6-72
AF エリア
..... 6、17、6-8、6-18、6-73
AF エリア選択..... 45、52、6-73
AF 表示.....4、17
AF 補助光.....57、6-105
AF モード.... 52、54、6-76、6-85
Av/Tv 操作切り換え .....57、6-109
BSS..... 6-6、6-67
COOLPIX カスタムピクチャーコントロール.....51、6-62
COOLPIX ピクチャーコントロール
.....45、51、6-58
CSM Picture Control .....51、6-62
D- ライティング.....55、6-27
EVF の自動切り換え .....57、6-103
EVF の調整 6-101
Fn ボタン設定 45
HDMI マイクロ端子 6-48
HDR..... 6-7
HS 動画.....6-83、6-84
ISO 感度設定.....45、52、6-71
Micro-USB 端子
.....11、61、6-49、6-53
M モード露出反映表示.....53、6-81
N マーク..... 6-46
PictBridge.....62、6-49
Picture Control.....45、51、6-58
POI 設定 ..... 59、6-96
USB ケーブル
..... 11、62、6-49、6-53
User Setting 登録.....35
User Setting リセット 35
ViewNX-i .....62、6-53
Wi-Fi 設定..... 60、6-92
Wi-Fi 設定メニュー..... 49、6-92

Wi-Fi 送信画像の指定
.....55、🔗47、🔗88
Wi-Fi ボタン .....2、🔗45、🔗47

ア

アイセンサー.....2、19
赤目軽減自動発光.....37
赤目軽減発光.....37
アクティブ D- ライティング
.....52、🔗77
位置情報設定..... 49、🔗39、🔗94
色温度.....🔗64
色の濃さ（彩度）.....🔗60
インターバル撮影 .....🔗68、🔗69
打ち上げ花火 ❁ .....27、🔗6
衛星による日時合わせ.....🔗97
笑顔自動シャッター..... 25、39
液晶モニター.....3、13、☼6
遠景 AF.....41
オートパワーオフ...18、57、🔗107
オートフォーカス
.....52、54、🔗20、🔗76、🔗85
オートフォーカスモード
.....52、54、🔗76、🔗85
おまかせシーン SCENE♥.....24、🔗4
音量 .....🔗36

カ

カードなし時レリーズ....57、🔗100
顔認識.....🔗19
顔認識オート.....🔗73
拡大表示.....22、🔗23
拡張子.....🔗115
画質 .....45、51、🔗56
風切り音低減..... 54、🔗86
画像回転.....55、🔗90
画像サイズ .....45、51、🔗57
画像選択画面の操作方法 56
画像編集.....🔗26
カメラ内画像の送信 ...🔗47、🔗92
画面の明るさ ..... 57、🔗101
カレンダー表示.....🔗24
かんたんパノラマ ⊏.....27、🔗10
簡単レタッチ.....55、🔗27
起動ポジション設定.....53、🔗81
逆光 ◪.....27、🔗7
強制発光..... 37
記録可能コマ数.....16、🔗56
記録可能時間 .....🔗32、🔗33
クイック調整 .....🔗60
クイックバックズームボタン
.....2、21
組み合わせて使えない機能.....46
クローズアップ ❦ .....27、🔗5
クロスプロセス..... 28
言語 /Language.....57、🔗107
広角ズーム 20
光学ズーム 20
高感度モノクロ..... 28
格子線表示 ..... 6、🔗101
高速連写.....🔗67
硬調モノクローム 28
コマンドダイヤル
.....30、🔗120、🔗122
コントラスト.....🔗60

サ

再生.....22、🔗32
再生メニュー 55
再生モード 22
サイドズームレバー..... 17、🔗119
サイドズームレバー設定
.....57、🔗106
先取り撮影 .....🔗67、🔗69
削除.....23、🔗26
撮影..... 24、🔗32
撮影情報.....3
撮影メニュー..... 51、🔗56、🔗58
撮影モード .....24、54
サマータイム .....14、🔗99
サムネイル表示..... 22、🔗24
シーンモード 27
識別子 .....🔗115
時差.....🔗99
自動発光..... 37
視度調節ダイヤル 19
絞り値 30
絞り優先オートモード..... 30、32

シャッター音 106
シャッタースピード ..... 30、 22
シャッターボタン ..... 17、 21、 120、 123
シャッター優先オートモード ..... 30、 32
充電器 ..... 12、 116
充電式バッテリー 11
充電ランプ ..... 1、 11
常時 AF ..... 52、 54、 76、 85
使用できるアクセサリー 116
焦点距離 ..... 53、 80、 16
初期化 ..... 10、 57、 107
シングル AF ..... 52、 54、 76、 85
ズーム 20
ズームマイク ..... 54、 87
ズームメモリー ..... 53、 80
ズームレバー ..... 20、 121
水準器表示 ..... 6、 101、 102
ストラップ取り付け部 9
スペシャルエフェクトモード 28
スポーツ ..... 27、 5
スモールピクチャー ..... 55、 30
スライドショー ..... 55、 89
スローシンクロ 37
スローモーション動画 ..... 83、 84
静止画の切り出し 38
設定音 106
設定クリアー ..... 58、 110
セットアップメニュー ..... 57、 98
セルフタイマー ..... 25、 38
セルフタイマーランプ ..... 39、 40
セレクトカラー 28
操作音 ..... 57、 106
測位アンテナ部 2
測光方式 ..... 45、 51、 66
ソフト 28

タ

ターゲット追尾 ..... 74、 75
ターゲットファインド AF ..... 18、 74
ダイナミックファインズーム 20
タイムゾーン ..... 14、 98
タイムラプス動画 13
ダイレクトプリント ..... 62、 49
多重露出 ..... 52、 78
端子カバー ..... 1、 11、 61
単写 ..... 52、 67
地域と日時 ..... 14、 57、 98
調光補正 ..... 52、 76
調色 61
通常 AF 41
通常発光 37
月 ..... 27、 9
低速限界設定 71
手ブレ補正 ..... 45、 57、 104
テレビ ..... 61、 48
電源 14
電源スイッチ ..... 1、 14
電源ランプ ..... 1、 18
電子ズーム ..... 20、 57、 105
電子手ブレ補正 ..... 4、 54、 86
電子ビューファインダー ..... 19、 6
電池 ..... 10、 18
電池残量 16
トーンレベル 8
トーンレベルインフォメーション ..... 3、 8
動画再生 ..... 22、 32
動画撮影 ..... 21、 32
動画設定 ..... 54、 82
動画編集 37
動画メニュー ..... 54、 82
鳥 ..... 27、 9
トリミング ..... 23、 31

ナ

夏時間 ..... 14、 99
日時の設定 ..... 14、 57、 98
ノイズ低減フィルター ..... 52、 77
ノスタルジックセピア 28

ハ

バージョン情報 ..... 58、 110

パーティー 27、6
ハイキー 28
パソコン 62、6
パソコン接続充電 57、6
バッテリーチャージャー 12、6
早送り動画 6、6
半押し 17、21、6
ピーキング 58、6
ヒストグラム 8、44、57、6
日付写し込み 57、6
日付のプリント 57、6
美肌 55、6
美肌機能 6
ピント 17、6、6、6、6、6
ファイル名 6
フィルター効果 55、6、6
フォーカスモード 25、40
フォーカスロック撮影 6
フォーマット 57、6
フラッシュ 36
フラッシュモード 25、36
プリセットマニュアル 6
プリンター 61、6
プリント 6、6、6
フレームレート設定 54、6
プログラムオートモード 30、32
プロテクト設定 55、6
ベストショットセレクター 6、6
別売アクセサリー 6
ペット 27、6
望遠ズーム 20
ホワイトバランス 45、51、6
本体充電 AC アダプター 11、19

マ

マクロ AF 41
マニュアルフォーカス 41、42
マニュアル露出モード 30、32
マルチセレクター 25、6、6
マルチ連写 6
ミュージアム 27、6
無限遠固定 41
無線 LAN 60
メモリーカード 10、5、20
メモリーカードの初期化 10、57、6
メモリー残量 16、6
モードダイヤル 16、24
モニター設定 57、6
モニターの調整 6
モノクロコピー 27、6

ヤ

夜景ポートレートモード 27、6
夜景モード 27、6
ユーザーセッティングモード 34
夕焼け 27
雪 27
用紙設定 6、6

ラ

リアシンクロ 37
リチウムイオン充電池 10、19
リモコン 25、38、6
リモコン受光部（別売リモコン ML-L3 用） 1、2
料理 27、6
輪郭強調 6
レディーライト 4、36
連写 45、52、6
連写グループ 23、6、6
連写グループ表示方法 55、6
連写の代表画像選択 56、6
レンズ 6、16
レンズキャップ 9
連番リセット 58、6
ローキー 28
ロータリーマルチセレクター 25、6、6
ログ取得 59、6
ログデータ表示 6
露出補正 25、44
露出モード 30

修理サービスのご案内

■修理のご依頼

ニコンサービス機関（修理センター、ニコンプラザサービスセンター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

※修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

■インターネットでのお申込み

http://www.nikon-image.com/support/repair/

■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

修理センター　ナビダイヤル

0570-02-8200

〒230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

■ニコン ピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。

http://www.nikon-image.com/support/repair/receipt/pickup/

ニコン ピックアップサービス専用 フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）

0120-02-8155

営業時間：9：00～18：00（年末年始 12/29～1/4 を除く毎日）

※上記フリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。修理内容に関するお問い合わせは、修理センターへ、製品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターへお願いします。

補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品（機能維持に必要な部品）の保有期間内（製造打ち切り後5 年を目安）を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。
※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザショールーム　ナビダイヤル
0570-02-8080

ニコンプラザサービスセンター　ナビダイヤル
0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについては、当社ホームページの下記URLをご覧ください。
http://www.nikon-image.com/support/showroom/

製品の使い方に関するお問い合わせ先

http://www.nikon-image.com/support/contact/

ニコン カスタマーサポートセンター　ナビダイヤル

0570-02-8000

営業時間：9：30 ～ 18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、（03）5977-7499 にお送りください。

お問い合わせ時のお願い

- おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象（表示されたメッセージ）」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

ニコンイメージングサポートページのご案内

http://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

株式会社 ニコン

株式会社 ニコン イメージング ジャパン

FX8E08(10)
6MN49410-08

© 2015 Nikon Corporation